

(様式第10)

京大病サ企第50号

厚生労働大臣 殿

令和 4年 10月 5日
開設者名 国立大学法人京都大学
学長 湊 長博

京都大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒606-8501 京都府京都市左京区吉田本町
氏名	国立大学法人 京都大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

京都大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒606-8507 京都府京都市左京区聖護院川原町54番地
電話(075) 751 — 3111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有
内科と組み合わせた診療科名等	
1呼吸器内科	<input type="radio"/>
5神経内科	<input type="radio"/>
9感染症内科	<input type="radio"/>
2消化器内科	<input type="radio"/>
6血液内科	<input type="radio"/>
10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>
3循環器内科	<input type="radio"/>
7内分泌内科	<input type="radio"/>
8代謝内科	<input type="radio"/>
11リウマチ科	<input type="radio"/>

診療実績

呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、血液内科、内分泌内科、代謝内科、感染症内科、アレルギー疾患内科またはアレルギー科、リウマチ科の内容は内科で診療している。
神経内科の診療内容は脳神経内科にて提供している。

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2)外科

外科						有
外科と組み合わせた診療科名						
<input type="radio"/> 1呼吸器外科		2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	<input type="radio"/> 6心臓血管外科		7内分泌外科		8小児外科
診療実績						
消化器外科、乳腺外科、内分泌外科、小児外科の内容は外科で診療している。						

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3)その他の標榜していることが求められる診療科名

<input type="radio"/> 1精神科	<input type="radio"/> 2小児科	<input type="radio"/> 3整形外科	<input type="radio"/> 4脳神経外科
<input type="radio"/> 5皮膚科	<input type="radio"/> 6泌尿器科	<input type="radio"/> 7産婦人科	<input type="radio"/> 8産科
<input type="radio"/> 9婦人科	<input type="radio"/> 10眼科	<input type="radio"/> 11耳鼻咽喉科	<input type="radio"/> 12放射線科
	13放射線診断科	14放射線治療科	<input type="radio"/> 15麻酔科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4)歯科

歯科				無
歯科と組み合わせた診療科名				
1小児歯科	<input type="radio"/> 2矯正歯科	<input type="radio"/> 3歯科口腔外科		
歯科の診療体制				

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5)(1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	脳神経内科	2	形成外科	3	リハビリテーション科	4	病理診断科	5	
6		7		8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
60	0	15	0	1,066	1,141

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	547	502	712.8
歯科医師	21	0	21
薬剤師	105	10	112.7
保健師	0	0	0
助産師	56	0	56
看護師	1229	52	1269
准看護師	0	0	0
歯科衛生士	7	1	7.7
管理栄養士	16	4	19

職種	員数
看護補助者	53
理学療法士	29
作業療法士	16
視能訓練士	9
義肢装具士	0
臨床工学士	34
栄養士	0
歯科技工士	3
診療放射線技師	66

職種	員数
診療エックス線技師	0
臨床検査技師	96
衛生検査技師	0
その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0
医療社会事業従事者	15
その他の技術員	82
事務職員	403
その他の職員	238

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	90	眼科専門医	8
外科専門医	39	耳鼻咽喉科専門医	12
精神科専門医	10	放射線科専門医	2
小児科専門医	15	脳神経外科専門医	5
皮膚科専門医	11	整形外科専門医	14
泌尿器科専門医	8	麻酔科専門医	9
産婦人科専門医	8	救急科専門医	11
合計			242

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (宮本 享) 任命年月日 平成 31 年 4 月 1 日

平成27年4月から平成31年3月まで医療安全管理委員会の委員として医療に係る安全管理の業務に従事した。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	693.2 人	10 人	703.3 人
1日当たり平均外来患者数	1655.7 人	65.7 人	1721.4 人
1日当たり平均調剤数		1,071.90 剂	
必要医師数		170 人	
必要歯科医師数		6 人	
必要薬剤師数		24 人	
必要(准)看護師数		410 人	

- (注)
- 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 - 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 - 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 - 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 - 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数	79 床	心電計	有
集中治療室	1590.47 m ²	鉄筋コンクリート	人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	820.74 m ²	病床数	58 床	
	[移動式の場合]	台数	台			
医薬品情報 管理室	[専用室の場合]	床面積		73.12 m ²		
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	766 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動生化学・免疫分析装置、全自動血球計算装置		
細菌検査室	199 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	全自動微生物培養検出装置、全自動細菌培養感受性装置		
病理検査室	349.2 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	密閉式自動固定包埋装置、全自動H&E染色装置、自動免疫染色装置		
病理解剖室	57 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	解剖台、写真撮影装置		
研究室	39751.39 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備)	電子顕微鏡、遠心分離機		
講義室	496 m ²	鉄筋コンクリート	室数	2 室	収容定員	329 人
図書室	785 m ²	鉄筋コンクリート	室数	7 室	蔵書数	219,311 冊程度

- (注)
- 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

- 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	82.6 %	逆紹介率	71.8 %
算出根拠	A:紹介患者の数	12,804	人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数	15,841	人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数	5,407	人
	D:初診の患者の数	22,035	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
笠井 正俊	京都大学副学長(法務・コンプライアンス担当)		総長が指名する副学長	有	3
平野 哲郎	立命館大学 法科大学院 教授		法律に関する専門的知識を有する者	無	1
佐和 貞治	京都府立医科大学 医療安全管理部 部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	無	1
伊藤 英樹	広島大学病院 医療安全管理部 部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	無	1
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センター COML 理事長	○	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
京都大学ホームページに掲載。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	キメラ抗原受容体T細胞療法(CAR-T療法)	取扱患者数	22
当該医療技術の概要 再発・難治性のB細胞腫瘍(急性白血病、悪性リンパ腫)の治療として、患者自身から採取したT細胞に、CD19に対するキメラ抗原受容体を遺伝子導入し、増殖させた後、患者に投与する。			
医療技術名	網羅的ウイルス検査	取扱患者数	42
当該医療技術の概要 血液や尿の検体を用いて、複数のウイルスを同時にRT-PCR法にて同定する。			
医療技術名	血液がん遺伝子パネル検査	取扱患者数	737
当該医療技術の概要 造血器腫瘍の遺伝子変異をターゲットシーケンスにより同定する。			
医療技術名	顆粒球輸注	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 好中球減少を伴う患者の重症細菌感染症治療のため、ドナーから顆粒球を採取し、患者に輸注する。			
医療技術名	シドフォビルによるウイルス治療	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 BKウイルス・アデノウイルスによる出血性膀胱炎治療のためシドフォビルによる治療を行う。			
医療技術名	経皮的大動脈弁置換術(TAVR)	取扱患者数	48
当該医療技術の概要 かつては開胸手術しか選択がなかったが高齢者やハイリスク患者に対し低侵襲性の経カテーテル的大動脈弁置換術が可能となった。治療は全身麻酔もしくは局所麻酔下でハイブリッド手術室で施行され、専門施設認定には厳しい条件が付与される。			
医療技術名	エキシマレーザー使用によるデバイスリード抜去術	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 感染などの理由で、植え込み術後数年が経過したペースメーカーや除細動器を抜去する必要が生じた場合には、癒着したリードを剥離するエキシマレーザーが必要になることが多い。 手術は心臓血管外科のバックアップのもとに、ハイブリッド手術室で行う必要がある。			
医療技術名	バルーン肺動脈形成術(BPA)	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症(CTEPH)に対するバルーン肺動脈形成術は、外科的な血栓内膜摘除が適応とならない末梢型のCTEPHに対して施行している。薬物治療と比較して治療効果も高く、治療後に在宅運動療法から離脱出来たり、薬剤が減量できる症例も多い。			
医療技術名	経カテーテル的心房中隔閉鎖術	取扱患者数	26
当該医療技術の概要 従来開胸手術で閉鎖していた心房中隔欠損を経カテーテル的に閉鎖デバイスを用いて閉鎖するものである。			
医療技術名	経皮的僧帽弁形成術	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 重症僧帽弁閉鎖不全症患者に行われる、以前は開胸手術しか選択がなかったが、カテーテルにより僧帽弁をクリップすることにより経皮的僧帽弁形成術が可能となり開胸手術に対しハイリスク患者に治療を行うことが出来るようになった。 全身麻酔下経食道心エコ下でハイブリッド手術室で施行され、施行施設認定には厳しい条件が付与される。			

医療技術名	リードレスペースメーカー	取扱患者数	39
当該医療技術の概要			
血管閉塞、認知症、フレイルなど通常のペースメーカー植え込みが困難あるいはリスクの高い症例、VVI適応の症例について、当院では心臓血管外科のバックアップのもとにリードレスペースメーカー植え込み術を施行している。			
医療技術名	左心耳閉鎖術	取扱患者数	7
当該医療技術の概要			
心房細動による脳塞栓の塞栓源として大部分を占める左心耳血栓を閉鎖することで、出血ハイリスクの症例において、長期的には抗凝固療法を行わず、塞栓リスクを軽減させる治療である。			
医療技術名	局所進行肺癌に対する超音波内視鏡下金マーカー留置術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
局所進行肺癌と対して動体追尾強度変調放射線治療を施行するため、超音波内視鏡下に金マーカーを留置する処置である。			
医療技術名	脳磁図	取扱患者数	36
当該医療技術の概要			
脳磁図はてんかんの患者に対する手術部位の診断や手術方法の選択を含めた治療方針の決定のために欠かせない非侵襲的な脳機能検査法であり、原発性及び続発性てんかん、中枢神経疾患に伴う感覚障害及び運動障害の鑑別診断としても行われる。脳波に比べ優れた空間解像度と、MRI/PETより優れた時間解像度を併せ持つ。てんかん診療支援センターの関連科・部署である脳機能センター、脳神経内科、脳神経外科、小児科、てんかん・運動異常生理学講座が協力して提供している。			
医療技術名	デジタル脳波「広域時間周波数帯域解析プログラム」のてんかん脳波への臨床応用	取扱患者数	50
当該医療技術の概要			
デジタル脳波の最大の特徴である①広域時間周波数帯域で脳波データを記録して、②2次解析で時間周波数解析、超低周波数波形、超高周波数波形を同時表示解析、を生かして記録直後から利用できる「広域時間周波数帯域解析システム」を開発した。この手法で、従前のデジタル脳波の観察レベルではわからなかつたてんかん脳波の特徴を容易に抽出できるようになった。			
医療技術名	体重10kg以下の小児体外循環	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
極めて体重の軽い小児の体外循環を安全に行える施設は少ない。当院では、急性肝不全などの症例の移植前に体外循環を行っている。			
医療技術名	Radial Incision and Cutting (RIC)	取扱患者数	9
当該医療技術の概要			
食道がんなどの術後の難治性狭窄に対する狭窄解除術。			
医療技術名	光線力学的療法	取扱患者数	14
当該医療技術の概要			
食道がんに対する化学放射線療法後の遺残再発に対する根治的救済治療。			
医療技術名	遺伝子パネル検査による遺伝子プロファイリングに基づく複数の分子標的治療に関する患者申出療養	取扱患者数	37
当該医療技術の概要			
がん遺伝子パネル検査で見つかった適用外の候補治療薬を患者申出療養で実施。			
医療技術名	リキッドバイオプシー	取扱患者数	22
当該医療技術の概要			
血液検体を用いたがん遺伝子パネル検査。			
医療技術名	肺癌に対する化学放射線療法+ニボルマブ	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
切除可能境界・局所進行肺癌に対する化学放射線療法+ニボルマブの有用性を検証する第III相臨床試験(医師主導治験)。			

医療技術名	食道癌に対する根治的化学放射線療法+ニボルマブ	取扱患者数	25
当該医療技術の概要			
食道がん患者を対象とした根治的化学放射線療法とNivolumab併用による探索的多施設共同非盲検医師主導治験。			
医療技術名	G36-EL 25mgの生物学的同等性試験	取扱患者数	7
当該医療技術の概要			
試験製剤G36-EL25mgと標準製剤タルセバ錠®25mgの生物学的同等性を検証する。日本人健康成人男性を対象に、両製剤の1錠経口投与による薬物動態データを2剤2期クロスオーバー法で収集する。試験製剤G36-EL25mg及び標準製剤タルセバ錠®25mgのAUCt及びCmaxを評価することにより、両製剤の生物学的同等性を検証する。			
医療技術名	ヒト免疫担当細胞の加齢変化に関する研究	取扱患者数	1420
当該医療技術の概要			
加齢に伴い、易感染性や自己免疫反応の増大などの免疫応答性の変化が顕著になる。本研究では、COVID-19ワクチンを接種した様々な年齢の健常人ボランティアから末梢血を採取し、加齢が免疫応答性にどの様な変化を及ぼすのかについて明らかにする。			
医療技術名	健常人を対象とした末梢血による結腸直腸癌関連遺伝子の調査	取扱患者数	108
当該医療技術の概要			
LUNAR-2は、結腸直腸癌患者の血液中に存在する循環腫瘍DNAを抽出するアッセイである。本研究は、日本人健常人の末梢血を採取し、遺伝的、エピジェネティック的情報を調査する。これにより既存の他人種におけるLUNAR-2の検査結果との比較検討を行い、人種間の差異について明らかにし、アッセイのパフォーマンスの向上に繋げる。			
医療技術名	治験 ペルツズマブ	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
手術可能なHER2陽性原発性乳癌患者を対象とした術後補助療法としてのアントラサイクリン化学療法後のタキサン+トラスツズマブ+ペルツズマブとトラスツズマブ エムタンシン+ペルツズマブを比較する多施設共同非盲検ランダム化第Ⅲ相比較試験。			
医療技術名	治験 オラパリブ	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
十分な局所性治療及び術前補助化学療法又は術後補助化学療法を終了した高リスク生殖細胞系BRCA1/2変異陽性HER2陰性原発乳癌患者に対する術後補助療法としてのオラパリブの有効性と安全性を評価する無作為化二重盲検並行群間比較プラセボ対照多施設共同第Ⅲ相試験。			
医療技術名	治験 アベマシクリブ	取扱患者数	9
当該医療技術の概要			
リンパ節転移陽性、ホルモン受容体陽性、HER2陰性の再発高リスク早期乳癌患者を対象とした標準的な術後内分泌療法単独、とアベマシクリブとの併用の無作為化非盲検第Ⅲ相試験。			
医療技術名	治験 アテゾリズマブ	取扱患者数	9
当該医療技術の概要			
手術可能なトリプルネガティブ乳癌患者を対象とした、術後補助療法におけるアテゾリズマブ(抗PD-L1抗体)+アンスラサイクリン/タキサンベースの化学療法と化学療法単独を比較する多施設共同ランダム化非盲検第Ⅲ相試験。			
医療技術名	治験 ペルツズマブ	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
手術可能なHER2陽性原発性乳癌における術後療法としての化学療法+トラスツズマブ+プラセボと化学療法+トラスツズマブ+ペルツズマブのランダム化、多施設共同、二重盲検、プラセボ対照での比較試験(製造販売後臨床試験)。			
医療技術名	治験 トラスツズマブ デルクステカン	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
T-DM1治療歴のあるHER2陽性切除不能及び／又は転移性乳癌患者を対象として抗HER2抗体薬物複合体であるトラスツズマブ デルクステカン(DS-8201a)を医師選択治療と比較検討する多施設共同無作為化非盲検実薬対照第Ⅲ相試験(DESTINY-Breast02)。			
医療技術名	治験 カピバセルチブ	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
アロマターゼ阻害薬による治療中又は治療後に再発又は進行が認められた局所進行(手術不能)又は転移性のホルモン受容体陽性ヒト上皮細胞成長因子受容体2陰性(HR+/HER2-)乳癌の治療として、カピバセルチブとフルベストラント投与の有効性及び安全性をプラセボとフルベストラント投与と比較して評価する第Ⅲ相二重盲検無作為化試験(CAPItello-291)。			

医療技術名	治験 AZD9833	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
SERENA-4:進行癌に対する全身療法が未治療のエストロゲン受容体陽性HER2陰性進行乳癌患者を対象として、AZD9833(経口SERD)＋パルボシクリブの併用療法とアナストロゾール＋パルボシクリブの併用療法を比較する第Ⅲ相ランダム化二重盲検多施設共同試験。			
医療技術名	治験 パルボシクリブ K041	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
PALLAS:PALbociclib CoLlaborative Adjuvant Study(パルボシクリブの術後補助療法に関する共同研究)ホルモン受容体陽性(HR+)／ヒト上皮成長因子受容体2(HER2)陰性の早期乳がんに対するパルボシクリブと標準的な術後補助内分泌療法の併用と標準的な術後補助内分泌療法単独を比較する無作為化第Ⅲ相試験。			
医療技術名	治験 パルボシクリブ K057	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
手術可能なホルモン感受性HER2陰性原発性乳癌の術前療法として、ホルモン療法+パルボシクリブとホルモン療法+プラセボを比較する第Ⅲ相ランダム化二重盲検比較試験。			
医療技術名	生体肝移植	取扱患者数	38
当該医療技術の概要			
生体ドナーから肝臓を提供いただき非代償性肝硬変、肝不全レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死肝移植	取扱患者数	7
当該医療技術の概要			
脳死ドナーから肝臓を提供いただき非代償性肝硬変、肝不全レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死小腸移植	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
脳死ドナーから小腸を提供いただき小腸不全レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死膵島移植	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
脳死ドナーから膵臓を提供いただき、膵島分離し再生医療として、1型糖尿病レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	脳死膵臓移植	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
脳死ドナーから膵臓を提供いただき1型糖尿病レシピエントに移植手術を行う。			
医療技術名	難治緑内障に対するチューブシャント手術	取扱患者数	40
当該医療技術の概要			
従来の緑内障手術や点眼加療では十分な眼圧下降が得られない難治性緑内障にたいして、バルベルト®緑内障インプラントやアーメド緑内障バルブを用いた治療を行い、良好な治療成績が得られている。			
医療技術名	難治性視神經炎の診断と治療	取扱患者数	10
当該医療技術の概要			
視神經炎はステロイド点滴治療のみで改善し予後良好と考えられてきたが、ステロイド抵抗性や依存性の視神經炎も存在するため造影MRIや光干渉断層計を用いた評価、および症例に応じて血漿交換・免疫抑制剤を併用した治療を行っている。			
医療技術名	次世代シーケンサーを用いた網膜色素変性の遺伝子変異診断	取扱患者数	40
当該医療技術の概要			
網膜色素変性を含む遺伝性網膜変性疾患に対し、次世代シーケンサーを用いた網羅的な遺伝子解析を行い、約半数の症例で原因となる遺伝子変異を同定した。			
医療技術名	増殖糖尿病網膜症に対する小切開硝子体手術	取扱患者数	50
当該医療技術の概要			
難治性の網膜疾患である増殖糖尿病網膜症に対して、低侵襲な小切開硝子体手術を行い、合併症が少なく、良好な治療成績を得ている。			

医療技術名	糖尿病黄斑浮腫に対する抗VEGF療法	取扱患者数	30
当該医療技術の概要			
難治性の慢性疾患である糖尿病黄斑浮腫への新規治療である抗VEGF療法を行った。			
医療技術名	仮面症候群及び急性網膜壞死に対する硝子体手術	取扱患者数	30
当該医療技術の概要			
仮面症候群は悪性腫瘍に伴うブドウ膜炎で、予後不良の疾患である。また、急性網膜壞死はヘルペスウイルスによる視力障害が重篤な疾患である。これらに対して、診断目的もしくは視機能改善を目指した硝子体手術を施行した。			
医療技術名	滲出型加齢黄斑変性に対する抗VEGF療法	取扱患者数	400
当該医療技術の概要			
滲出型加齢黄斑変性に対して、プロルシズマブ、アフリベルセプト、ラニビズマブ硝子体注射を行った。			
医療技術名	萎縮型加齢黄斑変性及びその前駆病変の眼底イメージングによる評価法の確立	取扱患者数	200
当該医療技術の概要			
萎縮型加齢黄斑変性およびその前駆病変(ドゥーゼン)の患者に対して、カラー眼底写真、蛍光眼底造影、光干渉断層計、光干渉断層計血管造影、眼底自発蛍光などの眼底イメージングによる評価を行った。			
医療技術名	フォン・ヒッペル・リンドウ病における網膜血管腫の眼底イメージングによる評価法の確立	取扱患者数	40
当該医療技術の概要			
フォン・ヒッペル・リンドウ病患者およびその血縁者に対して、広角カラー眼底写真、広角蛍光眼底造影、光干渉断層計、光干渉断層計血管造影などの眼底イメージングによる評価を行った。			
医療技術名	難治性不妊症患者に対する自己末梢血リンパ球を用いた免疫療法	取扱患者数	6
当該医療技術の概要			
複数回に渡る形態良好胚を移植しても妊娠にいたらない難治性不妊患者に対して自己末梢血リンパ球を一定期間培養した後、胚移植に先んじて子宮内に投与する方法。			
医療技術名	小児・若年女性のがん患者における妊娠能温存のための卵巣組織凍結保存	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
小児・若年がん患者に対してがん治療開始前に、卵巣組織を腹腔鏡にて摘出し、保存する方法。			
医療技術名	若年女性のがん、免疫疾患、および早発卵巣機能不全患者における妊娠能温存のための卵子凍結保存	取扱患者数	13
当該医療技術の概要			
小児・若年がん患者に対してがん治療開始前に、体外受精と同様の方法で、未受精卵子を採卵し、凍結保存する方法。			
医療技術名	(小児)CAR-T細胞療法	取扱患者数	8
当該医療技術の概要			
再発・難治性のB細胞腫瘍(急性白血病、悪性リンパ腫)の治療として、患者自身から採取したT細胞に、CD19に対するキメラ抗原受容体を遺伝子導入し、増殖させた後、患者に投与する。			
医療技術名	小児カテーテル治療	取扱患者数	43
当該医療技術の概要			
経皮的心臓内手術をカテーテルにより行う。			
医療技術名	胎児心エコー診断	取扱患者数	59
当該医療技術の概要			
胎児期に心臓エコーで先天性心疾患を診断。			
医療技術名	胎児心臓病治療	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
主に不整脈疾患の胎児心臓病治療。			

医療技術名	在宅肺高血圧治療薬持続点滴	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
重症肺高血圧治療の一環として在宅点滴医療。			
医療技術名	小児経皮的心房中隔欠損閉鎖術	取扱患者数	6
当該医療技術の概要			
カテーテルを用いた、心房中隔欠損孔の閉鎖術。			
医療技術名	T1b以上の腎細胞癌に対するロボット支援下腎部分切除術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
cT1b(4cm以上)の腎細胞癌に対してロボット支援下腎部分切除術を行う(一般的な適応はcT1a(4cm以下)まで)。			
医療技術名	がんパネル検査結果に基づく、去勢抵抗性前立腺癌に対するオラパリブの自費投与	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
現在本邦ではオラパリブはBRCA1またはBRCA2遺伝子異常がある症例に保険承認されているが諸外国ではATM異常に對しても使われている。がんパネル検査でATM異常が同定されエキスパートパネルでオラパリブを推奨されたので保険適応外で自費診療としてオラパリブを投与した。			
医療技術名	下大静脈の人工血管置換を伴う後腹膜腫瘍切除術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
下大静脈への広範な浸潤を伴う淡明細胞肉腫に対して開腹後腹膜切除、右腎、下大静脈合併切除および下大静脈の人工血管置換と左腎静脈の再建を行った。高度なチーム医療体制がないと施行できない術式である。			
医療技術名	広背筋皮弁による胸壁再建を伴う再発性後腹膜悪性腫瘍切除	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
内腹斜筋内に再発した粘液纖維肉腫に対して整形外科、呼吸器外科、形成外科と合同で再発腫瘍切除、横隔膜合併切除、肋骨切除、腸骨部分切除を行い、広背筋皮弁およびゴアテックスを用いて横隔膜、胸壁再建を行った。高度な専門性を持った外科医のチームがないと不可能な術式である。			
医療技術名	広範頭蓋底腫瘍切除・再建術	取扱患者数	3
当該医療技術の概要			
頭蓋底腫瘍(悪性腫瘍含む)に対する摘出手術及び切除後再建手術を、外切開手術・内視鏡手術単独あるいは開頭手術と組み合わせた術式で行う。			
医療技術名	経鼻内視鏡下前頭蓋底悪性腫瘍手術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
前頭蓋底悪性腫瘍に対する摘出術、再建術を内視鏡単独で行う。			
医療技術名	早期肺癌および肝癌に対する動体追尾定位放射線治療	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
肺がんや肝がんの呼吸性移動に合わせて放射線治療ビームの方向を追従させ、がんに限局した照射を行う放射線治療である。従来法と比較して、がん病巣への線量を損なうことなく、正常肺、肝臓の線量を約20%低減することが可能となった。			
医療技術名	局所進行膵癌に対する動体追尾強度変調放射線治療	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
動体追尾機能と強度変調放射線治療(IMRT)とを組み合わせた革新的な治療法であり、治療の難しかった局所進行膵癌に対して実施している。従来法と比較して治療強度を大きく高めつつ、周囲臓器への線量は低く抑えることが可能となった。			
医療技術名	前立腺癌に対する寡分割画像誘導強度変調放射線治療	取扱患者数	50
当該医療技術の概要			
前立腺癌に対して寡分割画像誘導強度変調放射線治療を適用することにより治療期間を約3週間と従来の半分以下に短縮することが可能となり、患者負担を軽減する治療である。			
医療技術名	前立腺癌に対する腫瘍内ブースト併用寡分割画像誘導強度変調放射線治療	取扱患者数	38
当該医療技術の概要			
前立腺癌への寡分割画像誘導強度変調放射線治療において、前立腺内の画像上指摘しうる病変へ同時ブースト法を用いて線量増加を行うことで、安全に病変部位の線量増加が可能となった。			

医療技術名	骨盤リンパ節転移を伴う前立腺癌への標的体積内同時ブースト併用全骨盤強度変調放射線治療	取扱患者数	4
当該医療技術の概要			
骨盤リンパ節転移を伴う前立腺癌に対し標的体積内同時ブースト併用全骨盤強度変調放射線治療を適応することにより、腸管などの正常臓器への線量を抑え、病変へ必要な線量を安全に投与することが可能になった。			
医療技術名	食道癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	36
当該医療技術の概要			
食道癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、従来は実現不能だった脊髄への線量を抑え、癌病巣に必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	肛門管癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	1
当該医療技術の概要			
肛門管癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、外陰部、膀胱、小腸への不要な高線量被曝を抑え、癌病巣へ必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	永久脱毛予防のVMAT併用全脳全脊髄照射	取扱患者数	2
当該医療技術の概要			
頭蓋内腫瘍に対して強度変調放射線治療を併用した全脳照射を用いることで、病巣への必要な線量を投与し、頭皮への不要な高線量被曝を抑え、従来の治療法と比べ頭髪の永久脱毛を予防することが可能となった。			
医療技術名	Dynamic WaveArc照射法	取扱患者数	71
当該医療技術の概要			
Vero4DRTではその構造上の特徴から、患者を動かすことなく非同一平面からの照射を用いた回転式の強度変調放射線治療を行うことが可能となり、病巣の周囲の正常臓器への線量を通常の回転式強度変調放射線治療よりも低減することが可能となった。			
医療技術名	下部直腸癌に対する強度変調放射線治療	取扱患者数	9
当該医療技術の概要			
下部直腸癌に対して強度変調放射線治療を利用することで、小腸、大腸への不要な高線量被曝を軽減し、原発巣と所属リンパ領域へ適切な線量を投与可能となった。			
医療技術名	多発脳転移に対するsingle isocenter volumetric-modulated arc radiosurgery	取扱患者数	14
当該医療技術の概要			
多発脳転移に対して強度変調放射線治療と定位放射線治療を併用することにより、短い治療時間で病巣に必要な線量を投与することが可能となった。			
医療技術名	68Ga-DOTATOC-PET・CT検査	取扱患者数	16
当該医療技術の概要			
自家合成したPET製剤(68Ga-DOTATOC)を投与してPET/CTを撮像し、神経内分泌腫瘍の病巣検索やルタテラによる内照射治療の適否を決めるためのソマトスタチン受容体イメージングを行うものである。従来のオクトレオスキャンより診断精度が高く、ソマトスタチン受容体イメージングとしては欧米では本検査が主流であるが、本邦では当施設のみ施行している。			
医療技術名	flow diverter stentを用いた脳動脈瘤の治療	取扱患者数	17
当該医療技術の概要			
難治性大型脳動脈瘤に対して、flow diverter stentを使用した血管内治療を行う。			
医療技術名	propofolを用いたWADA test	取扱患者数	11
当該医療技術の概要			
頸動脈よりプロポフォールを投与し、優位半球となる言語、記憶機能半球を同定する。			
医療技術名	自家培養表皮を用いた皮膚再建	取扱患者数	20
当該医療技術の概要			
先天性巨大色素性母斑患者に対し、母斑切除後の皮膚再建を自家培養表皮を用いて行う。			
医療技術名	母指多指症に対する併合法を用いた母指再建術	取扱患者数	25
当該医療技術の概要			
低形成な多指症組織を融合して健常と同等の母指を再建する手術。			

医療技術名	骨短縮症に対する骨延長術	取扱患者数	5
当該医療技術の概要			
	創外固定器を用いて仮骨延長および骨延長および骨移植を行い、骨短縮症の骨を健常同等にする手術。		
医療技術名	唇裂患者に対する口唇形成手術	取扱患者数	30
当該医療技術の概要			
	唇裂患者の初回口唇形成術ならびに術後変形に対して機能的、審美的な面に配慮して行う手術。		
医療技術名	口蓋裂患者に対する口蓋形成術	取扱患者数	20
当該医療技術の概要			
	口蓋裂患者の鼻咽腔閉鎖機能改善を目的として筋層再建も併用した口蓋閉鎖手術。		
医療技術名	顎裂患者に対する顎裂骨移植手術	取扱患者数	20
当該医療技術の概要			
	顎裂に対して骨移植を行い、その後の歯列矯正や顔貌改善を目的とした手術。		
医療技術名	唇裂患者に対する外鼻形成手術	取扱患者数	20
当該医療技術の概要			
	唇裂を原因として発症した外鼻変形に対して自家組織を用いて機能および審美性を回復させる手術。		
医療技術名	脳死肺移植	取扱患者数	20
当該医療技術の概要			
	脳死片肺・両肺移植以外の特殊術式(左右反転・ハイブリッド移植)を用いた脳死肺移植も行っている。		
医療技術名	生体肺移植	取扱患者数	10
当該医療技術の概要			
	小児から成人まで脳死肺移植に間に合わない末期呼吸不全患者に対する生体肺移植を行う。		

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類の合計数	87
取扱い患者数の合計(人)	4208

高度の医療の提供の実績等

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
1 球脊髄性筋萎縮症	6	56 ベーチェット病	116
2 筋萎縮性側索硬化症	41	57 特発性拡張型心筋症	72
3 脊髄性筋萎縮症	12	58 肥大型心筋症	17
4 原発性側索硬化症	0	59 拘束型心筋症	0
5 進行性核上性麻痺	21	60 再生不良性貧血	39
6 パーキンソン病	366	61 自己免疫性溶血性貧血	0
7 大脳皮質基底核変性症	12	62 発作性夜間ヘモグロビン尿症	5
8 ハンチントン病	2	63 特発性血小板減少性紫斑病	34
9 神經有棘赤血球症	0	64 血栓性血小板減少性紫斑病	0
10 シャルコー・マリー・トゥース病	3	65 原発性免疫不全症候群	31
11 重症筋無力症	126	66 IgA腎症	60
12 先天性筋無力症候群	0	67 多発性囊胞腎	37
13 多発性硬化症／視神経脊髄炎	67	68 黄色鞘帯骨化症	3
14 慢性炎症性脱髓性多発神経炎／多巣性運動ニューロパシー	21	69 後縦鞘帯骨化症	53
15 封入体筋炎	2	70 広範脊柱管狭窄症	9
16 クロウ・深瀬症候群	0	71 特発性大腿骨頭壊死症	73
17 多系統萎縮症	35	72 下垂体性ADH分泌異常症	0
18 脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	49	73 下垂体性TSH分泌亢進症	0
19 ライソゾーム病	4	74 下垂体性PRL分泌亢進症	0
20 副腎白質ジストロフィー	3	75 クッシング病	12
21 ミトコンドリア病	14	76 下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22 もやもや病	152	77 下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	38
23 プリオン病	0	78 下垂体前葉機能低下症	130
24 亜急性硬化性全脳炎	0	79 家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25 進行性多巣性白質脳症	0	80 甲状腺ホルモン不応症	0
26 HTLV-1関連脊髄症	3	81 先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27 特発性基底核石灰化症	0	82 先天性副腎低形成症	0
28 全身性アミロイドーシス	31	83 アジソン病	1
29 ウルリッヒ病	0	84 サルコイドーシス	105
30 遠位型ミオパシー	0	85 特発性間質性肺炎	173
31 ベスレムミオパシー	0	86 肺動脈性肺高血圧症	78
32 自己貪食空胞性ミオパシー	0	87 肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33 シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88 慢性血栓塞栓性肺高血圧症	32
34 神経線維腫症	40	89 リンパ脈管筋腫症	25
35 天疱瘡	17	90 細胞色素変性症	135
36 表皮水疱症	6	91 バッド・キアリ症候群	13
37 膜性乾癬(汎発型)	9	92 特発性門脈圧亢進症	2
38 スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93 原発性胆汁性肝硬変	82
39 中毒性表皮壞死症	0	94 原発性硬化性胆管炎	28
40 高安動脈炎	82	95 自己免疫性肝炎	13
41 巨細胞性動脈炎	13	96 クローン病	175
42 結節性多発動脈炎	35	97 潰瘍性大腸炎	303
43 顕微鏡的多発血管炎	45	98 好酸球性消化管疾患	2
44 多発血管炎性肉芽腫症	17	99 慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	28	100 巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46 悪性関節リウマチ	43	101 腸管神経節細胞僅少症	1
47 バージャー病	8	102 ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48 原発性抗リン脂質抗体症候群	7	103 CFC症候群	0
49 全身性エリテマトーデス	577	104 コステロ症候群	0
50 皮膚筋炎／多発性筋炎	259	105 チャージ症候群	0
51 全身性強皮症	218	106 クリオピリン関連周期熱症候群	8
52 混合性結合組織病	69	107 若年性特発性関節炎	4
53 シエーグレン症候群	109	108 TNF受容体関連周期性症候群	1
54 成人スチル病	29	109 非典型溶血性尿毒症症候群	0
55 再発性多発軟骨炎	26	110 ブラウ症候群	0

高度の医療の提供の実績等

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
111 先天性ミオパチー	0	161 家族性良性慢性天疱瘡	0
112 マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	9
113 筋ジストロフィー	15	163 特発性後天性全身性無汗症	5
114 非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164 眼皮膚白皮症	0
115 遺伝性周期性四肢麻痺	0	165 肥厚性皮膚骨膜症	4
116 アトピー性脊髄炎	0	166 弾性線維性仮性黄色腫	4
117 脊髄空洞症	1	167 マルファン症候群	15
118 脊髄膜瘤	0	168 エーラス・ダンロス症候群	4
119 アイザックス症候群	0	169 メンケス病	0
120 遺伝性ジストニア	0	170 オクシピタル・ホーン症候群	0
121 神経フェリチン症	0	171 ウィルソン病	3
122 脳表ヘモジデリン沈着症	0	172 低ホスファターゼ症	0
123 禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質	0	173 VATER症候群	0
124 皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174 那須・ハコラ病	1
125 神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175 ウィーバー症候群	0
126 ペリー症候群	0	176 コフィン・ローリー症候群	0
127 前頭側頭葉変性症	0	177 ジュベール症候群関連疾患	0
128 ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178 モワット・ウィルソン症候群	0
129 痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179 ウィリアムズ症候群	0
130 先天性無痛無汗症	0	180 ATR-X症候群	0
131 アレキサンダー病	0	181 クルーゾン症候群	0
132 先天性核上性球麻痺	0	182 アペール症候群	0
133 メビウス症候群	0	183 ファイファー症候群	0
134 中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184 アントレー・ビクスラー症候群	0
135 アイカルディ症候群	0	185 コフィン・シリス症候群	0
136 片側巨脳症	0	186 ロスマンド・トムソン症候群	0
137 限局性皮質異形成	1	187 歌舞伎症候群	0
138 神経細胞移動異常症	1	188 多脾症候群	0
139 先天性大脳白質形成不全症	0	189 無脾症候群	0
140 ドラベ症候群	0	190 鰓耳腎症候群	0
141 海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	4	191 ウエルナー症候群	0
142 ミオクロニーア神てんかん	0	192 コケイン症候群	0
143 ミオクロニーア脱力発作を伴うてんかん	0	193 プラダー・ウィリ症候群	2
144 レノックス・ガストー症候群	2	194 ソトス症候群	0
145 ウエスト症候群	1	195 ヌーナン症候群	0
146 大田原症候群	0	196 ヤング・シンプソン症候群	0
147 早期ミオクロニーア脳症	0	197 1p36欠失症候群	0
148 遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198 4p欠失症候群	0
149 片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199 5p欠失症候群	0
150 環状20番染色体症候群	0	200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151 ラスマッセン脳炎	0	201 アンジェルマン症候群	0
152 PCDH19関連症候群	0	202 スミス・マギニス症候群	0
153 難治頻回部分発作重積型急性脳炎	2	203 22q11.2欠失症候群	0
154 徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳	0	204 エマヌエル症候群	0
155 ランドウ・クレフナー症候群	0	205 脆弱X症候群関連疾患	0
156 レット症候群	0	206 脆弱X症候群	0
157 スタージ・ウェーバー症候群	0	207 総動脈幹遺残症	0
158 結節性硬化症	6	208 修正大血管転位症	2
159 色素性乾皮症	1	209 完全大血管転位症	0
160 先天性魚鱗癬	1	210 単心室症	0

高度の医療の提供の実績等

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
211 左心低形成症候群	0	259 レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212 三尖弁閉鎖症	2	260 シトステロール血症	0
213 心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261 タンジール病	0
214 心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	2	262 原発性高カリコロニクロン血症	0
215 ファロー四徴症	2	263 脳膜黄色腫症	0
216 兩大血管右室起始症	1	264 無βリポタンパク血症	0
217 エプスタイン病	0	265 脂肪萎縮症	0
218 アルポート症候群	4	266 家族性地中海熱	4
219 ギャロウェイ・モワト症候群	0	267 高IgD症候群	0
220 急速進行性糸球体腎炎	2	268 中條・西村症候群	0
221 抗糸球体基底膜腎炎	0	269 化膿性無菌性関節炎・壞疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222 一次性ネフローゼ症候群	27	270 慢性再発性多発性骨髓炎	3
223 一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	271 強直性脊椎炎	38
224 紫斑病性腎炎	5	272 進行性骨化性線維異形成症	2
225 先天性腎性尿崩症	0	273 肋骨異常を伴う先天性側弯症	1
226 間質性膀胱炎(ハンナ型)	3	274 骨形成不全症	0
227 オスラー病	0	275 タナトフォリック骨異形成症	0
228 閉塞性細気管支炎	1	276 軟骨無形成症	0
229 肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	7	277 リンバ管腫症/ゴーハム病	2
230 肺胞低換気症候群	2	278 巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231 α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279 巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	2
232 カーニー複合	0	280 巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233 ウォルフラム症候群	0	281 クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	1
234 ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282 先天性赤血球形成異常性貧血	1
235 副甲状腺機能低下症	1	283 後天性赤芽球病	0
236 偽性副甲状腺機能低下症	0	284 ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
237 副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285 ファンコニ貧血	0
238 ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	286 遺伝性鉄芽球性貧血	2
239 ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287 エプスタイン症候群	0
240 フェニルケトン尿症	0	288 自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
241 高チロシン血症1型	0	289 クロンカイト・カナダ症候群	4
242 高チロシン血症2型	0	290 非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243 高チロシン血症3型	0	291 ヒルシュスピルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244 メープルシロップ尿症	0	292 総排泄腔外反症	0
245 プロピオン酸血症	1	293 総排泄腔遺残	0
246 メチルマロン酸血症	0	294 先天性横隔膜ヘルニア	0
247 イソ吉草酸血症	0	295 乳幼児肝巨大血管腫	0
248 グルコーストランスポーター1欠損症	0	296 胆道閉鎖症	48
249 グルタル酸血症1型	0	297 アラジール症候群	1
250 グルタル酸血症2型	0	298 遺伝性脾炎	0
251 尿素サイクル異常症	2	299 囊胞性線維症	0
252 リジン尿性蛋白不耐症	0	300 IgG4関連疾患	29
253 先天性葉酸吸收不全	0	301 黄斑ジストロフィー	0
254 ポルフィリン症	0	302 レーベル遺伝性視神経症	0
255 複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303 アッシャー症候群	1
256 筋型糖原病	0	304 若年発症型両側性感音難聴	0
257 肝型糖原病	1	305 遅発性内リンパ水腫	1
258 ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306 好酸球性副鼻腔炎	26

高度の医療の提供の実績等

4 指定難病についての診療

疾患名	患者数	疾患名	患者数
307 カナバン病	0	321 非ケトーシス型高グリシン血症	0
308 進行性白質脳症	0	322 β -ケトチオラーゼ欠損症	0
309 進行性ミオクローヌステンかん	0	323 芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310 先天異常症候群	0	324 メチルグルタコン酸尿症	0
311 先天性三尖弁狭窄症	0	325 遺伝性自己炎症疾患	1
312 先天性僧帽弁狭窄症	1	326 大理石骨病	0
313 先天性肺静脈狭窄症	0	327 特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	3
314 左肺動脈右肺動脈起始症	0	328 前眼部形成異常	0
315 ネイルバテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX 1B関連腎症	0	329 無虹彩症	0
316 カルニチン回路異常症	0	330 先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
317 三頭酵素欠損症	0	331 特発性多中心性キャッスルマン病	18
318 シトリン欠損症	1	332 膜様滴状角膜ジストロフィー	0
319 セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333 ハッテンソン・ギルフォード症候群	0
320 先天性グリコシルホスファチジルイノシトール (GPI)欠損症	0	334 脳クレアチニン欠乏症候群	0
		335 ネフロン癆	0
		336 家族性低 β リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
		337 ホモ시스チン尿症	0
		338 進行性家族性肝内胆汁うつ滯症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

取扱疾患件数	139
患者数計	4,862

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・情報通信機器を用いた診療	・患者サポート体制充実加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・重症患者初期支援充実加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料(一般病棟)7対1入院基本料	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料(結核病棟)7対1入院基本料	・精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
・救急医療管理加算	・後発医薬品使用体制加算2
・超急性期脳卒中加算	・病棟薬剤業務実施加算1
・診療録管理体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算2
・医師事務作業補助体制加算2(20対1)	・データ提出加算2イ・4イ
・急性期看護補助体制加算(25対1 看護補助者5割以上)	・入退院支援加算1
・看護職員夜間配置加算(12対1配置加算1イ1)	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・看護補助加算1	・精神疾患診療体制加算
・療養環境加算	・精神科急性期医師配置加算2のロ
・重症者等療養環境特別加算	・地域医療体制確保加算
・無菌治療室管理加算1	・特定集中治療室管理料2
・無菌治療室管理加算2	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・放射線治療病室治療管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・新生児特定集中治療室管理料1
・緩和ケア診療加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・精神科応急入院施設管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・精神科急性期治療病棟入院料1
・摂食障害入院医療管理加算	・短期滞在手術等基本料1
・栄養サポートチーム加算	
・医療安全対策加算1	
・感染対策向上加算1	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・連携充実加算
・外来栄養食事指導料の注2	・ニコチン依存症管理料
・外来栄養食事指導料の注3	・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算
・糖尿病合併症管理料	・がん治療連携計画策定料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・がん患者指導管理料イ	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・がん患者指導管理料ロ	・肝炎インターフェロン治療計画料
・がん患者指導管理料ハ	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・がん患者指導管理料ニ	・薬剤管理指導料
・外来緩和ケア管理料	・医療機器安全管理料1
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・医療機器安全管理料2
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・精神科退院時共同指導料2
・糖尿病透析予防指導管理料	・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モニタリング加算
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・婦人科特定疾患治療管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・腎代替療法指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・一般不妊治療管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・生殖補助医療管理料1	・遺伝学的検査
・二次性骨折予防継続管理料1	・染色体検査の注2
・二次性骨折予防継続管理料3	・骨髄微小残存病変量測定
・下肢創傷処置管理料	・BRCA1／2遺伝子検査
・院内トリアージ実施料	・がんゲノムプロファイリング検査
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算1	・先天性代謝異常症検査
・外来放射線照射診療料	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
・外来腫瘍化学療法診療料1	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)

施設基準の種類	施設基準の種類
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・画像診断管理加算3
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・ポジトロン断層撮影
・検体検査管理加算(I)	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・検体検査管理加算(IV)	・ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影
・国際標準検査管理加算	・乳房用ポジトロン断層撮影
・遺伝カウンセリング加算	・CT撮影及びMRI撮影
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・冠動脈CT撮影加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・心臓MRI撮影加算
・胎児心エコー法	・乳房MRI撮影加算
・ヘッドアップティルト試験	・小児鎮静下MRI撮影加算
・長期継続頭蓋内脳波検査	・頭部MRI撮影加算
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・全身MRI撮影加算
・脳磁図(自発活動を測定するもの)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・脳磁図(その他のもの)	・外来化学療法加算1
・脳波検査判断料1	・無菌製剤処理料
・神経学的検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(I)
・補聴器適合検査	・脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
・全視野精密網膜電図	・運動器リハビリテーション料(I)
・ロービジョン検査判断料	・呼吸器リハビリテーション料(I)
・コンタクトレンズ検査料1	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算1
・小児食物アレルギー負荷検査	・がん患者リハビリテーション料
・内服・点滴誘発試験	・歯科口腔リハビリテーション料2
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・療養生活継続支援加算
・経気管支凍結生検法	・救急患者精神科持続支援料
・精密触覚機能検査	・認知療法・認知行動療法1

施設基準の種類	施設基準の種類
・精神科作業療法	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・精神科ショート・ケア「大規模なもの」	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・精神科ショート・ケア「小規模なもの」	・頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)
・精神科デイ・ケア「大規模なもの」	・角結膜悪性腫瘍切除手術
・精神科デイ・ケア「小規模なもの」	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法))及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・医療保護入院等診療料	・緑内障手術(濾過胞再建術(needling法))
・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・網膜再建術
・透析液水質確保加算2、慢性維持透析濾過加算	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス治療	・人工中耳植込術
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・CAD/CAM冠及びCAD/CAM冠インレー	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・歯科技工加算1及び2	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・センチネルリンパ節加算	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・皮膚移植術(死体)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(同種骨移植(非生体)(同種骨移植(特殊なものに限る。)))	・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・椎間板内酵素注入療法	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・腫瘍脊椎骨全摘術	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

施設基準の種類	施設基準の種類
・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)	・補助人工心臓
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・経皮的下肢動脈形成術
・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
・同種死体肺移植術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・生体部分肺移植術	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等	・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下噴門測胃切除術(単純切除術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)及び腹腔鏡下噴門測胃切除術(悪性腫瘍手術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)
・胸腔鏡下弁形成術	・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術)(内視鏡手術用支援機器を用いる)
・胸腔鏡下弁置換術	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)	・腹腔鏡下胆囊悪性腫瘍手術(胆囊床切除を伴うもの)
・経皮的僧帽弁クリップ術	・胆管悪性腫瘍手術(脾頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)	・腹腔鏡下肝切除術
・経皮的中隔心筋焼灼術	・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・生体部分肝移植術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・同種死体肝移植術
・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下脾腫瘍摘出術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術
・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	・腹腔鏡下脾頭部腫瘍切除術
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術	・同種死体脾移植術、同種死体脾腎移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・同種死体脾島移植術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・生体部分小腸移植術

施設基準の種類	施設基準の種類
・同種死体小腸移植術	・体外式膜型人工肺管理料
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巢癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巢癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)	・輸血管理料Ⅰ
・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)、腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・コーディネート体制充実加算
・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・同種クリオプレシピテート作製術
・同種死体腎移植術	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・生体腎移植術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・膀胱水圧拡張術、ハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道的)	・広範囲頸骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・人工尿道括約筋植込・置換術	・放射線治療専任加算
・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術、陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)	・外来放射線治療加算
・精巣内精子採取術	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・1回線量増加加算
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・強度変調放射線治療(IMRT)
・腹腔鏡下仙骨臑固定術	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・腹腔鏡下仙骨臑固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・定位放射線治療
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・画像誘導密封小線源治療加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・胎児輸血術及び臍帶穿刺	・病理診断管理加算2

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1) 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	19 件	
剖 檢 の 状 況	剖検症例数(例)	22
	剖検率(%)	7.07

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
新規エピゲノム修飾薬のB細胞リンパ腫に対する奏効予測モデルの確立とその治療応用	錦織 桃子	血液内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
APOBEC3によるゲノム変異導入と癌のクローン進化の病態解明	高折 晃史	血液内科	4,420,000	補○ 委 文部科学省
(HIV感染者等保健福祉相談事業) HIV感染者等保健福祉相談事業	高折 晃史	血液内科	750,000	補○ 委○ 公益財団法人エイズ予防財団 理事長
VHH抗体技術を用いた新規SARS-CoV-2中和抗体の開発	高折 晃史	血液内科	19,500,000	補○ 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
アルパカVHH抗体技術を用いたHIV-1感染症の抗体製剤及びCAR-T療法の開発	高折 晃史	血液内科	19,000,000	補○ 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
中分子アゴニスト創薬のロジカルデザイン～OX40アゴニスト開発を実施例として～	高折 晃史	血液内科	12,000,000	補○ 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
新型コロナウイルスに対する免疫システムの包括的理 解に向けた研究基盤の創出	高折 晃史	血液内科	13,000,000	補○ 委○ 国立大学法人東京大学 総長 代理人 医科学研究所 事務部長
IDH1-NPM1変異急性骨髓性白血病マウスを用いた化学療法抵抗性獲得機序の解明	阪本 貴士	血液内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
HLAエピトープ多型に基づく臓器移植のデーターメイド医療開発に資する研究	進藤 岳郎	血液内科	12,350,000	補○ 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
KIRアリル多型に着目した造血幹細胞移植における免疫の最適化	進藤 岳郎	血液内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省

正常妊娠維持および不育症におけるスフィンゴ脂質代謝の役割の解明	水岸 貴代美	血液内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
非定型3q26転座型骨髄性腫瘍のEVI1エピジェネティック制御機構解明と治療応用	蝶名林 和久	血液内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
HIV感染症の根治治療に資する多階層基礎研究基盤の創出	白川 康太郎	血液内科	2,080,000	補 委○	国立大学法人東京大学 総長代理人医科学研究所事務部長
HIV-1Vif/HDAC3複合体によるHIV-1潜伏感染転写ネットワークの制御	白川 康太郎	血液内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
TKI製剤による免疫細胞への影響とTreg減少感受性の検証	北脇 年雄	血液内科	1,499,999	補 委○	国立大学法人大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 拠点長
リン酸化プロテオーム解析による形質細胞様樹状細胞のIFN産生メカニズムの解明	北脇 年雄	血液内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
網羅的なHLA及び臨床情報の機械学習による同種移植の国際標準予後予測アルゴリズム	諫田 淳也	血液内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
シングルセルエピゲノム解析を用いた脾β細胞増殖制御機序の解明	稻垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,990,000	補○ 委	文部科学省
栄養素感知に関わる腸管内分泌ホルモン分泌機構の統合的解析	稻垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	5,070,000	補○ 委	文部科学省
認知症の共生と予防に関するエビデンス構築研究	稻垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	250,000	補 委○	国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験(J-DOIT3)	稻垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	200,000	補 委○	公益財団法人日本糖尿病財団 理事長

食事療法の計画・実行支援AIプログラムによりPHR・EHRを糖尿病重症化予防医療に活用する仕組みの研究開発	稻垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	13,000,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
食によるヘルスケア産業創出コンソーシアム「食を通じた健康システムの確立による健康寿命の延伸への貢献」	稻垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	7,482,493	補委○	国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 理事長
日本人の糖尿病・肥満症発症予防に対する褐色脂肪組織の役割および制御因子の解明	稻垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	10,400,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
日米医学協力計画を基軸にしたアジアの栄養・代謝に関する疫学・介入研究と人材育成	稻垣 暢也	糖尿病・内分泌・栄養内科	4,000,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
GIP分泌を抑制する栄養素の探索と作用機序の解明	原田 篤雄	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,170,000	補委○	文部科学省
炭酸脱水酵素5(Car8)によるGLP-1分泌制御機構の解明	山根 俊介	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,560,000	補委○	文部科学省
TSH過剰発現マウスを用いた甲状腺機能亢進症に対する新規治療の基盤構築	山内 一郎	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,080,000	補委○	文部科学省
小胞体内カルシウム・センサーSTIMによるインスリン分泌制御基盤の研究	小倉 雅仁	糖尿病・内分泌・栄養内科	780,000	補委○	文部科学省
CNPの発現調節機構解明による新規低身長治療の探索研究	植田 洋平	糖尿病・内分泌・栄養内科	2,600,000	補委○	文部科学省
非侵襲的中枢神経系GLP-1受容体定量法の開発とその発現量変化の病的意義の解明	村上 隆亮	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,560,000	補委○	文部科学省
ヒトiPS細胞由来血管細胞分化誘導法の血管病態解明への応用	田浦 大輔	糖尿病・内分泌・栄養内科	910,000	補委○	文部科学省

単一遺伝子異常による糖尿病の新規発症原因遺伝子同定	田中 大祐	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
ヒト疾患iPS細胞を利用した膵・腸管異常症の解明と再生医療への応用	藤倉 純二	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
テトラヒドロビオブテンを用いた褐色脂肪重量の制御による肥満・糖尿病予防法の開発	藤田 義人	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
シングルセルATAC-seqと膵切除モデルを用いた増殖膵β細胞のエピゲノム解析	龍岡 久登	糖尿病・内分泌・栄養内科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
非心筋細胞における炎症シグナルをターゲットとした心筋炎新規治療法の開発	芦田 昇	循環器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
損傷心筋の再生を機序とする心筋梗塞後心不全抑制薬の探索	芦田 昇	循環器内科	15,000,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
三量体Gタンパク質を介した心不全進展の新規発症機序の解明と治療法の開発	稻住 英明	循環器内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
静脈血栓栓症患者の診療実態と予後を検討する多施設共同観察研究	山下 侑吾	循環器内科	3,120,000	補○ 委	文部科学省
プラークびらんを伴う急性冠動脈症候群における血栓形成の機序の解明	山本 絵里香	循環器内科	780,000	補○ 委	文部科学省
臓器間ネットワークを司る多機能ペプチダーゼによる糖代謝制御機構の解明	松田 真太郎	循環器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
ディープラーニングを用いた非造影CTからの臓器抽出最適化手法の確立	静田 聰	循環器内科	1,950,000	補○ 委	文部科学省

proBNPの糖鎖修飾制御機構の解明に基づく心疾患の新規診断法・治療法の開発	中川 靖章	循環器内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
肺動脈性肺高血圧症に対する治療薬としての TRP C3/6阻害薬L862の有効性についての治験準備	中川 靖章	循環器内科	18,200,000	補○ 委○	国立大学法人 信州大学 分 任契約担当役 理事
ATP保持作用を有した新規化合物による心不全治療法の開発	渡邊 真	循環器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
細胞保護による新規心不全治療薬の開発	尾野 亘	循環器内科	3,510,000	補○ 委	文部科学省
長鎖非コードRNAの循環器疾患における機能解明と疾患治療への応用	尾野 亘	循環器内科	5,590,000	補○ 委	文部科学省
マイクロRNAと心血管疾患に関する基礎的・臨床的研究	尾野 亘	循環器内科	1,050,000	補○ 委○	独立行政法人 国立病院機構 京都医療セン ター 院長
遺伝子タイプによらない新たな筋ジストロフィー治療薬の開発	尾野 亘	循環器内科	13,000,000	補○ 委○	国立研究開発 法人 日本医 療研究開発機 構 契約担当 職 理事長
コレステロールにより制御される長鎖非コードRNAの機能解析とその臨床応用	堀江 貴裕	循環器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
静脈血栓塞栓症における非ビタミンK阻害経口抗凝固薬治療の前向き追跡研究	木村 剛	循環器内科	388,800	補○ 委○	国立大学法人 三重大学
心不全発症経過における成人マウス心筋からの転写コアクチベータp300複合体精製	木村 剛	循環器内科	450,000	補○ 委○	独立行政法人 国立病院機構 京都医療セン ター 院長
肥大型心筋症患者における診療の実態調査および突然死／拡張相への移行に関する新規予測プログラムの開発とその検証	木村 剛	循環器内科	650,000	補○ 委○	国立研究開発 法人 国立循 環器病研究セ ンター

自己免疫性膵炎の抗原同定	塩川 雅広	消化器内科	6,760,000	補○ 委	文部科学省
潰瘍性大腸炎の特異的自己抗原の同定による新規体外診断薬の開発	塩川 雅広	消化器内科	39,900,000	補○ 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
原発性硬化性胆管炎の病因自己抗原の同定	塩川 雅広	消化器内科	8,892,000	補○ 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
抗インテグリン $\alpha V \beta 6$ 自己抗体測定による潰瘍性大腸炎の診断・病勢評価のエビデンス創出研究	塩川 雅広	消化器内科	12,950,000	補○ 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
脂肪酸の代謝産物がIBDの病態に与える影響に関する検討	岡部 誠	消化器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
潰瘍性大腸炎における新規病因自己抗体の同定	桑田 威	消化器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
DNA修復異常を有する肝細胞癌の発生機序と免疫チェックポイント阻害治療反応性	恵荘 裕嗣	消化器内科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
全ゲノム解析とオルガノイド培養を用いた多段階肝発癌分子メカニズムの解明	高井 淳	消化器内科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
膵癌局所の免疫賦活を最大化するナノ粒子TLR9リガンド併用光免疫療法の開発	高橋 健	消化器内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
肝内胆管癌の形成におけるHes1の機能解析および肝内胆管癌の新規治療法の開発	松森 友昭	消化器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
がんの幹細胞性と線維化機構の制御による多因子標的がん治療法の開発	中西 祐貴	消化器内科	11,700,000	補○ 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長

浸潤性膵癌形成後の維持・進行におけるクロマチン制御因子の機能とその分子機構の解明	福田 晃久	消化器内科	4,160,000	補○ 委	文部科学省
クロマチンリモデリング因子と合成致死性を標的とした新規膵がん治療法の開発	福田 晃久	消化器内科	14,450,000	補○ 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
微生物叢と宿主の相互作用に基づく膵がん発症メカニズムの解明	福田 晃久	消化器内科	23,493,600	補○ 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
膵臓がん、胆道がんモデル評価系の構築(2020-A-6)	福田 晃久	消化器内科	600,000	補○ 委	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
クローン病腸管狭窄治療におけるHSP47の役割とその臨床応用について	本澤 有介	消化器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
分化の揺らぎを克服する新規大腸がん治療戦略の構築	妹尾 浩	消化器内科	6,890,000	補○ 委	文部科学省
超初期段階から引き返す膵発がん予防戦略の探求	妹尾 浩	消化器内科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
患者生体試料リソースプラットフォームの構築と運用	妹尾 浩	消化器内科	22,999,600	補○ 委	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
マイクロサテライト安定性大腸がんに対するがん幹細胞免疫療法の開発	妹尾 浩	消化器内科	8,450,000	補○ 委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
腸腫瘍におけるArid1aの機能解析	林 由紀子 (平松 由紀子)	消化器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
異なる経路での腸腫瘍発生におけるクロマチンリモデリング因子の機能的役割の解明	林 由紀子 (平松 由紀子)	消化器内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省

肝発がん等を考慮したC型肝炎治療後の病態および経過に関する研究	高井 淳	消化器内科	1,300,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
次世代シーケンス技術を用いたC型肝炎の直接作用型抗ウイルス薬による治療後病態に影響をおよぼす因子に関する研究／HCV多剤耐性変異・肝移植症例の解明	高井 淳	消化器内科	2,000,000	補委○	国立大学法人 山梨大学
Different roles of C/EBP-alpha in chromosome conformation during lung injury of young and old mice	Gothwal Santos h·Kumar	呼吸器内科	1,820,000	補○委	文部科学省
ヒト未分化細胞から誘導した肺上皮細胞のマッシュ上培養を用いた感染症研究への展開	伊藤 功朗	呼吸器内科	4,680,000	補○委	文部科学省
気道・肺胞オルガノイドの作製と呼吸器チップの開発	後藤 慎平	呼吸器内科	13,000,000	補委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
多能性幹細胞を用いたヒト由来肺組織シミュレーターの創出	後藤 慎平	呼吸器内科	21,450,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
ヒトiPS細胞を用いた線毛機能不全症候群の新規診断法の開発と精密医療への応用	後藤 慎平	呼吸器内科	8,892,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
ドライバー遺伝子陽性肺癌における新規治療戦略の開発	小笹 裕晃	呼吸器内科	1,170,000	補○委	文部科学省
脳内微小環境と癌細胞の相互作用を解明する異分野融合的解析法／分担研究課題名:肺癌転移性脳腫瘍患者の集積と患者検体に対するオミクス解析	小笹 裕晃	呼吸器内科	3,250,000	補委○	国立大学法人 東海国立大学機構 機構長
上葉優位型肺線維症の病態解明に基づく新規バイオマーカーと治療標的の探索	谷澤 公伸	呼吸器内科	1,690,000	補○委	文部科学省

IPFにおける末梢気道の形態及び機能変化が病態に及ぼす影響の検討	池添 浩平	呼吸器内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
難治性呼吸器疾患・肺高血圧症に関する調査研究	平井 豊博	呼吸器内科	15,090,000	補○ 委	厚生労働省
ヒトiPS細胞を用いた呼吸器難病の病態機序の解明と新規創薬基盤の確立	平井 豊博	呼吸器内科	86,400,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)肺炎に対するPAI-1阻害薬TM5614のプラセボ対照二重盲検第II相医師主導治験	平井 豊博	呼吸器内科	26,000,000	補 委○	東北大学病院長
IgG4関連疾患モデル「ヒトIgG4ノックインマウス」の改良と各薬剤の有効性検討	吉藤 元	免疫・膠原病内科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
シングルセル統合ゲノムクス解析が解き明かす強皮症の病態基盤の開発	吉藤 元	免疫・膠原病内科	3,250,000	補 委○	国立研究開発法人理化学研究所 契約担当役 外部資金室長
トリズマブ効果不十分の特発性多中心性キャッスルマン病に対するシロリムスの医師主導治験	吉藤 元	免疫・膠原病内科	700,000	補 委○	国立大学法人長崎大学 学長
自己免疫疾患におけるホスホリパーゼD4の臨床応用の探索	秋月 修治	免疫・膠原病内科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
免疫担当細胞eQTLデータを用いた免疫介在性疾患ゲノム情報からの層別化および予後予測モデルの構築	森信 晓雄	免疫・膠原病内科	390,000	補 委○	国立大学法人東京大学 総長 代理人 医学部附属病院 事務部長
先天的／後天的構造多型に着目した免疫／精神疾患病態解明に関する研究開発	森信 晓雄	免疫・膠原病内科	2,600,000	補 委○	国立研究開発法人理化学研究所 契約担当役 外部資金室長
高齢発症関節リウマチ患者の健康寿命延伸を目指した治療戦略の確立	森信 晓雄	免疫・膠原病内科	780,000	補 委○	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長 荒井 秀典

自己免疫性疾患の臓器病変局所におけるシングルセルRNAシークエンスを用いたマルチオミックス解析による病態解明基盤の構築	森信 晓雄	免疫・膠原病内科	130,000	補委○	国立大学法人 東京大学 総長 代理人 医学部附属病院 事務部長
全身性エリテマトーデスの抗DNA抗体とHLAクラスIIの関連性についての研究	辻 英輝	免疫・膠原病内科	1,560,000	補○委	文部科学省
全身性エリテマトーデスにおける自己反応性の獲得とS100分子の関連	北郡 宏次	免疫・膠原病内科	1,170,000	補○委	文部科学省
敗血症に合併した低体温における骨髓由来細胞のiNOSを介した病態的意義の解明	高谷 悠大	初期診療・救急医学	1,430,000	補○委	文部科学省
腎糸球体でのナトリウム利尿ペプチド受容体とp38 MAPKの関連性	山田 博之	初期診療・救急医学	2,080,000	補○委	文部科学省
AARS2変異によるミトコンドリア機能異常を介した白質ジストロフィーの病態解明	陣上 直人	初期診療・救急医学	520,000	補○委	文部科学省
低代謝療法の基盤となる脳から末梢組織への休眠シグナルの解明	大鶴 繁	初期診療・救急医学	2,600,000	補○委	文部科学省
急性呼吸不全患者における睡眠呼吸障害を含めた客観的かつ継続的睡眠評価手法の確立	南 卓馬	初期診療・救急医学	1,560,000	補○委	文部科学省
多系統萎縮症におけるオリゴデンドログリア特異的 α -シヌクレイン凝集体と伝播の解明	大野 美樹	脳神経内科	1,300,000	補○委	文部科学省
抗血栓薬服用患者におけるcnm陽性S. mutans感染と脳内出血発症との関連を検証する多施設共同観察研究(RAMESSES研究)	眞木 崇州	脳神経内科	22,000	補委○	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
前駆期パーキンソン病をターゲットとした病態解明と疾患修飾療法の開発	高橋 良輔	脳神経内科	13,520,000	補○委	文部科学省

DAT-SPECT、神経学的診察、認知機能等の心理評価、MRIデータの収集、解析	高橋 良輔	脳神経内科	125,320	補 委○	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
パーキンソン病発症予防のための運動症状発症前biomarkerの特定のための研究(The Japan Parkinson's Progression Markers Initiative(通称:J-PPMI))	高橋 良輔	脳神経内科	312,000	補 委○	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
成人SMA患者レジストリの整備、成人期SMAの臨床的検討、SMA予後マーカー・因子の探索	綾木 孝	脳神経内科	390,000	補 委○	国立大学法人 東海国立大学機構 機構長
パーキンソン病前駆期モデル動物を活用した臓器間ネットワークの解明とヒトへのトランスレーションによるリスク予見法の創出／ムーンショット型研究開発事業	山門 穂高	脳神経内科	19,500,000	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
神経グリア血管単位—リンパ管系に着目した血管性認知症および混合型認知症における臓器間ネットワークの解明とヒトへのトランスレーションによるリスク予見法の創出	眞木 崇州	脳神経内科	19,500,000	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
臓器連関の包括的理解に基づく認知症関連疾患の克服に向けて	高橋 良輔	脳神経内科	23,999,300	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
パーキンソン病発症前から発症後に連続する神経回路病態の解明とトランスレータブル指標の開発	高橋 良輔	脳神経内科	220,363,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
慢性腎臓病進展における心腎連関の機序解明	横井 秀基	腎臓内科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
アルドステロンによる糸球体障害におけるポドサイトのp38MAPKの役割の解明	加藤 有希子	腎臓内科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
エネルギー代謝ダイナミクスからみた腎臓病の病態解明と薬剤スクリーニング法の確立	山本 伸也	腎臓内科	2,730,000	補○ 委	文部科学省

高塩、アルドステロンによる腎障害へのNa利尿ペプチド効果に対するCTGFの意義	石井 輝	腎臓内科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
腎疾患におけるmiR-23bの意義の解明	大野 祥子	腎臓内科	2,730,000	補○ 委	文部科学省
近位尿細管再生を担う細胞群の探索	北井 悠一朗	腎臓内科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
腎構成細胞「亜集団」の細胞老化が腎臓の老化と障害応答性に与える影響の解明	柳田 素子	腎臓内科	5,070,000	補○ 委	文部科学省
体温が決定するエネルギー代謝と障害応答性:冬眠に学ぶ	柳田 素子	腎臓内科	3,900,000	補○ 委	文部科学省
腎臓病において組織障害と修復を制御する微小環境の解明と医学応用	柳田 素子	腎臓内科	83,327,400	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
炎症誘発細胞除去による100歳を目指した健康寿命延伸医療の実現	柳田 素子	腎臓内科	75,400,000	補 委○	国立大学法人 東京大学 総長 代理人 医科学研究所 事務部長
個体・臓器老化研究拠点／分担研究開発課題名：腎臓内微小環境の加齢性変容の分子的定義付けと可視化にもとづく老化制御メカニズムの解明	柳田 素子	腎臓内科	22,880,000	補 委○	国立大学法人 東北大学 病院長
放射線療法、化学療法に伴い正常食道上皮に生じるゲノム異常の解明	横山 顕礼	腫瘍内科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
食道がん化における初期のゲノム異常の解明-多発ヨード不染の網羅的ゲノム解析-	横山 顕礼	腫瘍内科	6,500,000	補○ 委	文部科学省
KRASの超生理的活性化を標的としたKRAS増幅胃癌フェロトーシス誘導療法の開発	菊池 理	腫瘍内科	1,430,000	補○ 委	文部科学省

ALK遺伝子異常を有する希少がんに対するアレクチニブの医師主導治験	金井 雅史	腫瘍内科	400,000	補委○	国立がん研究センター 理事長
乳癌臨床検体を用いたホルモン治療耐性メカニズムの解明	川口 展子	腫瘍内科	780,000	補○委	文部科学省
希少がんに対する遺伝子プロファイリングと標的治療に関する前向きレジストリ臨床研究(MASTERKEY Project)	武藤 学	腫瘍内科	9,150,000	補委○	国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
難治性食道癌におけるPrecision Medicineに資する診断技術開発に関する研究	武藤 学	腫瘍内科	14,950,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
消化管内視鏡を用いた治療における標準治療確立のための多施設共同研究(2020-J-3)	武藤 学	腫瘍内科	6,170,000	補委○	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
ゲノム医療実現推進のためのバイオバンク利活用促進に向けたバイオバンク・ネットワーク構築と運用支援に関する研究開発	武藤 学	腫瘍内科	3,900,000	補委○	国立大学法人 東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 機構長
HER2増幅固形癌に対するトラスツズマブ・ペルツズマブ併用療法のバスケットトライアル Basket trial of trastuzumab and pertuzumab combination therapy for HER2 amplified	武藤 学	腫瘍内科	1,950,000	補委○	国立大学法人 東京医科歯科大学 学長
「頭頸部表在癌全国登録調査」に基づいた頭頸部表在癌に対する診断・治療法の開発に関する研究	武藤 学	腫瘍内科	104,000	補委○	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
局所切除後の垂直断端陰性かつ高リスク下部直腸粘膜下層浸潤癌(pT1癌)に対するカペシタビン併用放射線療法の単群検証的試験に関する研究開発(JCOG1612)	武藤 学	腫瘍内科	650,000	補委○	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
個別化治療に向けた大腸癌StageIV根治術症例のctDNAバイオマーカーの探索	岡村 亮輔	消化管外科	1,170,000	補○委	文部科学省
大腸癌微小環境におけるケモカイン・シグナルを標的とした治療戦略	河田 健二	消化管外科	1,430,000	補○委	文部科学省

CRP遺伝子多型と食道がんリンパ節転移に関する多施設共同後ろ向き観察研究	角田 茂	消化管外科	22,000	補委○	国立大学法人 秋田大学 学長
CRP遺伝子多型と食道がんリンパ節転移に関する多施設共同後ろ向き観察研究	角田 茂	消化管外科	22,000	補委○	国立大学法人 秋田大学 学長
切除不能または再発食道癌に対するCF(シスプラチソ+5FU)療法とbDCF(biweeklyドセタキセル+CF)療法のランダム化第II期比較試験	角田 茂	消化管外科	877,500	補委○	静岡県立静岡がんセンター局長
切除不能局所進行食道癌に対する標準治療確立のための研究	角田 茂	消化管外科	130,000	補委○	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
胃癌腹膜播種進行のメカニズム解明	久森 重夫	消化管外科	1,950,000	補委○	文部科学省
内視鏡外科手術のデータベース構築に資する横断的基盤整備	坂井 義治	消化管外科	5,852,600	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
感覚融合法を用いた追体験没入型内視鏡外科手術教育システムの開発と有効性の評価	小濱 和貴	消化管外科	1,040,000	補委○	文部科学省
ロボット支援手術における熟練技術追体験型学習システム	小濱 和貴	消化管外科	1,300,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
腸内細菌を指標とした大腸がんの早期診断方法の開発／京都大学病院のサンプルを用いた大腸がん診断モデルの検証	小濱 和貴	消化管外科	1,300,000	補委○	国立大学法人 大阪大学微生物病研究所長
大腸癌肝転移における腫瘍微小環境での好中球の機能・動態解明	板谷 喜朗	消化管外科	1,300,000	補委○	文部科学省
乳癌肝転移巣の腫瘍免疫微小環境をターゲットとした新規治療戦略の開発	河口 浩介	乳腺外科	2,210,000	補委○	文部科学省

リンパ節免疫微小環境を標的とした新規乳癌治療戦略の開発	河口 浩介	乳腺外科	9,100,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS-1術後療法・長期予後にに関する多施設共同観察研究:POTENT附随研究	戸井 雅和	乳腺外科	88,000	補委○	公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター理事長
細胞外小胞の脂質組成に注目した乳癌免疫療法の新規バイオマーカーの探索	川島 雅央	乳腺外科	1,560,000	補○委	文部科学省
がん細胞の熱エネルギー代謝－熱代謝治療法の開発	川島 雅央	乳腺外科	9,340,500	補委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
振動解析の手法を取り入れた新規NMR解析法による膀がん、胆管がん血清診断法の開発	伊藤 孝司	肝胆胰・移植外科	1,300,000	補○委	文部科学省
心停止肝移植におけるグラフト機能改善を目指した新規臓器保存法の開発	奥村 晋也	肝胆胰・移植外科	1,040,000	補○委	文部科学省
肝移植術後早期回復におけるHMB投与の有用性と新規メカニズムの解明	加茂 直子	肝胆胰・移植外科	910,000	補○委	文部科学省
過小グラフト症候群の病態解明を目指した肝移植・肝切除後 肝内門脈のMRI血流解析	小木曾 聰	肝胆胰・移植外科	2,210,000	補○委	文部科学省
ブタモデルを用いたFOLFOX誘導性SOSの予防法の確立	瀬尾 智	肝胆胰・移植外科	1,690,000	補○委	文部科学省
肝線維化における筋線維芽細胞と癌関連線維芽細胞の活性化機序の検証	西尾 太宏	肝胆胰・移植外科	2,210,000	補○委	文部科学省
癌幹細胞の観点から見た肝癌におけるゲノム不均一性の解明	石井 隆道	肝胆胰・移植外科	1,170,000	補○委	文部科学省

組織間クロストークを基盤とした胆管癌の進展メカニズムの解明	増井 俊彦	肝胆膵・移植外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
生理的な胆道再建を目指した人工胆管の開発	田浦 康二朗	肝胆膵・移植外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
制御性T細胞を標的とした免疫応答制御技術に関する研究開発	田浦 康二朗	肝胆膵・移植外科	13,000,000	補 委○	国立大学法人 大阪大学 免疫学フロンティア研究センター 拠点長
PDOXモデルを用いたWarburg効果を標的とする肝内胆管癌外科治療戦略の開発	楊 知明	肝胆膵・移植外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
肝内胆管癌におけるリンパ節郭清の意義を検証する医師主導臨床試験実施のためのプロトコール作成研究	楊 知明	肝胆膵・移植外科	3,900,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
新規高分子ミセル溶液による虚血再灌流障害抑制法の開発	岡本 龍弥	小児外科	910,000	補○ 委	文部科学省
イメージング質量分析による心筋症病態進行関連バイオマーカー同定および治療応用研究	山崎 和裕	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
局所温度制御とノンファウリング技術により人工肺の耐久性と生体適合性改善を目指す新規高機能人工肺の開発研究	升本 英利	心臓血管外科	2,990,000	補 委○	国立大学法人 島根大学 学長
低体温循環停止における「人工冬眠」併用による効率的な臓器保護法の開発	川東 正英	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
マイクロRNAの効率的導入による心臓血管外科領域の治療応用に関する研究	池田 義	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
iPS細胞心臓再生治療に伴う腫瘍性合併症の高感度検出・腫瘍除去システムの開発	湊谷 謙司	心臓血管外科	5,980,000	補○ 委	文部科学省

iPS細胞由来人工心臓組織移植による心臓再生医療における免疫拒絶に関する研究	湊谷 謙司	心臓血管外科	1,300,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
肺移植後の虚血再灌流障害に関わる細胞死に着目した新たな肺保存方法の開発	栢分 秀直	呼吸器外科	1,560,000	補○委	文部科学省
ドナーグラフト内の白血球を標的とした肺移植における新規治療法の開発	大角 明宏	呼吸器外科	1,300,000	補○委	文部科学省
体外肺灌流保存中の肝細胞増殖因子による肺移植後虚血再灌流障害の軽減	中島 大輔	呼吸器外科	130,000	補○委	文部科学省
自然免疫の活性化が誘因となる移植肺機能不全の抑制	田中 里奈	呼吸器外科	3,510,000	補○委	文部科学省
臓器移植を革新する免疫プロファイリングによる個別化医療の開発	田中 里奈	呼吸器外科	195,000	補委○	国立大学法人 広島大学 学長
機能性極細気泡を用いた革新的臓器保存液の開発	豊 洋次郎	呼吸器外科	1,170,000	補○委	文部科学省
変異p53誘導性上皮間葉転換に伴う肺癌悪性化進展シグナルの解明及び新規治療法開発	毛受 晓史	呼吸器外科	6,760,000	補○委	文部科学省
循環器病に関する適切な情報提供・相談支援のための方策と体制等の効果的な展開に向けた研究	宮本 享	脳神経外科	4,260,000	補○委	厚生労働省
もやもや病(ウイルス動脈輪閉塞症)における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究	宮本 享	脳神経外科	9,000,000	補○委	厚生労働省
パーキンソン病と多系統萎縮症におけるインフラマソームを介した神経免疫制御の探索	綾木 孝	脳神経外科	1,040,000	補○委	文部科学省

血管性認知症に対する低酸素刺激ミクログリアによる細胞療法の開発	安田 謙	脳神経外科	910,000	補○ 委	文部科学省
包括的機能マッピングによる漢字・仮名読みの脳内神経基盤の解明	下竹 昭寛	脳神経外科	780,000	補○ 委	文部科学省
シナプス小胞蛋白SV2BとBACE1の新規結合に着目したアルツハイマー病創薬研究	葛谷 聰	脳神経外科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
放射線誘発性動脈硬化促進の特異マーカーを標的とした治療法開発	吉田 和道	脳神経外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
RNF213関連閉塞性血管障害の分子機序解明と新規治療開発	宮本 享	脳神経外科	5,330,000	補○ 委	文部科学省
もやもや病の出血性脳卒中予防と長期予後改善を目指す多施設共同研究	宮本 享	脳神経外科	13,000,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
レビー小体病に対するREM睡眠制御治療法の確立	江川 斎宏	脳神経外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
リプログラミング技術による非定型奇形腫様ラブドイド腫瘍のエピゲノム解析と治療開発	荒川 芳輝	脳神経外科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
高齢者初発膠芽腫に対するテモゾロミド併用寡分割放射線治療の最適化に関する研究	荒川 芳輝	脳神経外科	18,200,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
TERTを標的とした再発膠芽腫に対するエリブリンの医師主導治験	荒川 芳輝	脳神経外科	130,000	補 委○	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
膠芽腫の標準治療後病勢を診断する血液バイオマーカーの実用化	荒川 芳輝	脳神経外科	390,000	補 委○	国立大学法人 金沢大学 学長 山崎 光悦

金一白金合金電極を用いた脳機能ネットワークの解明	山尾 幸広	脳神経外科	520,000	補○ 委	文部科学省
細胞種特異的リポソーム・エクソソームが切り拓く神経疾患の病態解明と治療法開発	山門 穂高	脳神経外科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
パーキンソン病関連疾患のモデル作製と治療薬開発	山門 穂高	脳神経外科	4,550,000	補○ 委	文部科学省
AT/RTにおけるRAD21遺伝子の機能解析と治療標的としての可能性	寺田 行範	脳神経外科	3,770,000	補○ 委	文部科学省
出血発症もやもや病の術後10年予後解明を目指した多施設コホート研究	舟木 健史	脳神経外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
非拮抗型AMPA受容体阻害薬ペランパネルによるアルツハイマー病の病態改善	上田 紗希帆	脳神経外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
独自のパーキンソン病前駆期モデルマウスを用いたドバミン神経細胞変性機序の解明	生野 真嗣	脳神経外科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
急性期脳梗塞における自動トリアージに向けた革新的診断技術の開発	石井 晓	脳神経外科	13,000,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
多系統萎縮症におけるオリゴデンドロサイト特異的 α -シヌクレイン凝集メカニズムの解明	石本 智之	脳神経外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
膠芽腫のアクリアポリン1阻害による腫瘍進展制御機序の解明と阻害剤の臨床への展開	大石 正博	脳神経外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
アルファシヌクレイン伝播メカニズムの解析	樽野 陽亮	脳神経外科	650,000	補○ 委	文部科学省

パーキンソン病における α -シヌクレイン進展経路の新たな探索	田口 智之	脳神経外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
ゲノム編集疾患 iPS 細胞を用いた閉塞性血管疾患のモデル樹立と病態解明	峰晴 陽平	脳神経外科	19,500,000	補○ 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
非ヒト霊長類モデルによるパーキンソン病の前駆症状(RBD)の解析	澤村 正典	脳神経外科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
脳梗塞におけるオリゴデンドロサイト前駆細胞の形質変化解明と治療応用	眞木 崇州	脳神経外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
疾患特異的iPS細胞を用いたドルーゼン形成メカニズムの解明	井上 由美	眼科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
疾患特異的iPS細胞を用いたクリスタリン網膜症の治療薬開発	岩井 祥子	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
補償光学光干渉断層計を用いた滲出型加齢黄斑変性の病態解明と新規治療に関する研究	宮田 学	眼科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
多角的アプローチによる加齢黄斑変性とパキコロイド新生血管の病態解明	三宅 正裕	眼科	5,850,000	補○ 委	文部科学省
視点反応・眼球運動のデジタルフェノタイプを活用した軽度認知機能異常スクリーニングプログラムの研究開発	三宅 正裕	眼科	66,781,515	補○ 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
手術動画解析AIを用いた「熟練の技」の教育と手術支援	三宅 正裕	眼科	600,000	補○ 委○	国立大学法人 筑波大学 分任契約担当役 研究担当副学長
主観的視覚と客観的視野検査結果の相関・乖離についての研究	沼 尚吾	眼科	1,300,000	補○ 委	文部科学省

加齢黄斑変性における reticular pseudodrusenの特徴	上田 奈央子	眼科	910,000	補○ 委	文部科学省
血管親和性生体ナノ材料を用いた加齢黄斑変性の点眼治療の開発	須田 謙史	眼科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
網膜神経グリアの生体イメージングに基づく難治性黄斑浮腫の原因検討	村岡 勇貴	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
糖尿病網膜症における自己免疫による神經障害を標的とした新規治療法の開発	村上 智昭	眼科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
補償光学適用光干渉断層計による萎縮型加齢黄斑変性の病態・治療研究	大音 壮太郎	眼科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
網膜色素上皮細胞の脂質プロファイルとドローゼン形成メカニズムの解明	池田 華子	眼科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
網膜色素変性に対するBranched chain amino acidsを用いた新規神經保護治療法の開発	池田 華子	眼科	10,400,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
クリスタリン網膜症の新規治療法開発	池田 華子	眼科	29,445,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
ビッグデータによる近視の総合的病態解明	辻川 明孝	眼科	6,630,000	補○ 委	文部科学省
蝸牛組織マクロファージの加齢性難聴における役割	岡野 高之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
培養声帯粘膜におけるバリア機能の傷害と修復の評価	河合 良隆	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省

マクロファージ極性制御による上気道線維化病変に対する新規治療技術開発	岸本 曜	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
YAP阻害による有毛細胞転写制御機構の解明および内耳再生治療への応用	喜多 知子 (嶋 知子)	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	910,000	補○ 委	文部科学省
蝸牛感覚上皮発生メカニズムの解明—単一細胞レベルでの感覚上皮マーカーの探索	山本 典生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	5,720,000	補○ 委	文部科学省
感音難聴克服のためのイメージング質量分析による蝸牛発生機構と内耳障害病態の解明	山本 典生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
音声認識技術を用いた眼鏡型聴覚障害者支援機器の開発	山本 典生	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	4,559,625	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
蝸牛有毛細胞における極性形成のメカニズム	十名 洋介	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
蝸牛有毛細胞再生初期過程でのtype I IFN/JAK/STAT経路の役割	松永 麻美	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
CRISPR/Cas系による新型コロナウイルス感染と気道上皮バリア破壊機構の解明	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	3,510,000	補○ 委	文部科学省
咽頭・喉頭・気管狭窄症診療ガイドライン作成を目指したエビデンス創出研究	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
痙攣性発声障害レジストリを活用した診断基準及び重症度分類のバリデーション評価研究	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	390,000	補 委○	公立大学法人 名古屋市立大学 理事長
嚥下障害の治療施設で行われている咽喉頭感覺の検査に関する全国調査／嚥下障害患者の安全な経口摂取を支援する咽喉頭感覺評価法の研究	大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	309,400	補 委○	国立大学法人 東北大学 病院長

内耳蝸牛三次元構造形成メカニズムの解明と蝸牛型オルガノイド作製への応用	大西 弘恵	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
鳥類内耳有毛細胞再生初期過程の解明:哺乳類における有毛細胞再生効率化への応用	中川 隆之	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
聴覚末梢系数理モデルを用いた嗄声の音響学的特徴の解明	藤村 真太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	650,000	補○ 委	文部科学省
ヒトiPS細胞由来気道上皮シート移植の鼻副鼻腔への応用	北田 有史	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,820,000	補○ 委	文部科学省
内軟骨性骨化に着目した顎変形症の病態解明および新規治療法の開発	山中 茂樹	歯科口腔外科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
ムコ多糖症患者に生じるガーゴイル様顔貌の発症メカニズムの解明と新規治療法の開発	中尾 一祐	歯科口腔外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
最適な濃度の抗菌イオンを徐放し、優れた骨形成促進作用を有するインプラントの開発	奥津 弥一郎	整形外科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
微細加工技術を用いた血管ネットワーク付人工骨の開発	河井 利之	整形外科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
低侵襲で高精度な関節軟骨硬度計測システムの新構築	栗山 新一	整形外科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
難治性インプラント感染に対して炎症再生と抗菌の治療戦略で局所投与を行う基礎研究	黒田 隆	整形外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
悪性骨腫瘍切除後処理骨ラットモデルを用いた付加処置による処理骨単独再建の確立	坂本 昭夫	整形外科	1,300,000	補○ 委	文部科学省

高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	坂本 昭夫	整形外科	390,000	補委○	国立大学法人 岡山大学 学長
力学的負荷改善による変形性関節症進行抑制に寄与する因子の解明及び新規治療法の探索	松田 秀一	整形外科	5,330,000	補○委	文部科学省
3次元積層造形で作製し表面処理を施した次世代チタン合金インプラントの開発と応用	清水 孝彬	整形外科	650,000	補○委	文部科学省
優れた抗菌性を有するチタンインプラントの開発	大槻 文悟	整形外科	1,560,000	補○委	文部科学省
人為的体内時計の調節を利用した新たな骨折治療法の開発	野口 貴志	整形外科	1,300,000	補○委	文部科学省
脱細胞化血管を用いた集合リンパ管の再生研究	山中 浩気	形成外科	1,690,000	補○委	文部科学省
ヒト顔面骨格の子宮内における成長様式の解明	勝部 元紀	形成外科	1,690,000	補○委	文部科学省
神経線維腫症 I 型の cutaneous neurofibroma に対する外用薬開発	森本 尚樹	形成外科	2,210,000	補○委	文部科学省
高静水圧処理を応用した皮膚、骨、神経の再生～自家腫瘍組織の再生医療への応用	森本 尚樹	形成外科	6,500,000	補○委	文部科学省
乳房再建用人工脂肪の開発～自家脂肪組織の再生を目指して	森本 尚樹	形成外科	26,000,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
先天性巨大色素性母斑を母地とした悪性黒色腫に対する予防的低侵襲治療方法の開発－高圧処理新規医療機器の研究開発	森本 尚樹	形成外科	57,200,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長

糖鎖によるケロイド形成メカニズムの解明	片山 泰博	形成外科	1,950,000	補○ 委	文部科学省
機能的真皮の基礎となるコラーゲンの幾何学構造と変形機構の解明	齊藤 晋	形成外科	910,000	補○ 委	文部科学省
診断・治療適用のための光超音波3Dイメージングによる革新的画像診断装置の開発	齊藤 晋	形成外科	43,475,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
性周期を軸にした「女性の生涯学」の提案と社会参加への応用	江川 美保	産科婦人科	6,500,000	補○ 委	文部科学省
妊娠能低下予防・妊合併症リスクの低減を目指したプレコンセプション女性に対する包括的支援プログラムの開発	江川 美保	産科婦人科	1,499,999	補 委○	国立大学法人 東京大学 総長 代理人 医学部附属病院 事務部長
パルミトイル化を鍵とした、脂肪酸が卵巣癌の悪性性質を変容するメカニズムの解明	山ノ井 康二	産科婦人科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
子宮内膜症と卵巣癌における脂質代謝によるフェロトーシスの役割	山口 建	産科婦人科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
早産治療を目指した変異EDAの作成	千草 義継	産科婦人科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
卵巣癌微小環境における上皮間葉転換の免疫代謝への役割	滝 真奈	産科婦人科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
卵巣癌における三次リンパ組織(TLS)の人工的誘導のための基礎的検討	浮田 真沙世	産科婦人科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
ヒト胚着床における末梢血単核球の促進的作用メカニズムの解明	堀江 昭史	産科婦人科	2,080,000	補○ 委	文部科学省

卵巣がんのがん・宿主多様性の解明による新たな診断・治療戦略の開発	万代 昌紀	産科婦人科	6,500,000	補○ 委	文部科学省
Breast cancer susceptibility gene(BRCA)関連バイオマーカー{ Mutational Signature-based Biomarker: MSBM }の探索研究	万代 昌紀	産科婦人科	200,000	補○ 委	国立大学法人 東京大学 総長 代理人 医学部附属病院 事務部長
免疫組織化学的バイオマーカーによる子宮間葉性腫瘍の予後予測法の確立に関する研究	万代 昌紀	産科婦人科	840,000	補○ 委	独立行政法人 国立病院機構 京都医療センター 院長
産婦人科における内視鏡手術多施設データベース構築および情報支援内視鏡外科手術システム構築	万代 昌紀	産科婦人科	80,000	補○ 委	国立研究開発法人国立がん研究センター 理事長
婦人科がんに対するB細胞免疫の解明と新たな診断・治療戦略の開発	濱西 潤三	産科婦人科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
前立腺肥大症の発症における慢性炎症とギャップ結合タンパクの関与の解明	河野 仁	泌尿器科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
去勢抵抗性前立腺癌患者由来ゼノグラフト・オルガノイド群を用いた創薬スクリーニング	後藤 崇之	泌尿器科	910,000	補○ 委	文部科学省
生体二光子励起イメージングによる膀胱癌および腫瘍微小環境の時空間的解析	佐野 剛視	泌尿器科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
浸潤性膀胱癌の病態を再現可能なマウスマodelの確立とその応用	小林 恭	泌尿器科	3,640,000	補○ 委	文部科学省
血中遊離DNA解析を応用した前立腺癌のDNA修復遺伝子異常の生物学的特性の解明	赤松 秀輔	泌尿器科	4,680,000	補○ 委	文部科学省
可塑性の制御による固形癌の革新的治療法の開発	赤松 秀輔	泌尿器科	2,470,000	補○ 委	文部科学省

ロボット支援術中臓器への加圧程度を手術映像のみから判断するAIシステム開発と実装	増井 仁彦	泌尿器科	2,470,000	補○ 委	文部科学省
骨格筋量による周術期日常生活活動低下予測と日常生活活動維持のための管理法の確立	溝田 敏幸	麻酔科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
敗血症時の脊髄炎症の病態とその治療可能性について	廣津 聰子	麻酔科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
原発性免疫不全症・自己炎症性疾患・早期発症型炎症性腸疾患の臨床ゲノム情報を連結した患者レジストリの構築研究	井澤 和司	小児科	988,000	補 委○	国立大学法人東京医科歯科大学 学長
てんかん性脳症の新規原因遺伝子NSFの分子病態解析	横山 淳史	小児科	1,430,000	補○ 委	文部科学省
難治性小児AYA世代白血病患者に対するがん免疫療法最適医療実現のための多角的オミックス解析を用いた新規バイオマーカー探索	加藤 格	小児科	9,308,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構 理事長
小児および若年成人における再発難治CD19陽性B細胞性急性リンパ性白血病に対する同種造血細胞移植後維持療法の確立に関する研究	加藤 格	小児科	1,690,000	補 委○	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
地域連携と人材育成を促進する新生児遠隔診療支援システムの有用性検証	岩永 甲午郎	小児科	650,000	補○ 委	文部科学省
遺伝性銅代謝異常症の新規原因遺伝子の解明	吉田 健司	小児科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
患者特異的iPS細胞を用いた福山型先天性筋ジストロフィーの病態解析と新規治療法開発／患者特異的iPS細胞からの筋分化誘導法確立・ゲノム編集技術を用いたコントロールiPS細胞株の樹立	吉田 健司	小児科	8,892,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
新生児の腸内細菌叢の確立とインスリン分泌調節機能の成熟	荒木 亮佑	小児科	2,210,000	補○ 委	文部科学省

小児最未分化型急性骨髓性白血病の病態解析および特異的治療の基盤開発	才田 聰	小児科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
小児がんにおける遺伝学的高発がん感受性の機序とクローン進化の統合的解析	滝田 順子	小児科	13,130,000	補○ 委	文部科学省
小児固形腫瘍の克服に資するドライバー遺伝子を標的としない新規治療法の開発	滝田 順子	小児科	2,600,000	補○ 委	文部科学省
分子プロファイリングを基盤とした小児期からAYA世代に発症する難治がんの新規治療法の開発	滝田 順子	小児科	19,600,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
乳児急性リンパ性白血病発症の病態解明と治療層別化に有用な因子の同定／乳児ALLのオミックス解析	滝田 順子	小児科	1,300,000	補 委○	国立大学法人 東京医科歯科大学 学長
難治性小児固形腫瘍における生物学的特性の理解に基づいた新規克服法の開発	滝田 順子	小児科	24,070,800	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
がんゲノム医療の推進に資する小児がんの包括的ゲノムデータ基盤の構築と展開	滝田 順子	小児科	24,700,000	補 委○	国立大学法人 東京大学 総長 代理人 医学部附属病院 事務部長
GIPノックアウトマウスを用いた胎児期・新生児期のGIPの機能解析	中西 純子	小児科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
TRIM22遺伝子異常による腸炎はIL-6,IL-12産生の制御異常が関与するか	日衛嶋 栄太郎	小児科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
心筋症を誘発するHOIL-1L遺伝子異常の心筋症発症・進行機序の解明	馬場 志郎	小児科	910,000	補○ 委	文部科学省
全てのサブグループを網羅した神経芽腫患者由来PDXライブラリーの構築	梅田 雄嗣	小児科	5,590,000	補○ 委	文部科学省

乾燥ろ紙血プロテオミクス解析を用いた原発性免疫不全症の新生児スクリーニング法開発	八角 高裕	小児科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
従来のゲノム解析で診断困難な原発性免疫不全症患者の診断法の開発	八角 高裕	小児科	910,000	補 委○	国立大学法人 広島大学 学長
核酸検出等の方法を用いた原発性免疫不全症等治療可能な新生児・小児期疾患に対する新生児マスクリーニング法の開発／蛋白定量による原発性免疫不全症の新生児スクリーニング法開発	八角 高裕	小児科	1,040,000	補 委○	国立大学法人 東京医科歯科大学 学長
原発性免疫異常症患者を対象としたシリリムスの有効性及び安全性を検討する医師主導治験	八角 高裕	小児科	5,070,000	補 委○	国立大学法人 東京医科歯科大学 学長
白血病細胞のマイクロRNA発現を利用した新規治療法開発のための探索的研究	平松 英文	小児科	1,300,000	補○ 委	文部科学省
デュシェンヌ型筋ジストロフィーの心不全発症・進行機序解明と治療法の開発	平田 拓也	小児科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
難治がんの放射線治療成績向上に向けた新規画像撮像法の開発	伊良皆 拓	放射線治療科	910,000	補○ 委	文部科学省
放射線照射により生じる血管内酸化ストレス及びがん転移形質の誘導機構の解明	井上 実	放射線治療科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
膀胱放射線治療における腫瘍内低酸素領域の動態と低酸素誘導因子との関係の検討	吉村 通央	放射線治療科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
超低侵襲リアルタイムアダプティ(RA)放射線治療の実現	溝脇 尚志	放射線治療科	43,160,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
IMPT(スキャニング照射法を含む)のガイドライン作成(31-A-17)	溝脇 尚志	放射線治療科	150,000	補 委○	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長

リアルタイム体内中線量可視化画像誘導至適陽子線治療システムの研究開発	溝脇 尚志	放射線治療科	2,808,000	補委○	国立大学法人 大阪大学 大学院医学系研究科長
動体追尾強度変調回転放射線治療技術の開発と実行可能性臨床試験	溝脇 尚志	放射線治療科	19,500,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
難治がんに対する動体追尾放射線治療の臨床評価に関する研究	溝脇 尚志	放射線治療科	10,205,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
放射線治療に関わるトランスレーショナルリサーチ実施体制構築／試料集積の方法検討、トランスレーショナル実施案検討(2021-A-8)	坂中 克行	放射線治療科	100,000	補委○	国立研究開発法人 国立がん研究センター 理事長
乳癌高精度放射線治療における自動計画作成システムの確立	小野 幸果	放射線治療科	1,430,000	補委○	文部科学省
乳房深吸氣息止め照射における体表面位置予測システムの確立	小野 幸果	放射線治療科	1,430,000	補委○	文部科学省
強度変調回転照射プランの複雑さを軽減する最適化システムの確立	小野 智博	放射線治療科	2,210,000	補委○	文部科学省
早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験	松尾 幸憲	放射線治療科	507,000	補委○	国立大学法人 広島大学 学長
転移性脳腫瘍に対する過分割多段階照射の最適な線量投与方法の開発と臨床評価	丹羽 恵 (宇藤 恵)	放射線治療科	1,820,000	補委○	文部科学省
Radiomics解析を用いた前立腺mpMRIと病理学的悪性度の予測モデル開発	中村 清直	放射線治療科	2,340,000	補委○	文部科学省
頭頸部癌に対する強度変調放射線治療における味覚障害予測因子の解析	鈴木 綾 (中嶋 綾)	放射線治療科	910,000	補委○	文部科学省

MRI・PETによる神経膠腫の遺伝子型診断と機械学習を用いた自動診断法の研究	奥知 左智	放射線診断科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
深層学習を用いた産婦人科MRIの自動診断	倉田 靖桐	放射線診断科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
経皮的エタノール注入療法による腫瘍免疫反応の賦活化:マウスがんモデルを用いた解析	大野 豪	放射線診断科	910,000	補○ 委	文部科学省
子宮良性疾患におけるMRIによる子宮蠕動運動と不妊治療、妊娠転帰予測に関する検討	木戸 晶	放射線診断科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
円形脱毛症の上皮-免疫微小環境(EIME)と免疫特権の破たんのループの伝播	加来 洋	皮膚科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
皮膚における多様な免疫応答の誘導機序と他臓器との免疫学的連関の解明	梶島 健治	皮膚科	41,990,000	補○ 委	文部科学省
多細胞間相互作用による皮膚バリアの適応・修復機序の解明	梶島 健治	皮膚科	88,400,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
末梢組織におけるT細胞サーベイランスメカニズムの解明	江川 形平	皮膚科	1,690,000	補○ 委	文部科学省
皮膚自然免疫における間葉系細胞のCCL2-CCR2経路を介した制御機構解析	渋谷 倫太郎	皮膚科	2,080,000	補○ 委	文部科学省
自己炎症的機序を端緒とした肉芽腫形成の分子機構解明	神戸 直智	皮膚科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
皮膚の時空間的再構築の理解	石田 雄大	皮膚科	2,470,000	補○ 委	文部科学省

炎症性皮膚疾患における病原性抗原提示細胞と治療標的の同定	中溝 聰	皮膚科	3,770,000	補○ 委	文部科学省
人生ステージに沿った健常および精神・神経疾患の統合MRIデータベースの構築にもとづく国際脳科学連携	村井 俊哉	精神科神経科	8,060,000	補○ 委	国立大学法人 東京大学 総長 代理人 医学部附属病院 事務部長
先進的MRI技術に基づく統合データベースと大規模コホートデータの連結による高齢者神経変性疾患の責任神経回路の解明	村井 俊哉	精神科神経科	12,761,554	補○ 委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
漢字学習が認知・脳機能に及ぼす効果の検証研究	村井 俊哉	精神科神経科	7,800,000	補○ 委	公益財団法人 日本漢字能力検定協会
神経性やせ症患者における反社会的行動とその神経基盤	磯部 昌憲	精神科神経科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
摂食障害に対する認知行動療法の有効性の神経科学的エビデンスの創出	磯部 昌憲	精神科神経科	2,600,000	補○ 委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
7T MRSI・fMRSによる統合失調症のCCTCC障害仮説の検証	吉原 雄二郎	精神科神経科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
PDE10Aイメージングを用いた多次元画像研究による統合失調症圏の層別化	久保田 学	精神科神経科	1,170,000	補○ 委	文部科学省
4つのsalienceの計算論的統合から見た妄想・幻視・幻聴のネットワーク病態	宮田 淳	精神科神経科	2,860,000	補○ 委	文部科学省
AI技術を活用した統合失調症の早期診断医療機器プログラムの開発	宮田 淳	精神科神経科	1,950,000	補○ 委	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 理事長
次世代拡散MRIおよび機械学習を用いた統合失調症新規診断基準の検討	孫 樹洛	精神科神経科	650,000	補○ 委	文部科学省

超高磁場MRIを用いた視床下部機能的結合解析の新規開発と気分障害への応用	村井 俊哉	精神科神経科	8,060,000	補○ 委	文部科学省
統合失調症および自閉スペクトラム症への社会認知スキルトレーニング日本版の開発	大塚 貞男	精神科神経科	780,000	補○ 委	文部科学省
統合失調症の触覚時空間情報処理における大脳皮質の層特異的活動	張 志林	精神科神経科	1,560,000	補○ 委	文部科学省
手指動作を定量化するための動作解析装置の開発	池口 良輔	リハビリテーション科	2,210,000	補○ 委	文部科学省
末梢神経損傷を対象とした三次元神経導管移植による安全性と有効性を検討する医師主導治験	池口 良輔	リハビリテーション科	112,450,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
鉄代謝異常に起因する末梢気道上皮幹細胞群の機能低下とCOPDの末梢気道病変の関連	田辺 直也	リハビリテーション科	650,000	補○ 委	文部科学省
統合失調症における自伝的記憶の特異性とリカバリーステージとの関連	森 泰祐	デイ・ケア診療部	440,000	補○ 委	文部科学省
皮下血管誘導反応の機構解明に基づく細胞移植用免疫寛容空間構築技術の開発	穴澤 貴行	臓器移植医療部	4,550,000	補○ 委	文部科学省
膵島細胞移植免疫応答制御を実現する誘導性制御性T細胞療法開発	穴澤 貴行	臓器移植医療部	21,980,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
Tuft細胞性に着目した胸部がんの特性解明と新規治療法の提唱	山田 洋介	臓器移植医療部	1,690,000	補○ 委	文部科学省
移植用臓器の体外治療を可能にする灌流保存装置開発と、メタボロミクスを用いた臓器潜在機能の客観的評価基軸の構築	秦 浩一郎	臓器移植医療部	63,450,855	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長

移植用臓器の体外治療を可能にする灌流保存装置開発と、メタボロミクスを用いた臓器潜在機能の客観的評価基軸の構築	秦 浩一郎	臓器移植医療部	63,450,855	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
肝臓外科領域における食事療法の有効性および腸内環境の変動解析	内田 洋一朗	臓器移植医療部	4,940,000	補○委	文部科学省
細胞分泌実時間イメージ法に基づく機能的細胞診システムの創生／自己炎症疾患の機能的細胞診実証評価	井澤 和司	総合周産期母子医療センター	1,040,000	補委○	国立大学法人 東京大学
小児と成人の卵胞発育の差異に適応させたヒト卵胞培養系の開発	奥宮 明日香	総合周産期母子医療センター	1,690,000	補○委	文部科学省
早産児の慢性肺疾患の重症度予測モデル構築のための多施設共同前方視的コホート研究	河井 昌彦	総合周産期母子医療センター	1,300,000	補○委	文部科学省
自然免疫からみた羊膜の維持・修復機構:前期破水の予防・治療をめざして	最上 晴太	総合周産期母子医療センター	1,690,000	補○委	文部科学省
胎児心電図データ収集、症例検討会	最上 晴太	総合周産期母子医療センター	390,000	補委○	国立大学法人 東北大学大学院医学系研究科長
統合型ゲノム解析によるトランスレーショナルリサーチを用いた、高異型度卵巣癌患者を対象としたオラパリブ維持療法に関する多施設共同第II相臨床試験	濱西 潤三	総合周産期母子医療センター	300,000	補委○	国立大学法人 東京大学 総長 代理人 医学部附属病院 事務部長
子宮頸部上皮内腫瘍(CIN)治療薬に関する研究開発	濱西 潤三	総合周産期母子医療センター	6,496,391	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
乳癌抗癌剤治療における心血管関連合併症予測と早期診断の検討	加藤 恵理	検査部	1,950,000	補○委	文部科学省
多剤耐性菌感染症の実態を明らかにする多施設研究ネットワーク	松村 康史	検査部	270,000	補委○	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 理事長

ESBL産生大腸菌による侵襲性尿路感染症の診断・治療の適正化を目指した多施設前向き研究	松村 康史	検査部	1,600,000	補委○	国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 理事長
リンパ形質細胞性リンパ腫モデルマウスの作製による病態解析と新規治療薬シーズの探索	城 友泰	検査部	1,820,000	補○委	文部科学省
造血幹細胞移植後の腸内細菌叢変化に着目した、腸管GVHD発症の新規予防法の開発	新井 康之	検査部	390,000	補○委	文部科学省
高周波律動(HFO)を用いたBAFMEの診断・治療のバイオマーカーの確立	人見 健文	検査部	1,300,000	補○委	文部科学省
全ゲノム解析を用いた肺炎球菌の病原性解析および新規出現クローニングの分子疫学解析	長尾 美紀	検査部	390,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
治る認知症:自己免疫性辺縁系脳炎のバイオマーカー開発	本多 正幸	検査部	1,040,000	補○委	文部科学省
β遮断薬はICU-AWを予防しうるか	瀬尾 英哉	手術部	469,240	補○委	文部科学省
敗血症時に亢進する血管透過性における個人差の原因となる遺伝子を同定する。	瀬尾 英哉	手術部	1,560,000	補○委	文部科学省
術前のストレスは術後SIRSの危険因子となる	辰巳 健一郎	手術部	1,560,000	補○委	文部科学省
揮発性麻酔薬は低酸素環境下のアストロサイトに対してどのような作用を有するか?	田中 具治	手術部	1,300,000	補○委	文部科学省
膵臓癌に対する非侵襲高精度放射線治療を目指した動態解析に関する研究	佐々木 誠	放射線部	1,170,000	補○委	文部科学省

PETとMRIを活用した神経膠腫の分子生物学的プロファイルに迫る術前診断法の確立	坂田 昭彦	放射線部	1,820,000	補○ 委	文部科学省
膠芽腫の代謝変化に着目した個別化医療に向けた核医学的画像診断手法の開発	子安 翔	放射線部	1,300,000	補○ 委	文部科学省
腫瘍随伴マクロファージの性状鑑別を可能とする核医学診断剤の開発	志水 陽一	放射線部	910,000	補○ 委	文部科学省
高磁場MRIを用いた新生児低酸素性虚血性脳症における水分子拡散と脳代謝物の可視化	大木 明子	放射線部	1,170,000	補○ 委	文部科学省
臓器位置変動に対応した放射線治療品質管理システムの構築	鶴田 裕輔	放射線部	1,430,000	補○ 委	文部科学省
希少疾患画像研究のための多施設症例共有ネットワーク及びプラットフォームの構築	樋本 祐紀	放射線部	520,000	補○ 委	文部科学省
人工股関節全置換術後の筋内脂肪浸潤が身体活動量に与える影響の解明と治療戦略の構築	河野 拓巳	リハビリテーション部	420,000	補○ 委	文部科学省
肝疾患術後患者に対する骨格筋電気刺激介入が術後経過に与える影響	吉岡 佑二	リハビリテーション部	470,000	補○ 委	文部科学省
同種造血幹細胞移植患者の骨格筋量および身体機能とマイオカイン動態の関連	村尾 昌信	リハビリテーション部	1,560,000	補○ 委	文部科学省
ヒト卵管マスト細胞の卵管異所性妊娠発症への関与	上島 千幸	病理部	1,300,000	補○ 委	文部科学省
吸入麻酔薬が敗血症における筋萎縮に及ぼす予防効果の検討	甲斐 慎一	集中治療部	1,690,000	補○ 委	文部科学省

オピオイドへの耐性形成や副作用発現におけるユビキチン修飾の意義と分子機構の解明	清水 覚司	集中治療部	1,300,000	補○ 委	文部科学省
SARS-CoV-2によるヒト血小板機能活性化メカニズムの解明と治療法の探索	川本 修司	集中治療部	1,560,000	補○ 委	文部科学省
潰瘍性大腸炎の自己抗原および自己抗体同定と特異的診断法の樹立	宇座 徳光	内視鏡部	1,300,000	補○ 委	文部科学省
胃粘膜の恒常性維持におけるDNAメチル化制御の役割と発癌への関与	清水 孝洋	内視鏡部	2,080,000	補○ 委	文部科学省
実臨床におけるファーマコゲノミクスデータベースを活用した個別化投与設計指針の構築	平 大樹	薬剤部	1,300,000	補○ 委	文部科学省
免疫チェックポイント阻害薬における間質性肺疾患の発症時期と病態に関する検討	横井 茉里	薬剤部	460,000	補○ 委	文部科学省
重症筋無力症に対する薬物療法の最適化:タクロリムス個別化療法の確立	山本 将太	薬剤部	450,000	補○ 委	文部科学省
ファーマコメトリクスを用いた免疫抑制剤の個別化投与設計法の構築	糸原 光太郎	薬剤部	1,430,000	補○ 委	文部科学省
ファーマコゲノミクス検査の臨床普及を目指した臨床ゲノム薬理学的研究	寺田 智祐	薬剤部	1,430,000	補○ 委	文部科学省
ECMO挿入患者における抗緑膿菌薬の最適投与計画の構築	助石 有沙美	薬剤部	440,000	補○ 委	文部科学省
抗真菌薬ポサコナゾールの血中濃度測定および薬物間相互作用に関する研究	杉本 充弘	薬剤部	410,000	補○ 委	文部科学省

末梢神経障害予防/治療薬の開発に向けたトランスレーショナルリサーチ	中川 貴之	薬剤部	4,680,000	補○ 委	文部科学省
白金系抗がん剤による感覚神経線維選択性および神経内金属搅乱と感覚器障害の関連	中川 貴之	薬剤部	3,120,000	補○ 委	文部科学省
薬剤性腎障害の実態解明とそれに基づく発症機序の探索	中川 俊作	薬剤部	1,430,000	補○ 委	文部科学省
直接経口抗凝固薬における減量基準の妥当性の検討	渡邊 愛未	薬剤部	380,000	補○ 委	文部科学省
不眠症を併発する2型糖尿病患者の病勢コントロールに対する各種睡眠薬の有効性の評価	平井 真智子	薬剤部	460,000	補○ 委	文部科学省
肺移植患者でのバルガンシクロビルの薬物動態に基づく投与法の確立	片田 佳希	薬剤部	470,000	補○ 委	文部科学省
睡眠時に生じる不随意運動の在宅計測に向けた靴下型表面筋電図計測用電極の研究開発	黒田 知宏	医療情報企画部	1,000,000	補 委○	公益財団法人中国地域創造研究センター
臨床研究法が医療機器開発研究に与えた影響の実態把握に向けた調査研究	黒田 知宏	医療情報企画部	2,816,000	補○ 委	厚生労働省
植物共生微生物の活性を高める有機資材の開発	山本 豪志朗	医療情報企画部	85,600	補 委○	国立研究開発法人 科学技術振興機構 分任研究契約担当者
通所介護サービス利用実態と在宅医療処置の関連:全国の介護保険データを用いた検証	植嶋 大晃	医療情報企画部	1,300,000	補○ 委	文部科学省
臨床疫学に活用可能なNDB等データセットの作成に関する研究	森 由希子	医療情報企画部	25,200,000	補○ 委	厚生労働省

医療・介護ビッグデータの有益な利活用を可能とするデータ解析法の開発研究	森 由希子	医療情報企画部	910,000	補○ 委	文部科学省
差分プライバシーによる匿名加工後の医療情報の有用性の検証	森 由希子	医療情報企画部	6,500,000	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
遺伝子多型による化学療法後末梢神経障害の感受性の相違	加藤 果林	医療安全管理部	650,000	補○ 委	文部科学省
インターネットを用いた胃癌術後補助化学療法中の症状報告システムの開発	錦織 達人	医療安全管理部	1,170,000	補○ 委	文部科学省
レセプトデータベース(NDB)の利用を容易にするための包括的支援システムの開発	加藤 源太	診療報酬センター	8,320,000	補○ 委	文部科学省
寝たきり予防に還元する包括的な代謝因子研究	亀田 雅博	地域ネットワーク医療部	2,730,000	補○ 委	文部科学省
超高齢社会医療再構築を支える老化関連メタボライト探索萌芽研究	近藤 祥司	地域ネットワーク医療部	2,080,000	補○ 委	文部科学省
慢性炎症を転写誘導する代謝基盤の解明	三河 拓己	地域ネットワーク医療部	1,170,000	補○ 委	文部科学省
血漿細胞外小胞体タンパク質のがん予後予測因子としての検証	笠原 桂子	総合臨床教育・研修センター	1,430,000	補○ 委	文部科学省
皮膚のリンパ濾胞構造が皮膚の異所性リンパ組織iSALTであるかの検討	小亀 敏明	総合臨床教育・研修センター	2,730,000	補○ 委	文部科学省
月経関連の情動、認知機能変化の包括的理解を目指した縦断的脳画像研究	植野 司	総合臨床教育・研修センター	364,000	補○ 委	文部科学省

臨床研修医のアンプロフェッショナルな行動の評価を行う際の評価基準の開発	木村 武司	総合臨床教育・研修センター	1,300,000	補○ 委	文部科学省
消費者・商品・時間を考慮したNMF技術開発と購買行動・心理関係メカニズムの把握	阿部 寛康	先端医療研究開発機構	650,000	補○ 委	文部科学省
研究公正推進のための制度的研究と教育環境的研究	伊藤 達也	先端医療研究開発機構	520,000	補○ 委	文部科学省
遺伝子パネル検査によるコンパニオン診断システムの標準化に向けた検討	永井 純正	先端医療研究開発機構	11,700,000	補 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
ストリオソーム神経細胞選択的な遺伝子操作マウスを用いた神経変性疾患の病態機序解明	奥宮 太郎	先端医療研究開発機構	1,170,000	補○ 委	文部科学省
心臓および全身の飢餓応答としての心不全	加藤 貴雄	先端医療研究開発機構	1,040,000	補○ 委	文部科学省
心臓核医学検査による特発性心筋症病態層別化指標の確立	加藤 貴雄	先端医療研究開発機構	520,000	補 委○	国立大学法人 大阪大学 大学院医学系研究科長
マウスモデルと臨床材料を用いた大腸がん幹細胞の転移機構の解析	柿崎 文彦	先端医療研究開発機構	1,430,000	補○ 委	文部科学省
臨床試験段階において試験の準備から出口戦略までの一貫した管理を担うスタディマネージャーの育成システムの開発に関する研究	笠井 宏委	先端医療研究開発機構	1,234,350	補 委○	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
レセプトデータベースを用いた外傷を来す児童虐待事例に関する実態調査	岩尾 友秀	先端医療研究開発機構	650,000	補○ 委	文部科学省
生存時間解析の新たな展開:がん免疫療法における統計的方法論の構築とその実践	魚住 龍史	先端医療研究開発機構	4,290,000	補○ 委	文部科学省

HER2陰性進行再発乳癌におけるPaclitaxel+Bevacizumab(PB)療法の臨床効果と組織免疫関連シグネチャーの関連性を検討する多施設共同・後方視的トランスレーショナル研究	森田 智視	先端医療研究開発機構	1,864,500	補委○	公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構
肺癌患者を対象とした臨床試験における有効性および安全性の評価に関する統計解析的研究	森田 智視	先端医療研究開発機構	450,000	補委○	宝塚市病院事業管理者
進行再発胃癌に対するiRGD併用化学療法に関する医師主導治験(進行再発胃癌に対するiRGD併用化学療法に関する医師主導治験のプロトコール作成)	星野 伸晃	先端医療研究開発機構	3,835,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
宇宙及び地球規模環境要因のヒト健康への影響について	西村 勉	先端医療研究開発機構	1,430,000	補委○	文部科学省
iPS細胞由来生体模倣性人工心臓組織の代謝スイッチによる成熟化メカニズムの解明	村田 梢	先端医療研究開発機構	1,430,000	補委○	文部科学省
iPS細胞による心機能評価デバイスを用いた心毒性検出による創薬安全性に関する研究	村田 梢	先端医療研究開発機構	1,430,000	補委○	文部科学省
拡散MRIを用いた革新的な腫瘍診断技術の構築	飯間 麻美	先端医療研究開発機構	1,430,000	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
DDSを活用したマクロファージの生体内サブタイプ調節による新規心不全治療法の開発	武田 崇秀	先端医療研究開発機構	1,430,000	補委○	文部科学省
医療研究開発データの価値評価と医療系ベンチャーへの導出方策	服部 華代	先端医療研究開発機構	1,040,000	補委○	文部科学省
腎機能低下患者におけるがん治療薬の薬物動態の検討及び投与方法の確立	堀松 高博	先端医療研究開発機構	390,000	補委○	文部科学省

患者報告アウトカム(patient reported outcomes:PRO)のICT化と社会実装推進のためのガイドライン作成に資する研究	中島 貴子	次世代医療・iPS細胞治療研究センター	18,525,000	補○ 委	厚生労働省
高度催吐性リスクのがん化学療法におけるDEX(steroid)sparingに関する研究	中島 貴子	次世代医療・iPS細胞治療研究センター	17,485,000	補○ 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
固形癌に対するGPC-1 CAR-T療法の実用化に向けた ex vivo 安全性／有効性評価法の確立	澤田 武志	次世代医療・iPS細胞治療研究センター	7,696,000	補○ 委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
ヒトにおける細胞外マトリックスの代謝への影響の検討	井上 真由美	先制医療・生活習慣病研究センター	1,040,000	補○ 委	文部科学省
初代ヒト肺上皮細胞を用いたモデルによる特発性間質性肺炎の新規治療法開発	今井 晶 (松島 晶)	先制医療・生活習慣病研究センター	1,300,000	補○ 委	文部科学省
光超音波による腫瘍低酸素領域の可視化と腫瘍及び新生血管同時イメージング法の開発	松本 純明	先制医療・生活習慣病研究センター	1,560,000	補○ 委	文部科学省
FTDとCHK1阻害の二重標的による食道扁平上皮癌に対する新たな治療戦略の確立	大橋 真也	先制医療・生活習慣病研究センター	1,560,000	補○ 委	文部科学省
心血管疾患関連遺伝子CSRPのヒト遺伝子変異による分子機能異常の解明	中島 康弘	先制医療・生活習慣病研究センター	910,000	補○ 委	文部科学省
神経変性疾患希少疾患データベース作成と画像診断支援アルゴリズムに関する研究	日野田 卓也	先制医療・生活習慣病研究センター	2,340,000	補○ 委	文部科学省
CCR2特異的新規PETトレーサーを用いた動脈硬化の病態解明およびその臨床応用	馬場 理	先制医療・生活習慣病研究センター	1,950,000	補○ 委	文部科学省
PET分子画像診断を用いた転移性担癌モデルでの癌攻撃免疫細胞の画像診断法の開発	野橋 智美	先制医療・生活習慣病研究センター	1,430,000	補○ 委	文部科学省

T細胞の疲弊化を描出す るPET分子イメージング法 の確立	野橋 智美	先制医療・生活習慣 病研究センター	2,340,000	補○ 委	文部科学省
培養細胞を用いた胃粘膜 発癌メカニズムと遺伝子変 異・ピロリ菌感染相互作用 の解明	竹内 康英	クリニカルバイオリソース センター	1,560,000	補○ 委	文部科学省
リトコール酸によるビリン発 現抑制におけるSRFの役 割に関する研究	尾関 宗孝	クリニカルバイオリソース センター	1,300,000	補○ 委	文部科学省
喘息において、酸化ストレ スは2型炎症はどう関わっ ているのか	長崎 忠雄	呼吸管理睡眠制御学 講座	2,730,000	補○ 委	文部科学省
炎症性関節炎における KDM1Aを介した細胞間 ネットワークの解析	村田 浩一	リウマチ性疾患先進 医療学講座	1,690,000	補○ 委	文部科学省
関節リウマチ滑膜の上皮 間葉移行の新規制御分子 DIP2Cの解析と治療作用 点の検討	田中 真生	リウマチ性疾患先進 医療学講座	1,430,000	補○ 委	文部科学省
新規骨髓系マクロファージ 様細胞の骨病変への関与	藤井 貴之	リウマチ性疾患先進 医療学講座	1,560,000	補○ 委	文部科学省
FGFR遺伝子異常を有す る進行・再発固形がんに 対するE7090単剤療法の 多施設共同第II相医師主 導治験	松原 淳一	臨床システム腫瘍学 講座	1,600,000	補 委○	国立研究開発 法人 国立がん研究セン ター 理事長
ハイブリッド療法による大 腸がん治療抵抗性メカニ ズムの克服	中西 祐貴	地域医療システム学 講座	4,680,000	補○ 委	文部科学省
iPS細胞を用いた致死性遺 伝性不整脈疾患の病態解 明、治療法開発	牧山 武	地域医療システム学 講座	1,560,000	補○ 委	文部科学省
洞不全症候群の臨床情 報・遺伝学的解析に基づく リスク層別化アルゴリズム の開発	牧山 武	地域医療システム学 講座	130,000	補 委○	国立研究開発 法人 国立循環器病研究セ ンター

軟骨細胞死から軟骨変性に至る分子機構の解明とその抑制による軟骨保護作用の検討	西谷 江平	運動器機能再建学講座	1,430,000	補○ 委	文部科学省
PEEK製インプラントの生体活性化ならびにカスタムメイド化に関する研究	藤林 俊介	運動器機能再建学講座	1,690,000	補○ 委	文部科学省
機能性金属イオンの徐放により骨形成と抗菌性を制御する多孔構造を備えた近未来型積層造形チタンインプラントの創製	藤林 俊介	運動器機能再建学講座	3,900,000	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
間質性肺炎に対する多施設共同前向き観察研究	半田 知宏	呼吸不全先進医療講座	40,000	補 委○	国立大学法人東海国立大学機構 機構長
生体肺移植におけるドナー、レシピエントの末梢血テロメア長と慢性移植肺機能不全	半田 知宏	呼吸不全先進医療講座	1,300,000	補○ 委	文部科学省
異分野先端技術融合による薬剤抵抗性を標的とした革新的複合治療戦略の開発	井上 正宏	クリニカルバイオリソース研究開発講座	19,500,000	補 委○	国立大学法人東京大学 総長 代理人 医科学研究所事務部長
脳皮質・深部核ネットワークを踏まえた、脳波リズムの自発的制御によるてんかん治療	宇佐美 清英	てんかん・運動異常生理学講座	1,040,000	補○ 委	文部科学省
グリアの視点からの片頭痛の新展開:slow EEGと機能的MRIの統合的解析	池田 昭夫	てんかん・運動異常生理学講座	1,560,000	補○ 委	文部科学省
グリアとニューロンによるヒト脳の包括的てんかんネットワークの統合的解析	池田 昭夫	てんかん・運動異常生理学講座	3,380,000	補○ 委	文部科学省
乳癌患者におけるFES-PETの診断能と臨床的有意性	河井 可奈江 (三宅 可奈江)	高度医用画像学講座	1,430,000	補○ 委	文部科学省
アセトアルデヒド曝露により誘発される突然変異パターンの同定	玉置 将司	がん免疫光線力学的療法研究講座	3,250,000	補○ 委	文部科学省

高齢者の予防効果を改善する細胞外小胞添加ワクチンの研究開発	塚本 博丈	がん免疫総合研究センター	260,000	補委○	国立大学法人熊本大学
時空間表現型抽出手法の開発(研究代表者 石井優)	山田 亮	ゲノム医学センター統計遺伝学	975,000	補委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
選択的推論手法の数理的基礎	山田 亮	ゲノム医学センター統計遺伝学	9,100,000	補委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
記憶を司るシナプス微小構造の時空間ダイナミクス	林 康紀	システム神経薬理学分野	23,530,000	補委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
Down症の急性巨核芽球性白血病発症を予測する革新的バイオマーカーの開発	渡辺 亮	「医学領域」産学連携推進機構	8,970,000	補委○	国立大学法人弘前大学 契約担当役理事(研究担当)
期待外れを乗り越える動機づけの神経メカニズム	小川 正晃	SKプロジェクト	20,280,000	補委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
女性特有の健康課題に関するスクリーニング及び介入方法検証のための実証	田中 佐智子	デジタルヘルス学講座	2,000,000	補委○	国立大学法人東京大学 総長
不整脈原性右室心筋症の分子メカニズムに基づくエビデンス創出研究／ARVC患者統合データベース構築 遺伝学的解析	田中 佐智子	デジタルヘルス学講座	390,000	補委○	国立研究開発法人 国立循環器病研究センター
ヒト腫瘍でプロスタグランジンEP2及びEP4受容体依存的に免疫回避を行う細胞集団の同定	成宮 周	メディカルイノベーションセンター	23,099,999	補委○	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 契約担当職 理事長
化学的手法を用いて空間的な発現制御を解明する	本田 瑞季	メディカルイノベーションセンター	6,461,000	補委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
結合解離速度論に基づいた低分子医薬品候補化合物の創出	内田 周作	メディカルイノベーションセンター(SK)	6,500,000	補委○	大阪大学 産業科学研究所

皮膚微小環境において極小マイクロバイオームが果たす役割の解明	中島 沙恵子	炎症性皮膚疾患創薬講座	1,690,000	補○ 委	文部科学省
89Zr-トラスツズマブとPET/MRおよび乳房専用PET装置を用いた画像診断	中本 裕士	画像診断学・核医学	1,170,000	補○ 委	文部科学省
現場や地域の実情に即したがん治療と並行する緩和ケアの実装の推進に関する研究	武藤 学	腫瘍薬物治療学	9,100,000	補○ 委	厚生労働省
大腸癌の抗癌剤耐性機序に関するCDKN3を標的とした新規薬剤及び治療法開発	松原 淳一	腫瘍薬物治療学	1,300,000	補○ 委	文部科学省
肥厚性皮膚骨膜症(PDP)患者由来iPS細胞を用いたPDP新規治療薬の開発	野村 尚史	難病創薬産学共同研究講座	1,170,000	補○ 委	文部科学省
がん自然史の理解と細胞生物学的治療コンセプトの創出	藤田 恭之	分子腫瘍学	26,999,700	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構 分任研究契約担当者 契約部長
大腸管状腺腫の遺伝子変異プロファイルおよび生物学的多様性についての研究	山田 敦	臨床情報腫瘍学講座	1,170,000	補○ 委	文部科学省
尿中薬剤耐性菌の迅速遺伝子検査法の開発と検証	松村 康史	臨床病態検査学	650,000	補○ 委	文部科学省
環境レジストームに着目した効果的な病院環境整備に関する探索的研究	長尾 美紀	臨床病態検査学	1,690,000	補○ 委	文部科学省

計500

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Oka T, Hishizawa M, Yamashita K et al.	血液内科	Successful treatment with famciclovir for varicella zoster virus infection resistant to acyclovir	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy• 202105. 2021 May; 27(5):755–758	Original Article
2	Ochi Y, Yoshida K, Huang YJ et al.	血液内科	Clonal evolution and clinical implications of genetic abnormalities in blastic transformation of chronic myeloid leukaemia	Nature Communications• 202112. 2021 May; 12(1):2833	Original Article
3	Konishi Y, Ichise H, Watabe T et al.	血液内科	Intravital Imaging Identifies the VEGF– TXA(2) Axis as a Critical Promoter of PGE(2) Secretion from Tumor Cells and Immune Evasion	Cancer research•202108. 2021 Aug;81(15):4124– 4132	Original Article
4	Murao M, Hamada R, Kondo T et al.	血液内科	Analysis of factors associated with patient-reported physical functioning scores at discharge of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation patients: a cross- sectional study	Supportive Care in Cancer•2021. 2021 Dec; 29(12):7569–7576	Original Article
5	Shimizu T, Kondo T, Nannya Y et al.	血液内科	Next-generation sequencing in two cases of de novo acute basophilic leukaemia	Journal of Cellular and Molecular Medicine• 202107. 2021 Jul; 25(14):7095–7099	Original Article
6	Hirabayashi S, Uozumi R, Kondo T et al.	血液内科	Personalized prediction of overall survival in patients with AML in non- complete remission undergoing allo-HCT	Cancer Medicine•202106. 2021 Jul;10(13):4250– 4268	Original Article

7	Izumi K, Shindo T, Ngo HT et al.	血液内科	KIR3DL1 Allotype-Dependent Modulation of NK Cell Immunity against Chronic Myeloid Leukemia	ImmunoHorizons•202108. 2021 Aug;5(8):687–702	Original Article
8	Yuan H, Nishikori M, Otsuka Y et al.	血液内科	The EZH2 inhibitor tazemetostat upregulates the expression of CCL17/TARC in B-cell lymphoma and enhances T-cell recruitment	Cancer science•202111. 2021 Nov;112(11):4604–4616	Original Article
9	Kanda J, Hayashi H, Ruggeri A et al.	血液内科	The impact of GVHD on outcomes after adult single cord blood transplantation in European and Japanese populations	Bone marrow transplantation•202201. 2022 Jan;57(1):57–64	Original Article
10	Wakita S, Sakaguchi M, Oh I et al.	血液内科	Prognostic impact of CEBPA bZIP domain mutation in acute myeloid leukemia	Blood advances•202108. 2022 Jan;6(1):238–247	Original Article
11	Tsukada N, Nishikori M, Goto H et al.	血液内科	Safety and Effectiveness of Plerixafor for Peripheral Blood Stem Cell Mobilization in Autologous Stem Cell Transplantation: Results of a Post-Marketing Surveillance Study	Drugs – real world outcomes•202203. 2022 Mar;9(1):63–78	Original Article
12	Ishii A, Jo T, Arai Y et al.	血液内科	Development of a quantitative prediction model for peripheral blood stem cell collection yield in the plerixafor era	Cyotherapy•202201. 2022 Jan;24(1):49–58	Original Article
13	Tanabe M, Hosokawa K, Nguyen MAT et al.	血液内科	The GPI-anchored protein CD109 protects hematopoietic progenitor cells from undergoing erythroid differentiation induced by TGF- β	Leukemia•202203. 2022 Mar;36(3):847–855	Original Article

14	Imahashi N, Terakura S, Kondo E et al.	血液内科	Impact of donor types on reduced-intensity conditioning allogeneic stem cell transplant for mature lymphoid malignancies	Bone marrow transplantation•202111. 2022 Feb;57(2):243-251	Original Article
15	Saito A, Irie T, Suzuki R et al.	血液内科	Enhanced fusogenicity and pathogenicity of SARS-CoV-2 Delta P681R mutation	Nature•202202. 2022 Feb;602(7896):300-306	Original Article
16	Kako S, Hayakawa F, Miyamura K et al.	血液内科	Decision Analysis for Unrelated Bone Marrow Transplantation or Immediate Cord Blood Transplantation for Patients with Philadelphia Chromosome- Negative Acute Lymphoblastic Leukemia in First Complete Remission	Transplantation and cellular therapy•202203. 2022 Mar;28(3):161	Original Article
17	Miyao K, Kuwatsuka Y, Murata M et al.	血液内科	Antithymocyte Globulin Potentially Could Overcome an Adverse Effect of Acute Graft-versus- Host Disease in Matched-Related Peripheral Blood Stem Cell Transplantation	Transplantation and cellular therapy•202203. 2022 Mar;28(3):153	Original Article
18	Kimura I, Kosugi Y, Wu J et al.	血液内科	The SARS-CoV-2 Lambda variant exhibits enhanced infectivity and immune resistance	Cell Reports•202201. 2022 Jan;38(2):110218	Original Article
19	Wada F, Watanabe M, Konuma T et al.	血液内科	HLA 1-3 antigen- mismatched related peripheral blood stem cells transplantation using low-dose antithymocyte globulin versus unrelated cord blood transplantation	American journal of hematology•202203. 2022 Mar;97(3):311-321	Original Article

20	Kawajiri A, Kawase T, Tanaka H et al.	血液内科	Human leukocyte antigen (HLA) haplotype matching in unrelated single HLA allele mismatch bone marrow transplantation	Bone marrow transplantation•202203. 2022 Mar;57(3):407–415	Original Article
21	Suzuki R, Yamasoba D, Kimura I et al.	血液内科	Attenuated fusogenicity and pathogenicity of SARS-CoV-2 Omicron variant	Nature•202202. 2022 Mar;603(7902):700–705	Original Article
22	Meng B, Abdullahi A, Ferreira IATM et al.	血液内科	Altered TMPRSS2 usage by SARS-CoV-2 Omicron impacts infectivity and fusogenicity	Nature•202202. 2022 Mar;603(7902):706–714	Original Article
23	Tamaki M, Kameda K, Kimura SI et al.	血液内科	Deletion of Y chromosome before allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in male recipients with female donors	Blood advances•202203. 2022 Mar;6(6):1895–1903	Original Article
24	Iwasaki M, Kanda J, Tanaka H et al.	血液内科	Impact of HLA Epitope Matching on Outcomes After Unrelated Bone Marrow Transplantation	Frontiers in Immunology•202203. 2022 Mar; 13:811733	Original Article
25	Fujiwara Y, Yamane S, Harada N et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Carbonic anhydrase 8 (CAR8) negatively regulates GLP-1 secretion from enteroendocrine cells in response to long-chain fatty acids	American journal of physiology. Gastrointestinal and liver physiology•202104. 2021 Apr;320(4):G617–G626	Original Article
26	Murakami T, Fujimoto H, Hamamatsu K et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Distinctive detection of insulinoma using [(18)F]FB(ePEG12)1 2-exendin-4 PET/CT	Scientific reports•202107. 2021 Jul;11(1):15014	Original Article
27	Fujita Y, Inagaki N.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Cell-autonomous defects contribute to insulin resistance in skeletal muscle	Journal of diabetes investigation•202104. 2021 Jul;12(7):1136–1137	Original Article

28	Okamoto K, Ohno Y, Sone M et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Should Adrenal Venous Sampling Be Performed in PA Patients Without Apparent Adrenal Tumors?	Frontiers in endocrinology • 2021. 2021 Apr;12:645395	Original Article
29	Murakami T, Fujimoto H, Inagaki N.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Non-invasive Beta-cell Imaging: Visualization, Quantification, and Beyond	Frontiers in endocrinology • 2021. 2021 Jun;12:714348	Original Article
30	Kawashima A, Sone M, Inagaki N et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Pheochromocytoma and paraganglioma with negative results for urinary metanephrides show higher risks for metastatic diseases	Endocrine • 202107. 2021 Oct;74(1):155–162	Original Article
31	Murata Y, Harada N, Kishino S et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Medium-chain triglycerides inhibit long-chain triglyceride-induced GIP secretion through GPR120-dependent inhibition of CCK	iScience • 202109. 2021 Aug;24(9):102963	Original Article
32	Fujimoto H, Fujita N, Hamamatsu K et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	First-in-Human Evaluation of Positron Emission Tomography/Computed Tomography With [(18)F]FB(ePEG12)1-2-Exendin-4: A Phase 1 Clinical Study Targeting GLP-1 Receptor Expression Cells in Pancreas	Frontiers in endocrinology • 2021. 2021 Aug;12:717101	Original Article
33	Martin-Morales A, Arakawa T, Sato M et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Development of a Method for Quantitation of Glyceraldehyde in Various Body Compartments of Rodents and Humans	Journal of Agricultural and Food Chemistry • 202111. 2021 Nov;69(44):13246–13254	Original Article
34	Ogawa Y, Kimura H, Fujimoto H et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Development of novel radioiodinated exendin-4 derivatives targeting GLP-1 receptor for detection of β -cell mass	Bioorganic & Medicinal Chemistry • 202112. 2021 Dec;52:116496	Original Article

35	Ueba Y, Murakami T, Yamamoto T et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Voxel-based specific regional analysis system for Alzheimer's disease utility as a screening tool for unrecognized cognitive dysfunction of elderly patients in diabetes outpatient clinics: Multicenter retrospective exploratory study	Journal of diabetes investigation•202106. 2022 Jan;13(1):177-184	Original Article
36	Kondo A, Murakami T, Fujii T et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Opioid-induced adrenal insufficiency in transdermal fentanyl treatment: a revisited diagnosis in clinical setting	Endocrine journal•202109. 2022 Feb;69(2):209-215	Original Article
37	Yamauchi I, Yamashita T, Sugawa T et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Bezafibrate induces hypothyroidism in a patient with resistance to thyroid hormone β due to a G347R variant	Clinical endocrinology•202109. 2022 Feb; 96(2):236-245	Original Article
38	Murakami T, Yabe D, Inagaki N.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Unmet needs in current clinical practice for insulinoma: Lessons from nationwide studies in Japan	Journal of diabetes investigation•202112. 2022 Mar;13(3):429-431	Original Article
39	Yamauchi I, Sakane Y, Yamashita T et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	Thyroid hormone economy in mice overexpressing iodothyronine deiodinases	The FASEB Journal•202202. 2022 Feb; 36(2):e22141	Original Article
40	Miyazaki Y, Ichimura A, Kitayama R et al.	糖尿病・内分泌・栄養内科	C-type natriuretic peptide facilitates autonomic Ca(2+) entry in growth plate chondrocytes for stimulating bone growth	eLife•202203. 2022 Mar; 11:e71931	Original Article
41	Yamashita Y, Morimoto T, Amano H et al.	循環器内科	Clinical characteristics and outcomes of patients with venous thromboembolism according to diagnosis on weekends versus on weekdays	Journal of thrombosis and thrombolysis•202104. 2021 Apr;51(3):779-788	Original Article

42	Yamamoto K, Shiomi H, Morimoto T et al.	循環器内科	Ischemic and bleeding risk after complex percutaneous coronary intervention in patients with or without high bleeding risk	Catheterization and cardiovascular interventions : official journal of the Society for Cardiac Angiography & Interventions•202105. 2021 May;97(6):E758–E770	Original Article
43	Matsumura–Nakano Y, Shiomi H, Morimoto T et al.	循環器内科	Comparison of Outcomes of Percutaneous Coronary Intervention Versus Coronary Artery Bypass Grafting Among Patients With Three-Vessel Coronary Artery Disease in the New-Generation Drug-Eluting Stents Era (From CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3)	The American journal of cardiology•202104. 2021 Apr;145:25–36	Original Article
44	Yamamoto K, Shiomi H, Morimoto T et al.	循環器内科	Percutaneous Coronary Intervention Versus Coronary Artery Bypass Grafting Among Patients with Unprotected Left Main Coronary Artery Disease in the New-Generation Drug-Eluting Stents Era (From the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registry Cohort-3)	The American journal of cardiology•202104. 2021 Apr;145:47–57	Original Article
45	Shiba M, Kato T, Morimoto T et al.	循環器内科	Serum cholinesterase as a prognostic biomarker for acute heart failure	European heart journal. Acute cardiovascular care•202105. 2021 May; 10(3):335–342	Original Article
46	Seko Y, Kato T, Morimoto T et al.	循環器内科	A decrease in tricuspid regurgitation pressure gradient associates with favorable outcome in patients with heart failure	ESC heart failure•202105. 2021 Aug;8(4):2826–2836	Original Article

47	Yamamoto K, Watanabe H, Morimoto T et al.	循環器内科	Very Short Dual Antiplatelet Therapy After Drug-Eluting Stent Implantation in Patients Who Underwent Complex Percutaneous Coronary Intervention: Insight From the STOPDAPT-2 Trial	Circulation. Cardiovascular interventions•202105. 2021 May;14(5):e010384	Original Article
48	Yamashita Y, Maruyama Y, Satokawa H et al.	循環器内科	Incidence and Clinical Features of Venous Thromboembolism in Hospitalized Patients With Coronavirus Disease 2019 (COVID-19) in Japan	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society•202105. 2021 Nov;85(12):2208-2214	Original Article
49	Nishikimi T, Nakagawa Y.	循環器内科	Potential pitfalls when interpreting plasma BNP levels in heart failure practice	Journal of cardiology•202106. 2021 Oct; 78(4):269-274	Original Article
50	Shioi H, Morimoto T, Furukawa Y et al.	循環器内科	Coronary Revascularization in the Past Two Decades in Japan (From the CREDO-Kyoto PCI/CABG Registries Cohort-1, -2, and -3)	The American journal of cardiology•202108. 2021 Aug;153:20-29	Original Article
51	Seko Y, Kato T, Morimoto T et al.	循環器内科	Improved and new-onset anemia during follow-up in patients with acute decompensated heart failure: Characteristics and outcomes	Medicine•202108. 2021 Aug;100(32):e26892	Original Article
52	Yamamoto K, Natsuaki M, Morimoto T et al.	循環器内科	Effect of Polypharmacy on Long-Term Mortality After Percutaneous Coronary Intervention	The American journal of cardiology•202109. 2021 Nov;159:19-29	Original Article
53	Obayashi Y, Shioi H, Morimoto T et al.	循環器内科	Newly Diagnosed Atrial Fibrillation in Acute Myocardial Infarction	Journal of the American Heart Association•202109. 2021 Sep; 10(18):e021417	Original Article

54	Seko Y, Kato T, Morimoto T et al.	循環器内科	Newly Diagnosed Infection After Admission for Acute Heart Failure: From the KCHF Registry	JOURNAL OF THE AMERICAN HEART ASSOCIATION•202111. 2021 Nov;10(22):e023256	Original Article
55	Kawaji T, Ono K, Sowa N et al.	循環器内科	Association between serum inflammatory biomarkers and atrial low voltage in patients with atrial fibrillation: A phase 1 FIB-MARK study	International journal of cardiology. Heart & vasculature•202112. 2021 Nov;37:100904	Original Article
56	Yamashita Y, Amano H, Morimoto T et al.	循環器内科	Risk factors of thrombotic recurrence and major bleeding in patients with intermediate-risk for recurrence of venous thromboembolism	Journal of thrombosis and thrombolysis•202107. 2022 Jan;53(1):182–190	Original Article
57	Hata R, Yamashita Y, Morimoto T et al.	循環器内科	Periprocedural management and clinical outcomes of invasive procedures after venous thromboembolism: from the COMMAND VTE registry	Journal of thrombosis and thrombolysis•202109. 2022 Feb;53(2):540–549	Original Article
58	Yamamoto K, Natsuaki M, Morimoto T et al.	循環器内科	Ischemic and Bleeding Events After First Major Bleeding Event in Patients Undergoing Coronary Stent Implantation	The American journal of cardiology•202201. 2022 Jan;162:13–23	Original Article
59	Seko Y, Kishimori T, Kato T et al.	循環器内科	Coronary angiography in patients with acute heart failure: from the KCHF registry	ESC HEART FAILURE•202111. 2022 Feb; 9(1):531–544	Original Article
60	Ito T, Yamaji K, Kohsaka S et al.	循環器内科	Effect of Procedural Volume on In-Hospital Outcomes After Percutaneous Coronary Intervention in Patients With Chronic Kidney Disease (from the Japanese National Clinical Data [J-PCI Registry])	The American journal of cardiology•202202. 2022 Feb;165:12–18	Original Article

61	Nakamura M, Yaku H, Ako J et al.	循環器内科	JCS/JSCVS 2018 Guideline on Revascularization of Stable Coronary Artery Disease	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society•202202. 2022 Feb;86(3):477-588	Original Article
62	Shiba M, Kato T, Morimoto T et al.	循環器内科	Left atrial reverse remodeling improves risk stratification in patients with heart failure with recovered ejection fraction	Scientific reports•202203. 2022 Mar;12(1):4473	Original Article
63	Okada H, Uza N, Matsumori T et al.	消化器内科	A novel technique for mapping biopsy of bile duct cancer	Endoscopy•202106. 2021 Jun;53(6):647-651	Original Article
64	Kuwada T, Shiokawa M, Kodama Y et al.	消化器内科	Identification of an Anti-Integrin $\alpha v \beta 6$ Autoantibody in Patients With Ulcerative Colitis	Gastroenterology•202106. 2021 Jun;160(7):2383- 2394	Original Article
65	Masuo K, Chen R, Yogo A et al.	消化器内科	SNAIL2 contributes to tumorigenicity and chemotherapy resistance in pancreatic cancer by regulating IGFBP2	Cancer science•202112. 2021 Dec;112(12):4987- 4999	Original Article
66	Eso Y, Seno H.	消化器内科	Synergistic effects of anti-angiogenesis and immune checkpoint blockade – a new era of systemic chemotherapy for hepatocellular carcinoma	Hepatobiliary & Pancreatic Diseases International• 202110. 2021 Oct; 20(5):493-495	Original Article
67	Yokane M, Shiokawa M, Kodama Y.	消化器内科	Review of Diagnostic Biomarkers in Autoimmune Pancreatitis: Where Are We Now?	Diagnostics (Basel, Switzerland)•202104. 2021 Apr;11(5):770	Original Article

68	Kawai M, Kawanami C, Fukuda A et al.	消化器内科	Pyoderma gangrenosum with primary sclerosing cholangitis– associated colitis successfully treated with concomitant granulocyte and monocyte adsorption apheresis with corticosteroids	Clin J Gastroenterol• 202106. 2021 Oct; 14(5):1561–1566	Original Article
69	Utsumi T, Horimatsu T, Nishikawa Y et al.	消化器内科	Interinstitutional differences in diagnosis of the morphology of colorectal polyps in Japan: a nationwide database analysis	European journal of gastroenterology & hepatology•202112. 2021 Dec;33(1S Suppl 1):e1072–e1073	Original Article
70	Eso Y.	消化器内科	MET amplification as a potential therapeutic target against hepatocellular carcinoma	Hepatology Research• 202111. 2021 Nov; 51(11):1093–1094	Original Article
71	Eso Y, Seno H.	消化器内科	Optimization of immunotherapy for patients with hepatobiliary cancer	Hepatobiliary surgery and nutrition•202110. 2021 Oct;10(5):717–719	Original Article
72	Nikaido M, Miyamoto S, Utsumi T et al.	消化器内科	Gastric Hyperplastic Polyps Can Shrink After Discontinuation of Proton Pump Inhibitors: A Case Series Compared With Continuation of Proton Pump Inhibitors	Journal of clinical gastroenterology•202106. 2022 Mar;56(3):e216– e221	Original Article
73	Eso Y, Taura K, Seno H.	消化器内科	Does immune checkpoint inhibitor exhibit limited efficacy against non- viral hepatocellular carcinoma?: A review of clinical trials	Hepatology research : the official journal of the Japan Society of Hepatology• 202201. 2022 Jan; 52(1):67–74	Original Article

74	Mizukoshi K, Yamauchi Y, Kitaura M et al.	消化器内科	Rare hypervascula pancreatic tumors diagnosed as asynchronous metastases of central nervous system solitary fibrous tumor/hemangioperic ytoma	Clinical journal of gastroenterology•202110. 2022 Feb;15(1):221–227	Original Article
75	Mizukoshi K, Fujii M, Yamauchi Y et al.	消化器内科	A rare case of malignant biliary stenosis due to retroperitoneal metastasis from breast invasive ductal carcinoma	Clinical journal of gastroenterology•202111. 2022 Feb;15(1):199–204	Original Article
76	Yamauchi Y, Kodama Y, Kakiuchi N et al.	消化器内科	Multiple pancreatic neuroendocrine tumors in OFCD syndrome caused by somatic BCOR mosaicism	Pancreatology : official journal of the International Association of Pancreatology (IAP) ... [et al.]•202201. 2022 Mar; 22(2):335–337	Original Article
77	Okada H, Takahashi K, Yaku H et al.	消化器内科	In situ vaccination using unique TLR9 ligand K3-SPG induces long-lasting systemic immune response and synergizes with systemic and local immunotherapy	Scientific reports•202202. 2022 Feb;12(1):2132	Original Article
78	Tanabe N, Sato S, Oguma T et al.	呼吸器内科	Influence of Asthma Onset on Airway Dimensions on Ultra- high-resolution Computed Tomography in Chronic Obstructive Pulmonary Disease	Journal of thoracic imaging•202107. 2021 Jul;36(4):224–230	Original Article
79	Yoshida H, Iwatsubo S, Nishimura T.	呼吸器内科	PD-1 Inhibitor for a Non-Small-Cell Lung Cancer Patient With Paraneoplastic Nephropathy	Archivos de Bronconeumolog?a• 202104. 2021 Apr; 57(4):311–312	Original Article

80	Ikeo S, Yamamoto Y, Ikeda K et al.	呼吸器内科	Core-shell hydrogel microfiber-expanded pluripotent stem cell-derived lung progenitors applicable to lung reconstruction in vivo	Biomaterials•202109. 2021 Sep;276:121031	Original Article
81	Tanabe N, Terada K, Shima H et al.	呼吸器内科	Expiratory central airway collapse and symptoms in smokers	Respiratory investigation•202107. 2021 Jul; 59(4):522–529	Original Article
82	Niwamoto T, Handa T, Murase Y et al.	呼吸器内科	Cutaneous T-cell-attracting chemokine as a novel biomarker for predicting prognosis of idiopathic pulmonary fibrosis: a prospective observational study	Respiratory research•202106. 2021 Jun; 22(1):181	Original Article
83	Sone N, Konishi S, Igura K et al.	呼吸器内科	Multicellular modeling of ciliopathy by combining iPS cells and microfluidic airway-on-a-chip technology	Science translational medicine•202107. 2021 Jul;13(601):eabb1298	Original Article
84	Ajimizu H, Ozasa H, Sato S et al.	呼吸器内科	Survival impact of treatment for chronic obstructive pulmonary disease in patients with advanced non-small-cell lung cancer	Scientific Reports•202112. 2021 Dec;11(1):23677	Original Article
85	Kadoba K, Watanabe R, Hashimoto M et al.	免疫・膠原病内科	Comment on: Different treatment options for Takayasu arteritis patients with moderate-to-severe aortic regurgitation: long-term outcomes	Rheumatology (Oxford, England)•202108. 2021 Aug;60(8):e290–e291	Original Article
86	Doi H, Ohmura K, Tabuchi Y et al.	免疫・膠原病内科	Validation and verification of the Japanese version of the systemic lupus erythematosus symptom checklist for patient quality of life	Lupus•202106. 2021 Jun; 30(7):1108–1115	Original Article

87	Matsuo H, Tabuchi Y, Yukimatsu R et al.	免疫・膠原病内科	Positive rate and prognostic significance of the superb microvascular imaging signal in joints of rheumatoid arthritis patients in remission with normal C-reactive protein levels and erythrocyte sedimentation rates	Journal of Medical Ultrasonics•202105. 2021 Jul;48(3):353–359	Original Article
88	Takase Y, Iwasaki T, Doi H et al.	免疫・膠原病内科	Correlation between irreversible organ damage and the quality of life of patients with systemic lupus erythematosus: The Kyoto Lupus Cohort survey	Lupus•202109. 2021 Sep; 30(10):1577–1585	Original Article
89	Kadoba K, Watanabe R, Iwasaki T et al.	免疫・膠原病内科	A susceptibility locus in the IL12B but not LILRA3 region is associated with vascular damage in Takayasu arteritis	Scientific reports•202107. 2021 Jul;11(1):13667	Original Article
90	Mukoyama H, Shirakashi M, Tanaka N et al.	免疫・膠原病内科	The clinical features of pulmonary artery involvement in Takayasu arteritis and its relationship with ischemic heart diseases and infection	Arthritis research & therapy•202112. 2021 Dec;23(1):293	Original Article
91	Ma S, Murakami K, Saito R et al.	免疫・膠原病内科	Increased Ratio of CD14(++)CD80(+) Cells/CD14(++)CD16 3(+) Cells in the Infrapatellar Fat Pad of End-Stage Arthropathy Patients	Frontiers in immunology•2021. 2021 Nov; 12:774177	Original Article
92	Ishie S, Ito H, Nakabo S et al.	免疫・膠原病内科	Region specificity of rheumatoid foot symptoms associated with ultrasound-detected synovitis and joint destruction	Modern Rheumatology•202104. 2022 Jan; 32(1):127–135	Original Article

93	Tsuji H, Ohmura K, Jin H et al.	免疫・膠原病内科	Anti-Double-Stranded DNA Antibodies Recognize DNA Presented on HLA Class II Molecules of Systemic Lupus Erythematosus Risk Alleles	Arthritis & rheumatology (Hoboken, N.J.)•202201. 2022 Jan;74(1):105-111	Original Article
94	Ma S, Murakami K, Tanaka K et al.	免疫・膠原病内科	Fatostatin ameliorates inflammation without affecting cell viability	FEBS open bio•202203. 2022 Mar ;12(3):594-604	Original Article
95	Matsuo T, Sasai T, Nakashima R et al.	免疫・膠原病内科	ECG Changes Through Immunosuppressive Therapy Indicate Cardiac Abnormality in Anti-MDA5 Antibody-Positive Clinically Amyopathic Dermatomyositis	Frontiers in immunology•2021. 2022 Jan;12:765140	Original Article
96	Okada Y, Kiguchi T, Okada A et al.	初期診療・救急科	Predictive value of sarcopenic findings in the psoas muscle on CT imaging among patients with sepsis	The American journal of emergency medicine•202104. 2021 Sep; 47:180-186	Original Article
97	Nakatsuka Y, Murase K, Matsumoto T et al.	初期診療・救急科	Markers of cardiovascular disease risk in sleep-disordered breathing with or without comorbidities: the Nagahama study	Journal of Clinical Sleep Medicine•202106. 2021 Dec;17(12):2467-2475	Original Article
98	Yamada H, Ohtsuru S, Nagatomo M et al.	初期診療・救急科	Successful treatment of COVID-19-related acute respiratory distress syndrome with a rare blood type: A case report	Clinical Case Reports•202109. 2021 Sep; 9(9):e04859	Original Article
99	Okada Y, Kiguchi T, Okada A et al.	初期診療・救急科	Corrigendum to "Predictive value of sarcopenic findings in the psoas muscle on CT imaging among patients with sepsis" in [American Journal of Emergency Medicine. 2021 Sep;47:180-186]	The American journal of emergency medicine•202112. 2021 Dec;50:816	Original Article

100	Yamada H, Ohtsuru S.	初期診療・救急科	Blood purification could tackle COVID-19?	Journal of Intensive Care • 202112. 2021 Dec;9(1):74	Original Article
101	Murase K, Matsumoto T, Tabara Y et al.	初期診療・救急科	Association of Sleep-disordered Breathing and Blood Pressure with Albuminuria: The Nagahama Study	Annals of the American Thoracic Society • 202108. 2022 Mar;19(3):451-461	Original Article
102	Takahashi N, Matsumoto T, Nakatsuka Y et al.	初期診療・救急科	Differences between subjective and objective sleep duration according to actual sleep duration and sleep-disordered breathing: the Nagahama Study	Journal of clinical sleep medicine : JCSM : official publication of the American Academy of Sleep Medicine • 202203. 2022 Mar;18(3):851-859	Original Article
103	Okada Y, Komukai S, Kitamura T et al.	初期診療・救急科	Clinical Phenotyping of Out-of-Hospital Cardiac Arrest Patients With Shockable Rhythm – Machine Learning-Based Unsupervised Cluster Analysis	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society • 202203. 2022 Mar;86(4):668-676	Original Article
104	Yamada H, Yanagita M.	初期診療・救急科	Global Perspectives in Acute Kidney Injury: Japan	Kidney360 • 202203. 2022 Mar;3(6):1099-1104	Original Article
105	Ueda J, Uemura N, Sawamura M et al.	脳神経内科	Perampanel Inhibits α -Synuclein Transmission in Parkinson's Disease Models	Movement disorders : official journal of the Movement Disorder Society • 202104. 2021 Jul; 36(7):1554-1564	Original Article
106	Nakanishi E, Uemura N, Akiyama H et al.	脳神経内科	Impact of Gba2 on neuronopathic Gaucher's disease and α -synuclein accumulation in medaka (<i>Oryzias latipes</i>)	Molecular Brain • 202105. 2021 May;14(1):80	Original Article

107	Inoue Y, Ayaki T, Ishimoto T et al.	脳神経内科	The stimulator of interferon genes (STING) pathway is upregulated in striatal astrocytes of patients with multiple system atrophy	Neuroscience letters• 202107. 2021 Jul; 757:135972	Original Article
108	Kondo T, Banno H, Okunomiya T et al.	脳神経内科	Repurposing bromocriptine for A β metabolism in Alzheimer's disease (REBRAAnd) study: randomised placebo- controlled double- blind comparative trial and open-label extension trial to investigate the safety and efficacy of bromocriptine in Alzheimer's disease	BMJ open•202106. 2021 Jun;11(6):e051343	Original Article
109	Ishimoto T, Yamakado H.	脳神経内科	Membranes and Organelle in Lewy Bodies: The Mastermind or the Bystander?	Movement disorders : official journal of the Movement Disorder Society•202109. 2021 Sep;36(9):2026	Original Article
110	Ikuno M, Yamakado H, Amano I et al.	脳神経内科	Mitochondrial dysfunction in a mouse model of prodromal Parkinson's disease: A metabolomic analysis	Neuroscience letters• 202109. 2021 Nov; 765:136267	Original Article
111	Tsukita K, Sakamaki- Tsukita H, Takahashi R.	脳神経内科	Lower Circulating Lymphocyte Count Predicts ApoE ϵ 4- Related Cognitive Decline in Parkinson's Disease	Movement Disorders• 202112. 2021 Dec; 36(12):2969–2971	Original Article
112	Okada T, Handa S, Ding B et al.	脳神経内科	Insertable inductively coupled volumetric coils for MR microscopy in a human 7T MR system	Magnetic resonance in medicine•202203. 2022 Mar;87(3):1613–1620	Original Article
113	Egawa N, Hamanaka G, Chung KK et al.	脳神経内科	High Mobility Group A1 Regulates Transcription Levels of Oligodendrocyte Marker Genes in Cultured Oligodendrocyte Precursor Cells	International Journal of Molecular Sciences• 202202. 2022 Feb; 23(4):2236	Original Article

114	Tsukita K, Sakamaki-Tsukita H, Tachibana N et al.	脳神経内科	Polygenic burden of Parkinson's disease risk stratifies the prognosis of isolated rapid-eye-movement disorder: A preliminary observational study	Parkinsonism & Related Disorders•202202. 2022 Mar;96:52–56	Original Article
115	Sawada A, Hiragi S, Tamura H et al.	腎臓内科	Evaluation of the Quality of Life and Health-Related Quality of Life of Patients With End-Stage Kidney Disease Resulting From Kidney Transplantation Using the Kidney Disease Quality of Life—Short Form and EuroQOL-5 Dimension-5 Level Questionnaires	Transplantation Proceedings•202104. 2021 Apr;53(3):881–884	Original Article
116	Arai H, Sato Y, Yanagita M.	腎臓内科	Fibroblast heterogeneity and tertiary lymphoid tissues in the kidney	Immunological Reviews•202105. 2021 Jul; 302(1):196–210	Original Article
117	Sato N, Uchino E, Kojima R et al.	腎臓内科	Prediction and visualization of acute kidney injury in intensive care unit using one-dimensional convolutional neural networks based on routinely collected data	Computer methods and programs in biomedicine•202107. 2021 Jul; 206:106129	Original Article
118	Handa T, Mori KP, Ishii A et al.	腎臓内科	Osteocrin ameliorates adriamycin nephropathy via p38 mitogen-activated protein kinase inhibition	Scientific Reports•202112. 2021 Nov; 11(1):21835	Original Article
119	Nishiguchi Y, Hata Y, Date R et al.	腎臓内科	Osteocrin, a bone-derived humoral factor, exerts a renoprotective role in ischemia-reperfusion injury in mice	Nephrology, dialysis, transplantation : official publication of the European Dialysis and Transplant Association – European Renal Association•202202. 2022 Feb;37(3):444–453	Original Article

120	Lee YH, Sato Y, Saito M et al.	腎臓内科	Advanced Tertiary Lymphoid Tissues in Protocol Biopsies are Associated with Progressive Graft Dysfunction in Kidney Transplant Recipients	Journal of the American Society of Nephrology : JASN•202201. 2022 Jan; 33(1):186–200	Original Article
121	Yamamoto S, Yanagita M.	腎臓内科	A Novel Pathological Mechanism of Tertiary Lymphoid Structure Formation in the Renal Pelvis	Journal of the American Society of Nephrology• 202201. 2022 Jan; 33(1):4–6	Original Article
122	Nikaido M, Kakiuchi N, Miyamoto S et al.	腫瘍内科	Indolent feature of Helicobacter pylori-uninfected intramucosal signet ring cell carcinomas with CDH1 mutations	Gastric cancer : official journal of the International Gastric Cancer Association and the Japanese Gastric Cancer Association•202105. 2021 Sep;24(5):1102–1114	Original Article
123	Fujii Y, Sato Y, Suzuki H et al.	腫瘍内科	Molecular classification and diagnostics of upper urinary tract urothelial carcinoma	Cancer cell•202106. 2021 Jun;39(6):793–809	Original Article
124	Hisamori S, Okabe H, Tsunoda S et al.	消化管外科	Long-Term Outcomes of Laparoscopic Radical Gastrectomy for Highly Advanced Gastric Cancer: Final Report of a Prospective Phase II Trial (KUGC04)	Annals of surgical oncology•202107. 2021 Dec;28(13):8962–8972	Original Article
125	Yokoyama D, Hisamori S, Deguchi Y et al.	消化管外科	PTEN is a predictive biomarker of trastuzumab resistance and prognostic factor in HER2-overexpressing gastroesophageal adenocarcinoma	Scientific reports•202104. 2021 Apr;11(1):9013	Original Article
126	Ito T, Kawai Y, Yasui Y et al.	消化管外科	The therapeutic potential of multiclonal tumoricidal T cells derived from tumor infiltrating lymphocyte–1derived iPS cells	Communications Biology• 202112. 2021 Jun; 4(1):694	Original Article

127	Hanada K, Kawada K, Nishikawa G et al.	消化管外科	Dual blockade of macropinocytosis and asparagine bioavailability shows synergistic anti-tumor effects on KRAS-mutant colorectal cancer	Cancer letters•202112. 2021 Dec;522:129–141	Original Article
128	Okabe H, Tsunoda S, Sunagawa H et al.	消化管外科	A long-term follow-up study of minimally invasive Ivor Lewis esophagectomy with linear stapled anastomosis	Surgical endoscopy•202104. 2022 Mar; 36(3):1979–1988	Original Article
129	Hanada K, Tsunoda S, Ogiso S et al.	消化管外科	McKeown esophagectomy with concomitant median arcuate ligament release in a case of esophageal cancer with celiac artery stenosis	Surgical case reports•202201. 2022 Jan;8(1):5	Original Article
130	Takahashi M, Tokunaga E, Mori J et al.	乳腺外科	Japanese subgroup analysis of the phase 3 MONARCH 3 study of abemaciclib as initial therapy for patients with hormone receptor-positive, human epidermal growth factor receptor 2-negative advanced breast cancer	Breast cancer (Tokyo, Japan)•202201. 2022 Jan; 29(1):174–184	Original Article
131	Yotsumoto D, Sagara Y, Kumamaru H et al.	乳腺外科	Trends in adjuvant therapy after breast-conserving surgery for ductal carcinoma in situ of breast: a retrospective cohort study using the National Breast Cancer Registry of Japan	BREAST CANCER•202110. 2022 Jan; 29(1):1–8	Original Article
132	Yoh T, Seo S, Taura K et al.	肝胆脾・移植外科	Surgery for Recurrent Hepatocellular Carcinoma: Achieving Long-term Survival	Annals of surgery•202104. 2021 Apr;273(4):792–799	Original Article

133	Nishino H, Seo S, Hatano E et al.	肝胆脾・移植外科	What is a precise anatomic resection of the liver? Proposal of a new evaluation method in the era of fluorescence navigation surgery	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences• 202106. 2021 Jun; 28(6):479-488	Original Article
134	Ogiso S, Seo S, Eso Y et al.	肝胆脾・移植外科	Laparoscopic liver resection versus percutaneous radiofrequency ablation for small hepatocellular carcinoma	HPB•202104. 2021 Apr; 23(4):533-537	Original Article
135	Ogiso S, Seo S, Ishii T et al.	肝胆脾・移植外科	Transfissural Approach for Laparoscopic Resection of a Deep Segment 8 Lesion in Contact with the Hepatocaval Confluence	Annals of surgical oncology•202106. 2021 Jun; 28(6):2990	Original Article
136	Ishii T, Seo S, Ito T et al.	肝胆脾・移植外科	Liver Transection-First Approach in Hepatopancreatoduodenectomy for Hilar Cholangiocarcinoma: A Safe and Secure Technique for the Early Assessment of Curable Resection and Vascular Reconstruction	Annals of surgical oncology•202106. 2021 Jun; 28(6):2988-2989	Original Article
137	Nishino H, Okuno M, Seo S et al.	肝胆脾・移植外科	Sinusoidal Obstruction Syndrome Promotes Liver Metastatic Seeding of Colorectal Cancer Cells in a Rat Model	Anticancer research• 202104. 2021 Apr; 41(4):1803-1810	Original Article
138	Uemoto Y, Taura K, Nishio T et al.	肝胆脾・移植外科	Laparoscopic Versus Open Liver Resection for Hepatocellular Carcinoma: A Case Controlled Study with Propensity Score Matching	World journal of surgery• 202108. 2021 Aug; 45(8):2572-2580	Original Article

139	Oshima Y, Ogiso S, Imai H et al.	肝胆脾・移植外科	Fluid dynamics analyses of the intrahepatic portal vein tributaries using 7-T MRI	HPB : the official journal of the International Hepato Pancreato Biliary Association•202104. 2021 Nov;23(11):1692-1699	Original Article
140	Yoshino K, Yoh T, Taura K et al.	肝胆脾・移植外科	A systematic review of prediction models for post-hectectomy liver failure in patients undergoing liver surgery	HPB•202105. 2021 Sep; 23(9):1311-1320	Original Article
141	Morino K, Seo S, Yoh T et al.	肝胆脾・移植外科	Correction to: Proposed Definition for Oligometastatic Recurrence in Biliary Tract Cancer Based on Results of Locoregional Treatment: A Propensity-Score-Stratified Analysis	Annals of surgical oncology•202106. 2021 Dec;28(Suppl 3):884	Original Article
142	Yoh T, Seo S, Taura K et al.	肝胆脾・移植外科	Identifying Patients Who May Benefit from Liver Resection Compared to Living Donor Liver Transplantation for Hepatocellular Carcinoma Using (18)F-FDG PET	World journal of surgery•202107. 2021 Nov; 45(11):3395-3403	Original Article
143	Ogiso S, Seo S, Ishii T et al.	肝胆脾・移植外科	Anatomy of the Middle Hepatic Vein Tributaries to Promote Safer Hepatic Vein-Guided Liver Resection	Journal of gastrointestinal surgery : official journal of the Society for Surgery of the Alimentary Tract•202107. 2022 Jan; 26(1):122-127	Original Article
144	Kurokawa S, Hashimoto Y, Funamoto S et al.	心臓血管外科	In vivo recellularization of xenogeneic vascular grafts decellularized with high hydrostatic pressure method in a porcine carotid arterial interpose model	PLOS ONE•202107. 2021 Jul;16(7):e0254160	Original Article
145	Kumagai M, Nishizawa J, Takehara M et al.	心臓血管外科	Surgical management of a giant atrial septal aneurysm	Clinical case reports•202105. 2021 May; 9(5):e04125	Original Article

146	Miyata R, Hamaji M, Omasa M et al.	呼吸器外科	The treatment and survival of patients with postoperative recurrent thymic carcinoma and neuroendocrine carcinoma: a multicenter retrospective study	Surgery today•202104. 2021 Apr; 51(4):502–510	Original Article
147	Yutaka Y, Goto T, Ohsumi A et al.	呼吸器外科	Detection of circulatory disturbance after pulmonary vein division during a living donor lobectomy	General thoracic and cardiovascular surgery• 202104. 2021 Apr; 69(4):770–773	Original Article
148	Kayawake H, Chen-Yoshikawa TF, Gochi F et al.	呼吸器外科	Postoperative outcomes of lung transplant recipients with preformed donor-specific antibodies	Interactive cardiovascular and thoracic surgery• 202104. 2021 Apr; 32(4):616–624	Original Article
149	Fujimoto R, Nakajima D, Tanaka S et al.	呼吸器外科	Efficacy of three-dimensional computed tomography volumetry for recipients in downsizing oversized grafts in brain-dead donor lung transplantation	General thoracic and cardiovascular surgery• 202107. 2021 Jul; 69(7):1112–1117	Original Article
150	Murakami K, Tanaka S, Hamaji M et al.	呼吸器外科	Successful resection of giant mediastinal tumor with growing teratoma syndrome by bilateral transmanubrial approach, clamshell and median sternotomy	General Thoracic and Cardiovascular Surgery• 202106. 2021 Jun; 69(6):1022–1025	Original Article
151	Mineura K, Chen-Yoshikawa TF, Tanaka S et al.	呼吸器外科	Native lung complications after living-donor lobar lung transplantation	The Journal of heart and lung transplantation : the official publication of the International Society for Heart Transplantation• 202105. 2021 May; 40(5):343–350	Original Article

152	Nakao M, Kobayashi K, Tokuno J et al.	呼吸器外科	Deformation analysis of surface and bronchial structures in intraoperative pneumothorax using deformable mesh registration	Medical Image Analysis• 202110. 2021 Oct; 73:102181	Original Article
153	Ikeda M, Oga T, Chen- Yoshikawa TF et al.	呼吸器外科	Patient-reported dyspnea and health predict waitlist mortality in patients waiting for lung transplantation in Japan	Respiratory research• 202104. 2021 Apr; 22(1):116	Original Article
154	Gochi F, Chen- Yoshikawa TF, Kayawake H et al.	呼吸器外科	Comparison of de novo donor-specific antibodies between living and cadaveric lung transplantation	The Journal of heart and lung transplantation : the official publication of the International Society for Heart Transplantation• 202107. 2021 Jul; 40(7):607–613	Original Article
155	Hamaji M, Omasa M, Nakanishi T et al.	呼吸器外科	Lymph node dissection in thymic carcinomas and neuroendocrine carcinomas	Interactive cardiovascular and thoracic surgery• 202107. 2021 Jul; 33(2):242–249	Original Article
156	Kayawake H, Chen- Yoshikawa TF, Tanaka S et al.	呼吸器外科	Impacts of single nucleotide polymorphisms in Fc gamma receptor IIA (rs1801274) on lung transplant outcomes among Japanese lung transplant recipients	Transplant international : official journal of the European Society for Organ Transplantation• 202111. 2021 Nov; 34(11):2192–2204	Original Article
157	Yutaka Y, Tasaki J, Yuasa I et al.	呼吸器外科	Salvage endovascular embolization of the left pulmonary artery for recurrent pseudoaneurysm	Surgical case reports• 202109. 2021 Sep; 7(1):216	Original Article
158	Yutaka Y, Yuasa I, Itotani R et al.	呼吸器外科	A novel guidewire technique for endobronchial silicone plug occlusion for bronchopleural fistula	Multimedia manual of cardiothoracic surgery : MMCTS•202110. 2021 Oct;2021	Original Article

159	Moriya T, Hamaji M, Yoshizawa A et al.	呼吸器外科	Epidermal growth factor receptor (EGFR)-tyrosine kinase inhibitors as a first-line treatment for postoperative recurrent and EGFR-mutated non-small-cell lung cancer	Interactive cardiovascular and thoracic surgery• 202202. 2022 Feb; 34(3):416–423	Original Article
160	Yamaguchi H, Sato M, Yamamoto K et al.	呼吸器外科	Virtual-assisted lung mapping in sublobar resection of small pulmonary nodules, long-term results	European journal of cardio-thoracic surgery : official journal of the European Association for Cardio-thoracic Surgery• 202203. 2022 Mar; 61(4):761–768	Original Article
161	Ikegami N, Nakajima N, Yoshizawa A et al.	呼吸器外科	Clinical, radiological and pathological features of idiopathic and secondary interstitial pneumonia with pleuroparenchymal fibroelastosis in patients undergoing lung transplantation	Histopathology• 202203. 2022 Mar; 80(4):665–676	Original Article
162	Miyawaki E, Kenmotsu H, Shintani Y et al.	呼吸器外科	Efficacy of platinum agents for stage III non-small-cell lung cancer following platinum-based chemoradiotherapy: a retrospective study	BMC cancer• 202203. 2022 Mar; 22(1):342	Original Article
163	Takehana K, Nakamura D, Abdelghaffar A et al.	脳神経外科	Short diameter may be a useful simple indicator of the tumor response in skull base meningiomas after conventionally fractionated stereotactic radiotherapy	European radiology• 202108. 2021 Aug; 31(8):6367–6373	Original Article
164	Suzuki M, Fushimi Y, Okada T et al.	脳神経外科	Quantitative and qualitative evaluation of sequential PET/MRI using a newly developed mobile PET system for brain imaging	Japanese journal of radiology• 202107. 2021 Jul; 39(7):669–680	Original Article

165	Mizota T, Hamada M, Shiraki A et al.	脳神経外科	Factors associated with somnolence during brain function mapping in awake craniotomy	Journal of clinical neuroscience : official journal of the Neurosurgical Society of Australasia•202107. 2021 Jul;89:349–353	Original Article
166	Makino Y, Arakawa Y, Yoshioka E et al.	脳神経外科	Prognostic stratification for IDH-wild-type lower-grade astrocytoma by Sanger sequencing and copy-number alteration analysis with MLPA	Scientific reports•202107. 2021 Jul;11(1):14408	Original Article
167	Yamawaki R, Nankaku M, Umaba C et al.	脳神経外科	Assessment of neurocognitive function in association with WHO grades in gliomas	Clinical neurology and neurosurgery•202107. 2021 Sep;208:106824	Original Article
168	Mineharu Y, Miyamoto S.	脳神経外科	RNF213 and GUCY1A3 in Moyamoya Disease: Key Regulators of Metabolism, Inflammation, and Vascular Stability	Frontiers in neurology• 202107. 2021 Jul; 12:687088	Original Article
169	Mineharu Y, Takagi Y, Koizumi A et al.	脳神経外科	Genetic and nongenetic factors for contralateral progression of unilateral moyamoya disease: the first report from the SUPRA Japan Study Group	Journal of neurosurgery• 202109. 2021 Sep; 136(4):1005–1014	Original Article
170	Makino Y, Arakawa Y, Yoshioka E et al.	脳神経外科	Infrequent RAS mutation is not associated with specific histological phenotype in gliomas	BMC cancer•202109. 2021 Sep;21(1):1025	Original Article
171	Oichi Y, Mineharu Y, Agawa Y et al.	脳神経外科	Plasticity of the bony carotid canal and its clinical use for assessing negative remodeling of the internal carotid artery	PloS one•2021. 2021 Dec;16(12):e0261235	Original Article

172	Umaba C, Mineharu Y, Liang N et al.	脳神経外科	Intraoperative hand strength as an indicator of consciousness during awake craniotomy: a prospective, observational study	Scientific reports•202201. 2022 Jan;12(1):216	Original Article
173	Huang K, Matsumura H, Zhao Y et al.	脳神経外科	Deep imaging flow cytometry	Lab on a chip•202202. 2022 Mar;22(5):876–889	Original Article
174	Ono M, Sunagawa Y, Mochizuki S et al.	脳神経外科	Chrysanthemum morifolium Extract Ameliorates Doxorubicin-Induced Cardiotoxicity by Decreasing Apoptosis	Cancers•202201. 2022 Jan;14(3):683	Original Article
175	Nakao SY, Miyake M, Hosoda Y et al.	眼科	Myopia Prevalence and Ocular Biometry Features in a General Japanese Population: The Nagahama Study	Ophthalmology•202104. 2021 Apr;128(4):522–531	Original Article
176	Takahashi A, Hosoda Y, Miyake M et al.	眼科	Clinical and Genetic Characteristics of Pachydrusen in Eyes with Central Serous Chorioretinopathy and General Japanese Individuals	Ophthalmology Retina•202109. 2021 Sep; 5(9):910–917	Original Article
177	Kogo T, Muraoka Y, Uji A et al.	眼科	ANGIOGRAPHIC RISK FACTORS FOR RECURRENCE OF MACULAR EDEMA ASSOCIATED WITH BRANCH RETINAL VEIN OCCLUSION	Retina (Philadelphia, Pa.)•202106. 2021 Jun; 41(6):1219–1226	Original Article

178	Kawai K, Uji A, Murakami T et al.	眼科	IMAGE EVALUATION OF ARTIFICIAL INTELLIGENCE-SUPPORTED OPTICAL COHERENCE TOMOGRAPHY ANGIOGRAPHY IMAGING USING OCT-A1 DEVICE IN DIABETIC RETINOPATHY	Retina•202108. 2021 Aug;41(8):1730-1738	Original Article
179	Nakano E, Miyake M, Hosoda Y et al.	眼科	Relationship between Intraocular Pressure and Coffee Consumption in a Japanese Population without Glaucoma: The Nagahama Study	Ophthalmology Glaucoma•202105. 2021 May-Jun; 4(3):268-276	Original Article
180	Tagawa M, Ikeda HO, Inoue Y et al.	眼科	Deterioration of phagocytosis in induced pluripotent stem cell-derived retinal pigment epithelial cells established from patients with retinitis pigmentosa carrying Mer tyrosine kinase mutations	Experimental Eye Research•202104. 2021 Apr;205:108503	Original Article
181	Doi A, Miyata M, Ooto S et al.	眼科	Long-Term Visual Outcome in Inferior Posterior Staphyloma and Efficacy of Treatment for Complicated Choroidal Neovascularization	American journal of ophthalmology•202104. 2021 Sep;229:152-159	Original Article
182	Miyata M, Ooto S, Uji A et al.	眼科	Retinal artery tortuosity in Marfan's syndrome	QJM: An International Journal of Medicine•202111. 2021 Nov; 114(8):601-602	Original Article

183	Elfandi S, Ooto S, Miyata M et al.	眼科	Effects of Intravitreous Aflibercept Injection in Pachychoroid Neovasculopathy: Comparison with Typical Neovascular Age-Related Macular Degeneration	Clinical ophthalmology (Auckland, N.Z.)•2021. 2021 Apr;15:1539-1549	Original Article
184	Kadomoto S, Uji A, Arichika S et al.	眼科	Macular Cone Abnormalities in Behc et's Disease Detected by Adaptive Optics Scanning Light Ophthalmoscope	Ophthalmic Surgery, Lasers and Imaging Retina•202104. 2021 Apr; 52(4):218-225	Original Article
185	Hasegawa T, Oishi A, Ikeda HO et al.	眼科	Detection Sensitivity of Retinitis Pigmentosa Progression Using Static Perimetry and Optical Coherence Tomography	Translational vision science & technology• 202107. 2021 Jul;10(8):31	Original Article
186	Doi A, Akagi T, Tsujikawa A.	眼科	Successful Treatment of Post- Phacoemulsification Descemet's Membrane Detachment Assessed by Anterior Segment Optical Coherence Tomography: A Case Report	Case Reports in Ophthalmology•202107. 2021 Jul;12(2):611-615	Original Article
187	Yamashiro K, Oishi A, Hata M et al.	眼科	Visual acuity outcomes of anti- VEGF treatment for neovascular age- related macular degeneration in clinical trials	Japanese journal of ophthalmology•202111. 2021 Nov;65(6):741-760	Original Article
188	Okamoto Y, Akagi T, Kameda T et al.	眼科	Prediction of trabecular meshwork- targeted micro- invasive glaucoma surgery outcomes using anterior segment OCT angiography	Scientific reports•202109. 2021 Sep;11(1):17850	Original Article

189	Kadomoto S, Muraoka Y, Uji A et al.	眼科	Human Foveal Cone and Müller Cells Examined by Adaptive Optics Optical Coherence Tomography	Translational Vision Science & Technology• 202109. 2021 Sep; 10(11):17	Original Article
190	Miyata M, Ooto S, Hata M et al.	眼科	Efficacy of combined anti-VEGF and photodynamic therapy for bilateral diffuse uveal melanocytic proliferation: Case series	Medicine•202110. 2021 Oct;100(42):e27578	Original Article
191	Kawai K, Uji A, Miyazawa T et al.	眼科	Prevention of Image Quality Degradation in Wider Field Optical Coherence Tomography Angiography Images Via Image Averaging	Translational vision science & technology• 202111. 2021 Nov; 10(13):16	Original Article
192	Oishi A, Fujinami K, Mawatari G et al.	眼科	Genetic and Phenotypic Landscape of PRPH2-Associated Retinal Dystrophy in Japan	Genes•202111. 2021 Nov;12(11):1817	Original Article
193	Kido A, Akagi T, Ikeda HO et al.	眼科	Longitudinal changes in complete avascular area assessed using anterior segmental optical coherence tomography angiography in filtering trabeculectomy bleb	Scientific reports•202112. 2021 Dec;11(1):23418	Original Article
194	Miyata M, Ooto S, Yamashiro K et al.	眼科	Influence of vitreomacular interface score on treatment outcomes of anti-VEGF therapy for neovascular age- related macular degeneration	International journal of retina and vitreous• 202112. 2021 Dec;7(1):77	Original Article

195	Kido A, Miyake M, Akagi T et al.	眼科	Association between topical β -blocker use and asthma attacks in glaucoma patients with asthma: a cohort study using a claims database	Graefe's Archive for Clinical and Experimental Ophthalmology•202108. 2022 Jan;260(1):271-280	Original Article
196	Han X, Liu T, Ding X et al.	眼科	Identification of novel loci influencing refractive error in East Asian populations using an extreme phenotype design	Journal of genetics and genomics = Yi chuan xue bao•202109. 2022 Jan; 49(1):54-62	Original Article
197	Tsujikawa A, Takahashi K, Obata R et al.	眼科	Dry age-related macular degeneration in the Japanese population	Japanese journal of ophthalmology•202201. 2022 Jan;66(1):8-13	Original Article
198	Tamura H, Akune Y, Hiratsuka Y et al.	眼科	Real-world effectiveness of screening programs for age-related macular degeneration: amended Japanese specific health checkups and augmented screening programs with OCT or AI	Japanese journal of ophthalmology•202201. 2022 Jan;66(1):19-32	Original Article
199	Sakaguchi S, Muraoka Y, Kadomoto S et al.	眼科	Three-dimensional locations of ruptured retinal arterial macroaneurysms and their associations with the visual prognosis	Scientific reports•202201. 2022 Jan;12(1):503	Original Article
200	Motozawa N, Miura T, Ochiai K et al.	眼科	Automated evaluation of retinal pigment epithelium disease area in eyes with age-related macular degeneration	Scientific reports•202201. 2022 Jan;12(1):892	Original Article
201	Kishimoto I, Ohnishi H, Yamahara K et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Insulin-like growth factor 1 promotes the extension of Tracheal Epithelium in an in Vitro Tracheal organ culture model	Auris Nasus Larynx•2021. 2021 Jun;48(3):441-450	Original Article

202	Suehiro A, Nagahara K, Moritani S et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Axillary lymph node metastases from thyroid carcinoma: Report of seven cases	Auris, nasus, larynx • 202108. 2021 Aug; 48(4):718-722	Original Article
203	Yoshimatsu M, Ohnishi H, Zhao C et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	In vivo regeneration of rat laryngeal cartilage with mesenchymal stem cells derived from human induced pluripotent stem cells via neural crest cells	Stem cell research • 202104. 2021 Apr; 52:102233	Original Article
204	Gao L, Chen R, Sugimoto M et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The Impact of m1A Methylation Modification Patterns on Tumor Immune Microenvironment and Prognosis in Oral Squamous Cell Carcinoma	International Journal of Molecular Sciences • 202109. 2021 Sep; 22(19):10302	Original Article
205	Mibayashi S, Sumiyoshi S, Kikuchi M et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	SMARCA4-deficient sinonasal carcinoma: A case report referring to the post-treatment histological changes	Pathology International • 202104. 2021 Jun; 71(6):435-437	Original Article
206	Kikuchi M, Harada H, Asato R et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Lingual Lymph Node Metastases as a Prognostic Factor in Oral Squamous Cell Carcinoma-A Retrospective Multicenter Study	Medicina • 202104. 2021 Apr; 57(4):374	Original Article
207	Kikuchi M, Yamashita D, Hara S et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Discordant Immune Marker Expression Between Preoperatively Biopsied and Matched Surgically Resected Specimens in Patients With Oral Squamous Cell Carcinoma	Cureus • 202104. 2021 Apr; 13(4):e14423	Original Article

208	Nakamura R, Katsuno T, Tsuji T et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Airway ciliated cells regenerated on collagen sponge implants acquire planar polarities towards nearby edges of implanted areas	Journal of tissue engineering and regenerative medicine • 202108. 2021 Aug; 15(8):712–721	Original Article
209	Kondo K, Mizuta M, Kawai Y et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Development and Validation of the Japanese Version of the Consensus Auditory–Perceptual Evaluation of Voice	Journal of speech, language, and hearing research : JSLHR • 202112. 2021 Dec; 64(12):4754–4761	Original Article
210	Gao L, Chen R, Sugimoto M et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	The RNA Methylation Modification 5–Methylcytosine Impacts Immunity Characteristics, Prognosis and Progression of Oral Squamous Cell Carcinoma by Bioinformatics Analysis	Frontiers in Bioengineering and Biotechnology • 202112. 2021 Dec; 9:760724	Original Article
211	Yamazaki H, Suehiro A, Ueda Y et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Early Cochlear Implantation Allows Deaf Children to Control Voice Pitch and Loudness independently	OTOLOGY & NEUROTOLOGY • 202201. 2022 Jan; 43(1):e56–e63	Original Article
212	Tada T, Ohnishi H, Yamamoto N et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Transplantation of a human induced pluripotent stem cell-derived airway epithelial cell sheet into the middle ear of rats	Regenerative Therapy • 202203. 2022 Jan; 19:77–87	Original Article
213	Iemura-Kashiwagi M, Kikuchi M, Okuyama H et al.	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Surgical Management of Congenital Nasal Pyriform Aperture Stenosis: A Case Report	Cureus • 202201. 2022 Jan; 14(1):e21761	Original Article
214	Fukuhara S, Asai K, Kakeno A et al.	歯科口腔外科	Association of Education and Depressive Symptoms with Tooth Loss	Journal of Dental Research • 202104. 2021 Apr; 100(4):361–368	Original Article

215	Mishima S, Takahashi K, Kiso H et al.	歯科口腔外科	Local application of Usag-1 siRNA can promote tooth regeneration in Runx2-deficient mice	Scientific Reports • 202112. 2021 Jul; 11(1):13674	Original Article
216	Kawai MY, Ozasa R, Ishimoto T et al.	歯科口腔外科	Periodontal Tissue as a Biomaterial for Hard-Tissue Regeneration following bmp-2 Gene Transfer	Materials • 202202. 2022 Jan; 15(3):993	Original Article
217	Kawai T, Shimizu T, Goto K et al.	整形外科	Number of Levels of Spinal Fusion Associated with the Rate of Joint-Space Narrowing in the Hip	The Journal of bone and joint surgery. American volume • 202106. 2021 Jun; 103(11):953–960	Original Article
218	Kuroda Y, Okuzu Y, Kawai T et al.	整形外科	Difference in Therapeutic Strategies for Joint-Preserving Surgery for Non-Traumatic Osteonecrosis of the Femoral Head between the United States and Japan: A Review of the Literature	Orthopaedic surgery • 202105. 2021 May; 13(3):742–748	Original Article
219	Tateuchi H, Akiyama H, Goto K et al.	整形外科	Strategies for increasing gait speed in patients with hip osteoarthritis: their clinical significance and effects on hip loading	Arthritis research & therapy • 202104. 2021 Apr; 23(1):129	Original Article
220	Kuroda Y, Tanaka T, Miyagawa T et al.	整形外科	Recombinant human FGF-2 for the treatment of early-stage osteonecrosis of the femoral head: TRION, a single-arm, multicenter, Phase II trial	Regenerative medicine • 202106. 2021 Jun; 16(6):535–548	Original Article
221	Kuroda Y, Koumoto S, Okuzu Y et al.	整形外科	Similarity in Sequential Bilateral Transient Osteoporosis of the Hip: A Report of 3 Cases	JBJS case connector • 202106. 2021 Jun; 11(2)	Original Article

222	Saiki R, Momozawa Y, Nannya Y et al.	整形外科	Combined landscape of single-nucleotide variants and copy number alterations in clonal hematopoiesis	Nature medicine•202107. 2021 Jul;27(7):1239–1249	Original Article
223	Kawano T, Nankaku M, Murao M et al.	整形外科	Functional characteristics associated with hip abductor torque in severe hip osteoarthritis	Musculoskeletal science & practice•202110. 2021 Oct;55:102431	Original Article
224	Goto K, Aoyama T, Toguchida J et al.	整形外科	Ten-year results of mesenchymal stromal cell transplantation augmented with vascularised bone grafts for advanced osteonecrosis of the femoral head	Journal of Orthopaedics• 202107. 2021 Jul;26:67– 71	Original Article
225	Hayashi M, Shimizu T, Imamura M et al.	整形外科	Optimizing the layer thickness of sol-gel- derived TiO(2) coating on polyetheretherketone	Scientific reports•202108. 2021 Aug;11(1):15875	Original Article
226	Takaoka Y, Goto K, Tamura J et al.	整形外科	Radiolucent lines do not affect the longevity of highly cross-linked polyethylene cemented components in total hip arthroplasty	The bone & joint journal• 202110. 2021 Oct;103-B(10):1604–1610	Original Article
227	Okuzu Y, Tsukanaka M, Kuroda Y et al.	整形外科	Early Breakage of All Proximal Locking Compression Screws under Non-weight- bearing Conditions after Derotational Femoral Osteotomy in a Child with Cerebral Palsy: A Case Report	Journal of orthopaedic case reports•202112. 2021 Dec;11(12):1–4	Original Article

228	Mitsuzawa S, Kuroda Y, Okuzu Y et al.	整形外科	Corticosteroid– associated osteonecrosis of the femoral head after orthotopic liver transplantation and the outcomes of subsequent total hip arthroplasty	Journal of Orthopaedic Science•2021. 2022 Mar; 27(2):395–401	Original Article
229	Okuzu Y, Goto K, Kuroda Y et al.	整形外科	Preoperative Factors Associated With Low Back Pain Improvement After Total Hip Arthroplasty in a Japanese Population	The Journal of arthroplasty•202201. 2022 Jan;37(1):69–74	Original Article
230	Orita K, Goto K, Kuroda Y et al.	整形外科	Wear resistance of first-generation highly cross-linked annealed polyethylene in cementless total hip arthroplasty is maintained 20 years after surgery	The bone & joint journal• 202202. 2022 Feb;104– B(2):200–205	Original Article
231	Kawai T, Goto K, Kuroda Y et al.	整形外科	Discrepancy in the Responsiveness to Hip Range of Motion Between Harris and Oxford Hip Scores	Arthroplasty today• 202202. 2022 Jan;13:157– 164	Original Article
232	So K, Goto K, Kawaguchi A et al.	整形外科	The superior accuracy of a novel method in total hip wear calculations following radiographic measurement	BMC musculoskeletal disorders•202202. 2022 Feb;23(1):130	Original Article
233	Kawai T, Goto K, Kuroda Y et al.	整形外科	Association Between the Amount of Limb Lengthening and Hip Range of Motion After Total Hip Arthroplasty	The Journal of the American Academy of Orthopaedic Surgeons• 202202. 2022 Mar; 30(6):e599–e606	Original Article
234	Saito S, Morimoto N.	形成外科	Interphalangeal joint deviation in floating– type radial polydactyly with malalignment of the flexor pollicis longus tendon: a case report	The Journal of hand surgery, European volume•202106. 2021 Jun;46(5):556–558	Original Article

235	Saito S, Tsuge I, Yamanaka H et al.	形成外科	Soft tissue abnormalities in Wessel Type VI radial polydactyly: a detailed anatomical study	The Journal of hand surgery, European volume•202105. 2021 May; 46(4):352-359	Original Article
236	Tsuge I, Yamanaka H, Katsube M et al.	形成外科	Avoiding Over-indication for Surgical Debridement Using a Rapid Antigen Detection Test of Group A Streptococcus	Plastic and Reconstructive Surgery Global Open• 202104. 2021 Apr; 9(4):e3548	Original Article
237	Noda K, Kawai K, Matsuura Y et al.	形成外科	Safety of Silk-elastin Sponges in Patients with Chronic Skin Ulcers: A Phase I/II, Single-center, Open-label, Single-arm Clinical Trial	Plastic and Reconstructive Surgery Global Open• 202104. 2021 Apr; 9(4):e3556	Original Article
238	Utsunomiya N, Kodama R, Yamaguchi Y et al.	形成外科	The development of the tensor vastus intermedius during the human embryonic period and its clinical implications	Journal of Anatomy• 202105. 2021 Sep; 239(3):583-588	Original Article
239	Im S, Yamanaka H, Tsuge I et al.	形成外科	A Case of Giant Congenital Melanocytic Nevus Treated with Combination Therapy of Autologous Mesh-skin Grafts and Cultured Epithelial Autografts	Plastic and Reconstructive Surgery Global Open• 202106. 2021 Jun; 9(6):e3613	Original Article
240	Tsuge I, Matsui M, Kanno T et al.	形成外科	Fournier's Gangrene with <i>Edwardsiella tarda</i> : A Gas Production Case by Bacterial Synergism with <i>Streptococcus anginosus</i>	Plastic and Reconstructive Surgery Global Open• 202106. 2021 Jun; 9(6):e3625	Original Article
241	Tsuge I, Saito S, Kataoka M et al.	形成外科	Y-shaped Muscular Wrapping Technique Avoiding Re-infection of a Replaced Aortic Graft: A Cadaveric Study	Plastic and Reconstructive Surgery Global Open• 202106. 2021 Jun; 9(6):e3626	Original Article

242	Morimoto N, Mitsui T, Sakamoto M et al.	形成外科	A Novel Treatment for Giant Congenital Melanocytic Nevi Combining Inactivated Autologous Nevus Tissue by High Hydrostatic Pressure and a Cultured Epidermal Autograft: First-in-Human, Open, Prospective Clinical Trial	Plastic and reconstructive surgery•202107. 2021 Jul; 148(1):71e-76e	Original Article
243	Yoshinaga A, Tsuge I, Yoshinaga D et al.	形成外科	Reduction of Intraoperative Bleeding in Diffuse Plexiform Neurofibroma Resection Using the LigaSure Vessel Sealing System	Plastic and reconstructive surgery•202107. 2021 Aug;148(2):344e-346e	Original Article
244	Tsuge I, Yamanaka H, Seo S et al.	形成外科	A Novel Real-time Navigation System for Lymphaticovenular Anastomosis Using Projection Mapping with Indocyanine Green Fluorescence	Plastic and reconstructive surgery. Global open• 202108. 2021 Aug; 9(8):e3758	Original Article
245	Tsuge I, Matsui M, Takeda T et al.	形成外科	Less-invasive Treatment for Group A Streptococcal Fasciitis with Rapid Antigen Detection Test and Collagen/Gelatin Sponge	Plastic and reconstructive surgery. Global open• 202109. 2021 Sep; 9(9):e3793	Original Article
246	Sakamoto A, Tsuge I, Noguchi T et al.	形成外科	Preserving the posterior cortex of the sternum during resection of a superficial anterior chest wall sarcoma	Journal of Surgical Case Reports•202110. 2021 Oct;2021(10):rjab450	Original Article

247	Fujito H, Yamanaka H, Tsuge I et al.	形成外科	A Case of a Giant Congenital Melanocytic Nevus Treated by Curettage with the Application of Cultured Epidermal Autografts before 6 Months of Age	Plastic and reconstructive surgery. Global open• 202105. 2021 May; 9(5):e3600	Original Article
248	Tsuge I, Yamanaka H, Katsume M et al.	形成外科	Fingerstall-type Tissue Oximetry Reduced Anxiety of Nurses in Postoperative Nursing Monitoring of Free Flaps	Plastic and reconstructive surgery. Global open• 202112. 2021 Dec; 9(12):e3991	Original Article
249	Yamanaka H, Mahara A, Morimoto N et al.	形成外科	REDV-modified decellularized microvascular grafts for arterial and venous reconstruction	Journal of biomedical materials research. Part A• 202203. 2022 Mar; 110(3):547–558	Original Article
250	Noda K, Katayama Y, Sawaragi E et al.	形成外科	Clinical Utility of Silk-Elastin Sponge in Patients with Chronic and Acute Skin Ulcers: Study Protocol of a Multicenter Clinical Trial	Dermatology and therapy• 202201. 2022 Jan; 12(1):243–252	Original Article
251	Hirai K, Tsuge I, Usui S et al.	形成外科	Pyoderma Gangrenosum after Breast Cancer Resection: A Less-invasive and Early Treatment Using the Skin around Ulcers	Plastic and reconstructive surgery. Global open• 202202. 2022 Feb; 10(2):e4111	Original Article
252	Sakamoto M, Nakano T, Tsuge I et al.	形成外科	Dried human cultured epidermis accelerates wound healing in diabetic mouse skin defect wounds	Scientific Reports• 202202. 2022 Feb; 12(1):3184	Original Article
253	Utsunomiya N, Katsume M, Yamaguchi Y et al.	形成外科	The first 3D analysis of the sphenoid morphogenesis during the human embryonic period	Scientific reports• 202203. 2022 Mar; 12(1):5259	Original Article

254	Yajima R, Kido A, Kuwahara R et al.	産科婦人科	Diagnostic performance of preoperative MR imaging findings for differentiation of uterine leiomyoma with intraligamentous growth from subserosal leiomyoma	Abdominal radiology (New York)•202104. 2021 Aug; 46(8):4036–4045	Original Article
255	Taki M, Abiko K, Ukita M et al.	産科婦人科	Tumor Immune Microenvironment during Epithelial–Mesenchymal Transition	Clinical cancer research : an official journal of the American Association for Cancer Research•202104. 2021 Sep;27(17):4669–4679	Original Article
256	Kondoh E, Chigusa Y, Ueda A et al.	産科婦人科	CT scan assessment of intrauterine balloon tamponade failure for the treatment of atonic postpartum haemorrhage: implications for treatment	BJOG : an international journal of obstetrics and gynaecology•202105. 2021 Oct;128(11):1726–1731	Original Article
257	Okunomiya A, Horie A, Tani H et al.	産科婦人科	Figla promotes secondary follicle growth in mature mice	Scientific reports•202105. 2021 May;11(1):9842	Original Article
258	Yamaguchi K, Kitamura S, Furutake Y et al.	産科婦人科	Acquired Evolution of Mitochondrial Metabolism Regulated by HNF1B in Ovarian Clear Cell Carcinoma	Cancers•202105. 2021 May;13(10):2413	Original Article
259	Murakami R, Hamanishi J, Brown JB et al.	産科婦人科	Combination of gene set signatures correlates with response to nivolumab in platinum-resistant ovarian cancer	Scientific reports•202106. 2021 Jun;11(1):11427	Original Article
260	Yamamoto A, Chigusa Y, Fujimoto M et al.	産科婦人科	Sebaceous carcinoma of the vulva treated with sentinel lymph node biopsy: a case report and literature review	International cancer conference journal•202107. 2021 May; 10(3):239–243	Original Article
261	Sato M, Inohaya A, Yasuda E et al.	産科婦人科	Three-dimensional human placenta-like bud synthesized from induced pluripotent stem cells	Scientific Reports•202112. 2021 Jul;11(1):14167	Original Article

262	Ueda A, Chigusa Y, Mogami H et al.	産科婦人科	Maternal near-miss attributable to haemorrhagic stroke in patients with hypertensive disorders of pregnancy in Japan: A national cohort study	Pregnancy hypertension• 202108. 2021 Aug; 25:240–243	Original Article
263	Tanaka M, Yamanoi K, Kitamura S et al.	産科婦人科	A 36kg Giant Ovarian Fibroma with Meigs Syndrome: A Case Report and Literature Review of Extremely Giant Ovarian Tumor	Case reports in obstetrics and gynecology•2021. 2021 Aug;2021:1076855	Original Article
264	Yu S, Yamanoi K, Sunada M et al.	産科婦人科	A Case of Torsion in an Otherwise-Normal Ovary with a Giant Hematosalpinx Larger than Enlarged Ovary: Utilization of Diagnostic Laparoscopy for the Accurate Diagnosis	Case reports in obstetrics and gynecology•2021. 2021 Aug;2021:1371611	Original Article
265	Ikeda Y, Egawa M, Okamoto K et al.	産科婦人科	Correction to: The reliability and validity of the Japanese version of the daily record of severity of problems (J-DRSP) and development of a short-form version (J-DRSP (SF)) to assess symptoms of premenstrual syndrome among Japanese women	BioPsychoSocial medicine• 202112. 2021 Dec; 15(1):27	Original Article
266	Ueda A, Hasegawa M, Matsumura N et al.	産科婦人科	Lower systolic blood pressure levels in early pregnancy are associated with a decreased risk of early-onset superimposed preeclampsia in women with chronic hypertension: a multicenter retrospective study	Hypertension research : official journal of the Japanese Society of Hypertension•202201. 2022 Jan;45(1):135–145	Original Article
267	Miyoshi S, Yamaguchi K, Chigusa Y et al.	産科婦人科	Fertility preservation of polypoid endometriosis: Case series and literature review	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research• 202202. 2022 Feb; 48(2):502–509	Original Article

268	Miyamoto T, Murakami R, Hamanishi J et al.	産科婦人科	B7-H3 Suppresses Antitumor Immunity via the CCL2–CCR2-M2 Macrophage Axis and Contributes to Ovarian Cancer Progression	Cancer immunology research•202201. 2022 Jan;10(1):56–69	Original Article
269	Yamazaki R, Ono M, Sugie T et al.	産科婦人科	Case-based survey: The impact of breast-cancer treatment on fertility in Japan	The journal of obstetrics and gynaecology research•202112. 2022 Mar; 48(3):553–562	Original Article
270	Aki M, Katsumata M, Yamanoi K et al.	産科婦人科	The significance of clinical symptoms of subchorionic hematomas, "bleeding first", to stratify the high-risk subgroup of very early preterm delivery	Taiwanese journal of obstetrics & gynecology•202203. 2022 Mar; 61(2):243–248	Original Article
271	Ohtsuki M, Chigusa Y, Mogami H et al.	産科婦人科	The effect of celecoxib for treatment of preterm labor on fetuses during the second trimester of pregnancy: A pilot case series	Taiwanese journal of obstetrics & gynecology•202203. 2022 Mar; 61(2):277–281	Original Article
272	Hamada M, Wakata R, Sato MS et al.	麻酔科	Survey of acute exacerbation after nonpulmonary surgery in patients with interstitial pneumonia	JA clinical reports•202104. 2021 Apr;7(1):29	Original Article
273	Dong L, Mizota T.	麻酔科	In reply: Low levels of end-tidal carbon dioxide during general anesthesia and postoperative mortality	Canadian journal of anaesthesia = Journal canadien d'anesthésie•202203. 2022 Mar; 69(3):391–392	Original Article
274	Tasaka K, Umeda K, Kamitori T et al.	小児科	Intracranial Growing Teratoma Syndrome With Intraventricular Lipid Accumulation	Journal of pediatric hematology/oncology•202105. 2021 May; 43(4):e505–e507	Original Article

275	Otani S, Fushimi Y, Iwanaga K et al.	小児科	Signal Intensity and Volume of Pituitary and Thyroid Glands in Preterm and Term Infants	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI• 202104. 2021 Apr; 53(4):1151-1161	Original Article
276	Tomotaki S, Araki R, Motokura K et al.	小児科	Effects of passage through the digestive tract on incretin secretion: Before and after birth	Journal of diabetes investigation•202106. 2021 Jun; 12(6):970-977	Original Article
277	Umeda K, Miyamura T, Yamada K et al.	小児科	Clinical outcome of patients with recurrent or refractory localized Ewing's sarcoma family of tumors: A retrospective report from the Japan Ewing Sarcoma Study Group	Cancer reports (Hoboken, N.J.)•202106. 2021 Jun; 4(3):e1329	Original Article
278	Akazawa R, Kato I, Kubota H et al.	小児科	Inotuzumabozogamicin is an effective treatment for CD22- positive acute undifferentiated leukemia: A case report	Pediatric blood & cancer• 202105. 2021 May; 68(5):e28976	Original Article
279	Kamitori T, Umeda K, Akazawa R et al.	小児科	Inotuzumab ozogamicin following allogeneic hematopoietic stem cell transplantation successfully rescued relapse of CD19- negative acute lymphoblastic leukemia after CAR- T cell therapy	Pediatric blood & cancer• 202105. 2021 May; 68(5):e28980	Original Article
280	Honda Y, Maeda Y, Izawa K et al.	小児科	Rapid Flow Cytometry-Based Assay for the Functional Classification of MEFV Variants	Journal of clinical immunology•202108. 2021 Aug; 41(6):1187-1197	Original Article
281	Araki R, Tomotaki S, Akita M et al.	小児科	Effect of electrical activity of the diaphragm waveform patterns on SpO(2) for extremely preterm infants ventilated with neurally adjusted ventilatory assist	Pediatric pulmonology• 202104. 2021 Jul; 56(7):2094-2101	Original Article

282	Nakajima K, Yoshida T, Nishikawa K et al.	小児科	Isolated sixth nerve palsy as an initial presentation of primary angiitis of the central nervous system	Brain & development • 202105. 2021 Sep; 43(8):884–888	Original Article
283	Obu S, Umeda K, Ueno H et al.	小児科	CD146 is a potential immunotarget for neuroblastoma	Cancer science • 202108. 2021 Nov;112(11):4617–4626	Original Article
284	Kubota H, Masuda T, Noura M et al.	小児科	RUNX inhibitor suppresses graft-versus-host disease through targeting RUNX-NFATC2 axis	eJHaem • 202108. 2021 May;2(3):449–458	Original Article
285	Mikami T, Kato I, Oiki N et al.	小児科	Improvement of Bone Marrow Necrosis by Tyrosine Kinase Inhibitor Substitution in a Pediatric Patient With Philadelphia Chromosome-positive Acute Lymphoblastic Leukemia	Journal of pediatric hematology/oncology • 202104. 2022 Mar; 44(2):e539–e542	Original Article
286	Akahane K, Kimura S, Miyake K et al.	小児科	Association of allele-specific methylation of the ASNS gene with asparaginase sensitivity and prognosis in T-ALL	Blood advances • 202109. 2022 Jan;6(1):212–224	Original Article
287	Mikami T, Kato I, Wing JB et al.	小児科	Alteration of the immune environment in bone marrow from children with recurrent B cell precursor acute lymphoblastic leukemia	Cancer science • 202201. 2022 Jan;113(1):41–52	Original Article
288	Yokosuka T, Ito M, Yoshino Y et al.	小児科	Using the in vitro drug sensitivity test to identify candidate treatments for transient abnormal myelopoiesis	British Journal of Haematology • 2021. 2022 Feb;196(3):764–768	Original Article
289	Masuda T, Maeda S, Shimada S et al.	小児科	RUNX1 transactivates BCR-ABL1 expression in Philadelphia chromosome positive acute lymphoblastic leukemia	Cancer science • 202202. 2022 Feb;113(2):529–539	Original Article

290	Yaguchi T, Kimura S, Sekiguchi M et al.	小兒科	Description of longitudinal tumor evolution in a case of multiply relapsed clear cell sarcoma of the kidney	Cancer reports (Hoboken, N.J.)•202202. 2022 Feb; 5(2):e1458	Original Article
291	Imayoshi N, Yoshioka M, Tanaka K et al.	小兒科	CN470 is a BET/CBP/p300 multi-bromodomain inhibitor and has an anti-tumor activity against MLL-rearranged acute lymphoblastic leukemia	Biochemical and biophysical research communications•202112. 2022 Jan; 590:49–54	Original Article
292	Kawamura M, Yoshimura M, Shimizu Y et al.	放射線治療科	Evaluation of Optimal Post-Injection Timing of Hypoxic Imaging with (18)F-Fluoromisonidazole-PET/CT	Molecular Imaging and Biology•2021. 2021 Aug; 23(4):597–603	Original Article
293	Adachi T, Nakamura M, Shintani T et al.	放射線治療科	Multi-institutional dose-segmented dosimetric analysis for predicting radiation pneumonitis after lung stereotactic body radiation therapy	Medical physics•202104. 2021 Apr; 48(4):1781–1791	Original Article
294	Shintani T, Kishi N, Matsuo Y et al.	放射線治療科	Incidence and Risk Factors of Symptomatic Radiation Pneumonitis in Non-Small-Cell Lung Cancer Patients Treated with Concurrent Chemoradiotherapy and Consolidation Durvalumab	Clinical Lung Cancer•2021. 2021 Sep; 22(5):401–410	Original Article
295	Aizawa R, Takayama K, Nakamura K et al.	放射線治療科	Long-term clinical outcomes of external beam radiation therapy for oligometastatic prostate cancer: A combination of prostate-targeted treatment and metastasis-directed therapy	International journal of urology : official journal of the Japanese Urological Association•202104. 2021 Jul; 28(7):749–755	Original Article

296	Inoue M, Enomoto M, Yoshimura M et al.	放射線治療科	Pharmacological inhibition of sodium-calcium exchange activates NADPH oxidase and induces infection-independent NETotic cell death	Redox Biology•202107. 2021 Jul;43:101983	Original Article
297	Hirashima H, Nakamura M, Mukumoto N et al.	放射線治療科	Reducing variability among treatment machines using knowledge-based planning for head and neck, pancreatic, and rectal cancer	Journal of applied clinical medical physics•202107. 2021 Jul;22(7):245–254	Original Article
298	Hiraoka S, Nakajima A, Kishi N et al.	放射線治療科	Efficacy of local salvage therapy for recurrent uterine cervical cancer after definitive radiotherapy	International journal of clinical oncology•202110. 2021 Oct;26(10):1968–1976	Original Article
299	Matsuo Y, Nagata Y, Wakabayashi M et al.	放射線治療科	Impact of pre-treatment C-reactive protein level and skeletal muscle mass on outcomes after stereotactic body radiotherapy for T1N0M0 non-small cell lung cancer: a supplementary analysis of the Japan Clinical Oncology Group study JCOG0403	Journal of Radiation Research•2021. 2021 Sep;62(5):901–909	Original Article
300	Kakino R, Nakamura M, Hu N et al.	放射線治療科	Photoneutron-induced damage reduction for cardiac implantable electronic devices using neutron-shielding sheets in high-energy X-ray radiotherapy: A phantom study	Physica Medica•202109. 2021 Sep;89:151–159	Original Article
301	Sakanaka K, Fujii K, Hirashima H et al.	放射線治療科	Chemoradiotherapy for fistula-related perianal squamous cell carcinoma with Crohn's disease	International Cancer Conference Journal•202106. 2021 Jun; 10(4):305–311	Original Article

302	Arakawa Y, Sasaki K, Mineharu Y et al.	放射線治療科	A randomized phase III study of short-course radiotherapy combined with Temozolomide in elderly patients with newly diagnosed glioblastoma; Japan clinical oncology group study JCOG1910 (AgedGlio-PIII)	BMC cancer•202110. 2021 Oct;21(1):1105	Original Article
303	Ashida R, Nakamura K, Aizawa R et al.	放射線治療科	Highly hypofractionated intensity-modulated radiation therapy for nonmetastatic prostate cancer with a simultaneous integrated boost to intraprostatic lesions: a planning study	Japanese journal of radiology•202108. 2022 Feb;40(2):210–218	Original Article
304	Zhou D, Nakamura M, Mukumoto N et al.	放射線治療科	Development of a deep learning-based patient-specific target contour prediction model for markerless tumor positioning	Medical physics•202201. 2022 Mar;49(3):1382–1390	Original Article
305	Ono T, Nakamura M, Ono Y et al.	放射線治療科	Development of a plan complexity mitigation algorithm based on gamma passing rate predictions for volumetric-modulated arc therapy	Medical physics•202201. 2022 Mar;49(3):1793–1802	Original Article
306	Adachi T, Nakamura M, Kakino R et al.	放射線治療科	Dosimetric feature comparison between dose-calculation algorithms used for lung stereotactic body radiation therapy	Radiological physics and technology•202203. 2022 Mar;15(1):63–71	Original Article
307	Adachi T, Nagasawa R, Nakamura M et al.	放射線治療科	Vulnerabilities of radiomic features to respiratory motion on four-dimensional computed tomography-based average intensity projection images: A phantom study	Journal of Applied Clinical Medical Physics•202201. 2022 Mar;23(3):e13498	Original Article

308	Zhou D, Nakamura M, Mukumoto N et al.	放射線治療科	Development of AI-driven prediction models to realize real-time tumor tracking during radiotherapy	Radiation oncology (London, England)• 202202. 2022 Feb; 17(1):42	Original Article
309	Kishi N, Matsuo Y, Yoneyama M et al.	放射線治療科	Symptomatic Radiation Pneumonitis After Stereotactic Body Radiation Therapy for Multiple Pulmonary Oligometastases or Synchronous Primary Lung Cancer	Advances in Radiation Oncology• 202202. 2022 Feb; 7(3):100911	Original Article
310	Yamaguchi A, Honda M, Ishiguro H et al.	放射線診断科	Kinetic information from dynamic contrast-enhanced MRI enables prediction of residual cancer burden and prognosis in triple-negative breast cancer: a retrospective study	Scientific reports• 202105. 2021 May; 11(1):10112	Original Article
311	Watanabe H, Idoko Y, Iikuni S et al.	放射線診断科	Synthesis and biological evaluation of novel (18)F-labeled phenylbenzofuran-2-carboxamide derivative for detection of orexin 1 receptor in the brain	Bioorganic & medicinal chemistry letters• 202107. 2021 Jul; 43:128098	Original Article
312	Sato T, Isoda H, Fujimoto K et al.	放射線診断科	Evaluation of Weighted Diffusion Subtraction for Detection of Clinically Significant Prostate Cancer	Journal of magnetic resonance imaging : JMRI• 202106. 2021 Dec; 54(6):1979–1988	Original Article
313	Kataoka M.	放射線診断科	Editorial: HBOC and high-risk screening: up-to-date	Breast cancer (Tokyo, Japan)• 202111. 2021 Nov; 28(6):1165–1166	Original Article

314	Watanabe M, Kawai– Miyake K, Fushimi Y et al.	放射線診断科	Application of a Flexible PET Scanner Combined with 3 T MRI Using Non-local Means Reconstruction: Qualitative and Quantitative Comparison with Whole-Body PET/CT	Molecular Imaging and Biology•202110. 2022 Feb;24(1):167–176	Original Article
315	Kamido H, Shimomiya D, Kogame T et al.	皮膚科	Inducible skin– associated lymphoid tissue (iSALT) in a patient with Schnitzler syndrome who manifested wheals on recurrent localized erythema	British Journal of Dermatology•202106. 2021 Jun;184(6):1199– 1201	Original Article
316	Katsuo K, Kaku Y, Tahara J et al.	皮膚科	Multiple dermatomal granulomatous dermatitis concurring with herpes zoster	The Journal of dermatology•202104. 2021 Apr;48(4):e167– e168	Original Article
317	Yamamoto Y, Otsuka A, Ishida Y et al.	皮膚科	Pituitary adenylate cyclase–activating polypeptide promotes cutaneous dendritic cell functions in contact hypersensitivity	The Journal of allergy and clinical immunology• 202109. 2021 Sep; 148(3):858–866	Original Article
318	Nomura T, Nakajima S, Kashiwa A et al.	皮膚科	Drug–induced hypersensitivity syndrome/drug reaction with eosinophilia and systemic syndrome followed by transient palmoplantar keratoderma-like eruption	The Journal of dermatology•202105. 2021 May;48(5):e207– e209	Original Article
319	Tahara J, Ono S, Nomura T et al.	皮膚科	A case of dipeptidyl– peptidase 4 inhibitor– associated pemphigoid nodularis	International journal of dermatology•202109. 2021 Sep;60(9):1159– 1160	Original Article
320	Yang X, Kambe N, Takimoto-Ito R et al.	皮膚科	Advances in the pathophysiology of atopic dermatitis revealed by novel therapeutics and clinical trials	Pharmacology & therapeutics•202108. 2021 Aug;224:107830	Original Article

321	Sunami S, Honda T, Kaku Y et al.	皮膚科	Pustulotic arthroosteitis with generalized pustulosis lagging 20 years behind the onset of joint symptoms	International journal of dermatology•202104. 2021 Oct;60(10):e403–e405	Original Article
322	Sakaguchi Y, Komori T, Kaku Y et al.	皮膚科	Benign cutaneous plexiform hybrid tumor of perineurioma and cellular neurothekeoma on the leg	The Journal of dermatology•202108. 2021 Aug;48(8):e372–e373	Original Article
323	Adachi A, Honda T, Dainichi T et al.	皮膚科	Prolonged high-intensity exercise induces fluctuating immune responses to herpes simplex virus infection via glucocorticoids	Journal of Allergy and Clinical Immunology•202105. 2021 Dec; 148(6):1575–1588	Original Article
324	Oiwa T, Ishibashi M, Okuno T et al.	皮膚科	Eicosanoid profiling in patients with complete form of pachydermoperiostosis carrying SLCO2A1 mutations	The Journal of dermatology•202106. 2021 Sep;48(9):1442–1446	Original Article
325	Shima K, Nakajima S, Usui S et al.	皮膚科	Unique cutaneous features in a case of anti-nuclear matrix protein 2 antibody positive dermatomyositis	The Journal of dermatology•202109. 2021 Sep;48(9):e468–e469	Original Article
326	Nakajima S, Tie D, Nomura T et al.	皮膚科	Novel pathogenesis of atopic dermatitis from the view of cytokines in mice and humans	Cytokine•202112. 2021 Dec;148:155664	Original Article
327	Takimoto-Ito R, Kambe N, Kogame T et al.	皮膚科	Refractory serum immunoglobulin M elevation during anti-interleukin (IL)-1- or IL-6-targeted treatment in four patients with Schnitzler syndrome	Journal of Dermatology•202108. 2021 Nov; 48(11):1789–1792	Original Article

328	Yashige K, Kataoka TR, Yamada Y et al.	皮膚科	The Expression of Insulin-Like Growth Factor 2 Messenger RNA-Binding Protein 3 in Langerhans Cell Histiocytosis and Langerhans Cell Sarcoma	The Tohoku Journal of Experimental Medicine• 2021. 2021 Sep; 255(1):27–31	Original Article
329	Nomura T, Sumi E, Egawa G et al.	皮膚科	Safety and Efficacy of FIT039 for Verruca Vulgaris: A Placebo- Controlled, Phase I/II Randomized Controlled Trial	JID innovations : skin science from molecules to population health•202109. 2021 May;1(3):100026	Original Article
330	Terada K, Yamada Y, Fujimoto M et al.	皮膚科	Giant Pilomatrical Tumor With Broad Epidermal Components: An Example of Histological Diversity and a Potential Diagnostic Pitfall of Tumors With Pilomatrical Differentiation	The American Journal of dermatopathology• 202107. 2022 Feb; 44(2):129–134	Original Article
331	Kitagawa Y, Kawasaki Y, Yamasaki Y et al.	皮膚科	Anti-TNF treatment corrects IFN- γ - dependent proinflammatory signatures in Blau syndrome patient- derived macrophages	Journal of Allergy and Clinical Immunology• 202106. 2022 Jan; 149(1):176–188	Original Article
332	Iwanaga A, Utani A, Koike Y et al.	皮膚科	Clinical practice guidelines for pseudoxanthoma elasticum (2017): Clinical Practice Guidelines for Pseudoxanthoma Elasticum Drafting Committee	The Journal of dermatology•202201. 2022 Mar;49(3):e91–e98	Original Article
333	Takao N, Murai T, Fujiwara H.	精神科神経科	Treatment-resistant schizophrenia characterised by dopamine supersensitivity psychosis and efficacy of asenapine	BMJ case reports•202104. 2021 Apr;14(4):e242495	Original Article

334	Zhang Z, Gao C, Zhao S et al.	精神科神経科	Salient Properties in Bimanual Haptic Volume Perception: Influence of Object Shape, Finger Pair, and Schizotypal Personality Traits	IEEE transactions on haptics•202105. 2021 Oct-Dec;14(4):816–824	Original Article
335	Noda T, Isobe M, Ueda K et al.	精神科神経科	The relationship between attention and avoidance coping in anorexia nervosa: functional magnetic resonance imaging study	BJP Psych open•202107. 2021 Jul;7(4):e130	Original Article
336	Nakagami Y, Hayakawa K, Horinouchi T et al.	精神科神経科	A Call for a Rational Polypharmacy Policy: International Insights From Psychiatrists	Psychiatry investigation•202111. 2021 Nov; 18(11):1058–1067	Original Article
337	Katagai H, Yasui-Furukori N, Kawashima H et al.	精神科神経科	Serial case report of high seizure threshold patients that responded to the lengthening of pulse width in ECT	Neuropsychopharmacology Reports•202112. 2022 Mar;42(1):105–108	Original Article
338	Taylor JE, Yamada T, Kawashima T et al.	精神科神経科	Depressive symptoms reduce when dorsolateral prefrontal cortex-precuneus connectivity normalizes after functional connectivity neurofeedback	Scientific reports•202202. 2022 Feb;12(1):2581	Original Article
339	Yurie H, Ikeguchi R, Aoyama T et al.	リハビリテーション科	Mechanism of Peripheral Nerve Regeneration Using a Bio 3D Conduit Derived from Normal Human Dermal Fibroblasts	Journal of Reconstructive Microsurgery•202105. 2021 May;37(4):357–364	Original Article
340	Tanabe N, Shima H, Sato S et al.	リハビリテーション科	Reply to: What is "functional small airway disease" in inspiratory and expiratory CT images?	Respiratory investigation•202107. 2021 Jul; 59(4):564–565	Original Article

341	Hamada R, Oshima Y, Sato S et al.	リハビリテーション科	Physical function after lung transplantation for late-onset noninfectious pulmonary complications after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation	Supportive Care in Cancer•2021. 2021 Sep; 29(9):5447–5454	Original Article
342	Tanabe N, Sato S.	リハビリテーション科	Narrative review of current COPD status in Japan	Journal of thoracic disease•202106. 2021 Jun;13(6):3878–3887	Original Article
343	Oi I, Ito I, Hirabayashi M et al.	リハビリテーション科	Pneumonia Caused by Severe Acute Respiratory Syndrome Coronavirus 2 and Influenza Virus: A Multicenter Comparative Study	Open forum infectious diseases•202107. 2021 May;8(7):ofab282	Original Article
344	Tanabe N, Hirai T.	リハビリテーション科	Recent advances in airway imaging using micro-computed tomography and computed tomography for chronic obstructive pulmonary disease	The Korean journal of internal medicine•202111. 2021 Nov;36(6):1294– 1304	Original Article
345	Hamada S, Tanabe N, Hirai T.	リハビリテーション科	Effects of combined oxygen and surgical masks on inspired fraction of oxygen: relevance to COVID- 19-induced respiratory failure	British journal of anaesthesia•202106. 2021 Jun;126(6):e215–e217	Original Article
346	Shirata M, Ito I, Tanabe N et al.	リハビリテーション科	Risk factors associated with methicillin-resistant <i>Staphylococcus</i> <i>aureus</i> isolation from serially collected sputum samples of patients hospitalized with pneumonia	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy• 202105. 2021 Sep; 27(9):1323–1328	Original Article

347	Tanabe N, Kaji S, Sato S et al.	リハビリテーション科	A homological approach to a mathematical definition of pulmonary fibrosis and emphysema on computed tomography	Journal of applied physiology (Bethesda, Md. : 1985)•202106. 2021 Aug;131(2):601–612	Original Article
348	Hamada S, Tanabe N, Hirai T.	リハビリテーション科	Humidification via high-flow nasal cannula oxygen therapy does not generate aerosols	British journal of anaesthesia•202106. 2021 Sep;127(3):e109–e110	Original Article
349	Tanaka H, Nankaku M, Kikuchi T et al.	リハビリテーション科	Effects of periodic robot rehabilitation using the Hybrid Assistive Limb for a year on gait function in chronic stroke patients	Journal of Clinical Neuroscience•202110. 2021 Oct;92:17–21	Original Article
350	Ikeguchi R, Nankaku M, Yamawaki R et al.	リハビリテーション科	Immediate family support is important to discharge home for cancer patient with bone metastasis after rehabilitation: A retrospective study	Medicine•202109. 2021 Sep;100(37):e27273	Original Article
351	Kogo M, Matsumoto H, Tanabe N et al.	リハビリテーション科	The importance of central airway dilatation in patients with bronchiolitis obliterans	ERJ open research•202110. 2021 Oct; 7(4):00123–2021	Original Article
352	Hamada R, Nankaku M, Murao M et al.	リハビリテーション科	Functional characteristics of female patients based on ambulatory ability 1 year after total knee arthroplasty	The Knee•202111. 2021 Dec;33:298–304	Original Article
353	Shirata M, Ito I, Ishida T et al.	リハビリテーション科	Development and validation of a new scoring system for prognostic prediction of community-acquired pneumonia in older adults	Scientific reports•202112. 2021 Dec;11(1):23878	Original Article

354	Hamada R, Oshima Y, Sato S et al.	リハビリテーション科	Changes in the health-related quality of life and social reintegration status after lung transplantation following hematopoietic stem cell transplantation	Supportive care in cancer : official journal of the Multinational Association of Supportive Care in Cancer•202110. 2022 Feb;30(2):1831–1839	Original Article
355	Handa T, Tanizawa K, Oguma T et al.	リハビリテーション科	Novel Artificial Intelligence-based Technology for Chest Computed Tomography Analysis of Idiopathic Pulmonary Fibrosis	Annals of the American Thoracic Society•202108. 2022 Mar;19(3):399–406	Original Article
356	Shimizu K, Tanabe N, Oguma A et al.	リハビリテーション科	Parenchymal destruction in asthma: Fixed airflow obstruction and lung function trajectory	The Journal of allergy and clinical immunology•202108. 2022 Mar; 149(3):934–942	Original Article
357	Ibaraki T, Tomoda K, Fujioka N et al.	リハビリテーション科	Fractal dimension in CT low attenuation areas is predictive of long-term oxygen therapy initiation in COPD patients: Results from two observational cohort studies	Respiratory investigation•202109. 2022 Jan; 60(1):137–145	Original Article
358	Xu F, Vasilescu DM, Kinose D et al.	リハビリテーション科	The molecular and cellular mechanisms associated with the destruction of terminal bronchioles in COPD	The European respiratory journal•202110. 2022 May;59(5):2101411	Original Article
359	Sukeishi A, Itohara K, Yonezawa A et al.	リハビリテーション科	Population pharmacokinetic modeling of GS-441524, the active metabolite of remdesivir, in Japanese COVID-19 patients with renal dysfunction	CPT: pharmacometrics & systems pharmacology•202111. 2022 Jan; 11(1):94–103	Original Article
360	Tanabe N, Sakamoto R, Kozawa S et al.	リハビリテーション科	Deep learning-based reconstruction of chest ultra-high-resolution computed tomography and quantitative evaluations of smaller airways	Respiratory investigation•202111. 2022 Jan; 60(1):167–170	Original Article

361	Kawano T, Nankaku M, Murao M et al.	リハビリテーション科	Recovery of Muscle Atrophy and Fatty Infiltration in Patients With Acetabular Dysplasia After Total Hip Arthroplasty	The Journal of the American Academy of Orthopaedic Surgeons• 202110. 2022 Feb; 30(3):e317–e326	Original Article
362	Tanabe N, Kaji S, Shima H et al.	リハビリテーション科	Kernel Conversion for Robust Quantitative Measurements of Archived Chest Computed Tomography Using Deep Learning-Based Image-to-Image Translation	Frontiers in artificial intelligence• 2021. 2022 Jan; 4:769557	Original Article
363	Kohara J, Kai S, Hashimoto K et al.	リハビリテーション科	Successful lung-protective ventilatory management during the VV-ECMO in a severe COVID-19 pneumonia patient with extensive pneumomediastinum and subcutaneous emphysema: a case report	JA clinical reports• 202202. 2022 Feb; 8(1):12	Original Article
364	Aoyama T, Goto K, Ikeguchi R et al.	リハビリテーション科	Effect of a Rehabilitation Program After Mesenchymal Stromal Cell Transplantation for Advanced Osteonecrosis of the Femoral Head: A 10-Year Follow-Up Study	Archives of rehabilitation research and clinical translation• 202203. 2022 Jan; 4(1):100179	Original Article
365	Matsuoka Y, Iemura Y, Fujimoto M et al.	病理診断科	Upper Gastrointestinal Langerhans Cell Histiocytosis: A Report of 2 Adult Cases and a Literature Review	International journal of surgical pathology• 202108. 2021 Aug; 29(5):550–556	Original Article

366	Fujimoto M, Takai T, Okada M et al.	病理診断科	Systemic EBV–Positive Methotrexate–Related Lymphoproliferative Disorder Associated With Skin Lesion Resembling EBV–Positive Mucocutaneous Ulcer: A Report of Two Cases	The American Journal of dermatopathology• 202108. 2021 Aug; 43(8):604–605	Original Article
367	Fujimoto M, Kaku Y, Hirata M et al.	病理診断科	EBV–positive Mucocutaneous Ulcer With Small Lymphocytic Infiltration Mimicking Nonspecific Ulceration	The American journal of surgical pathology• 202105. 2021 May; 45(5):694–700	Original Article
368	Sugimoto A, Yamada Y, Fujimoto M et al.	病理診断科	A multilocular thymic cyst associated with mediastinal seminoma: evidence for its medullary epithelial origin highlighted by POU2F3–positive thymic tuft cells and concomitant myoid cell proliferation	Virchows Archiv : an international journal of pathology• 202107. 2021 Jul; 479(1):215–220	Original Article
369	Hori Y, Yoh T, Seo S et al.	病理診断科	Limited Impact of HER2 Expression on Survival Outcomes in Patients with Intrahepatic Cholangiocarcinoma After Surgical Resection	The oncologist• 202106. 2021 Oct; 26(10):e1893–e1894	Original Article
370	Tsutsui T, Arakawa Y, Makino Y et al.	病理診断科	Spinal cord astroblastoma with EWSR1–BEND2 fusion classified as HGNET–MN1 by methylation classification: a case report	Brain tumor pathology• 202107. 2021 Oct; 38(4):283–289	Original Article
371	Sato N, Uchino E, Kojima R et al.	病理診断科	Evaluation of Kidney Histological Images Using Unsupervised Deep Learning	Kidney international reports• 202109. 2021 Jun; 6(9):2445–2454	Original Article

372	Ishida A, Yamada Y, Ishida Y et al.	病理診断科	A primary thymic adenocarcinoma with two components that traced distinct evolutionary trajectories	Pathology International • 202109. 2021 Dec; 71(12):849–855	Original Article
373	Ishida A, Fujimoto M, Yamada Y et al.	病理診断科	Phosphoglyceride crystal deposition disease in a rib bone and ovary mimicking malignancy: A report of two cases including a previously undescribed cystic case	Pathology International • 202110. 2021 Dec; 71(12):860–862	Original Article
374	Takata M, Komori T, Ishida Y et al.	病理診断科	Basal cell carcinoma on the ventral site of the finger with an intronic deletion of SUFU gene	Journal of the European Academy of Dermatology and Venereology : JEADV • 202109. 2022 Feb; 36(2):e128–e130	Original Article
375	Yuan H, Nishikori M, Ueda C et al.	病理診断科	A sporadic case of CTLA4 haploinsufficiency manifesting as Epstein–Barr virus–positive diffuse large B-cell lymphoma	Journal of clinical and experimental hematopathology : JCEH • 202110. 2022 Mar; 62(1):52–57	Original Article
376	Sakatani T, Kita Y, Fujimoto M et al.	病理診断科	IFN–Gamma Expression in the Tumor Microenvironment and CD8–Positive Tumor–Infiltrating Lymphocytes as Prognostic Markers in Urothelial Cancer Patients Receiving Pembrolizumab	Cancers • 202201. 2022 Jan; 14(2):263	Original Article
377	Tajima T, Hata K, Haga H et al.	臓器移植医療部	Post–transplant Lymphoproliferative Disorders After Liver Transplantation: A Retrospective Cohort Study Including 1954 Transplants	Liver Transplantation • 202105. 2021 Aug; 27(8):1165–1180	Original Article

378	Kasai Y, Masui T, Nakakura EK et al.	臓器移植医療部	Preoperative risk stratification of lymph node metastasis for non-functional pancreatic neuroendocrine neoplasm: An international dual-institutional study	Pancreatology : official journal of the International Association of Pancreatology (IAP) ... [et al.]•202110. 2022 Jan; 22(1):123-129	Original Article
379	Hirano M, So Y, Tsunekawa S et al.	臓器移植医療部	MYCL-mediated reprogramming expands pancreatic insulin-producing cells	Nature Metabolism•202202. 2022 Feb; 4(2):254-268	Original Article
380	Takeda H, Takai A, Iguchi E et al.	がんセンター	Oncogenic transcriptomic profile is sustained in the liver after the eradication of the hepatitis C virus	Carcinogenesis•202105. 2021 May;42(5):672-684	Original Article
381	Eso Y, Nakano S, Mishima M et al.	がんセンター	Mac-2 binding protein glycosylation isomer predicts tolerability and clinical outcome of lenvatinib therapy for hepatocellular carcinoma	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences•202106. 2021 Jun; 28(6):498-507	Original Article
382	Eso Y, Nakano S, Mishima M et al.	がんセンター	A simplified method to quantitatively predict the effect of lenvatinib on hepatocellular carcinoma using contrast-enhanced ultrasound with perfluorobutane microbubbles	Quantitative imaging in medicine and surgery•202106. 2021 Jun; 11(6):2766-2774	Original Article
383	Iguchi E, Takai A, Takeda H et al.	がんセンター	Author Correction: DNA methyltransferase 3B plays a protective role against hepatocarcinogenesis caused by chronic inflammation via maintaining mitochondrial homeostasis	Scientific reports•202107. 2021 Jul;11(1):14037	Original Article

384	Eso Y, Takeda H, Taura K et al.	がんセンター	Pretreatment Neutrophil-to- Lymphocyte Ratio as a Predictive Marker of Response to Atezolizumab Plus Bevacizumab for Hepatocellular Carcinoma	Current oncology (Toronto, Ont.)•202110. 2021 Oct;28(5):4157- 4166	Original Article
385	Takeda H, Takai A, Eso Y et al.	がんセンター	Genetic Landscape of Multistep Hepatocarcinogenesis	Cancers•202201. 2022 Jan;14(3):568	Original Article
386	Takamatsu S, Brown JB, Yamaguchi K et al.	総合周産期母子医療セン ター	Utility of Homologous Recombination Deficiency Biomarkers Across Cancer Types	JCO precision oncology• 202108. 2021 Aug;5:PO	Original Article
387	Kitamura S, Yamaguchi K, Murakami R et al.	総合周産期母子医療セン ター	PDK2 leads to cisplatin resistance through suppression of mitochondrial function in ovarian clear cell carcinoma	Cancer science•202108. 2021 Nov;112(11):4627- 4640	Original Article
388	Onuki M, Yamamoto K, Yahata H et al.	総合周産期母子医療セン ター	Changes in HPV16/18 Prevalence among Unvaccinated Women with Cervical Intraepithelial Neoplasia in Japan: Assessment of Herd Effects following the HPV Vaccination Program	Vaccines•202201. 2022 Jan;10(2):188	Original Article
389	Horikawa N, Horie A, Kawahara S et al.	総合周産期母子医療セン ター	Feasibility of Laparoscopic Para- Aortic Lymphadenectomy for Locally Advanced Cervical Cancer	JSLS•202203. 2022 Jan- Mar;26(1):e2021	Original Article
390	Yamamoto K, Natsuaki M, Morimoto T et al.	検査部	Percutaneous Coronary Intervention Versus Coronary Artery Bypass Grafting in Patients With Versus Without Chronic Kidney Disease	AMERICAN JOURNAL OF CARDIOLOGY• 202104. 2021 Apr; 145:37-46	Original Article

391	Toda Kato E, Goto S.	検査部	The TIMI Study Group's Contributions to the Advancement of Cardiology -With Focus on Atherosclerotic Cardiovascular Disease	Journal of atherosclerosis and thrombosis•202106. 2021 Jun;28(6):563-572	Original Article
392	Nakamura M, Arai Y, Hirabayashi S et al.	検査部	Residual disease is a strong prognostic marker in patients with acute lymphoblastic leukaemia with chemotherapy-refractory or relapsed disease prior to allogeneic stem cell transplantation	British journal of haematology•202107. 2021 Jul;194(2):403-413	Original Article
393	Gomi R, Matsuda T, Yamamoto M et al.	検査部	Occurrence of class 1 integrons carrying two copies of the bla(GES-5) gene in carbapenem-non-susceptible <i>Citrobacter freundii</i> and <i>Raoultella ornithinolytica</i> isolated from wastewater	Journal of global antimicrobial resistance•202109. 2021 Sep; 26:230-232	Original Article
394	Yamamoto K, Matsumura- Nakano Y, Shioi H et al.	検査部	Effect of Heart Failure on Long-Term Clinical Outcomes After Percutaneous Coronary Intervention Versus Coronary Artery Bypass Grafting in Patients With Severe Coronary Artery Disease	Journal of the American Heart Association•202108. 2021 Aug; 10(15):e021257	Original Article
395	Takeji Y, Shioi H, Morimoto T et al.	検査部	Differences in mortality and causes of death between STEMI and NSTEMI in the early and late phases after acute myocardial infarction	PloS one•2021. 2021 Nov; 16(11):e0259268	Original Article

396	Suzuki S, Kato ET, Sato K et al.	検査部	The effect of the Original MethOd at pharmacy To ENhAnce Support for Health Improvement in the limited Japanese proficiency patients visiting local community pharmacy: A randomized controlled trial	Patient education and counseling•202105. 2022 Feb;105(2):366–374	Original Article
397	Katada Y, Nakagawa S, Nagao M et al.	検査部	Risk factors of breakthrough aspergillosis in lung transplant recipients receiving itraconazole prophylaxis	Journal of infection and chemotherapy : official journal of the Japan Society of Chemotherapy•202201. 2022 Jan; 28(1):54–60	Original Article
398	Yamamoto K, Natsuaki M, Morimoto T et al.	検査部	Coronary Artery Disease Without Standard Cardiovascular Risk Factors	The American journal of cardiology•202111. 2022 Feb;164:34–43	Original Article
399	Hamada Y, Kasai H, Suzuki-Ito M et al.	検査部	Pharmacokinetic/Pharmacodynamic Analysis and Dose Optimization of Cefmetazole and Flomoxef against Extended-Spectrum β -Lactamase-Producing Enterobacterales in Patients with Invasive Urinary Tract Infection Considering Renal Function	Antibiotics (Basel, Switzerland)•202203. 2022 Mar;11(4):456	Original Article
400	Mizuno A, Kawamoto S, Uda S et al.	手術部	A case of left ventricular free wall rupture after insertion of an IMPELLA® left ventricular assist device diagnosed by transesophageal echocardiography	JA clinical reports•202104. 2021 Apr;7(1):38	Original Article

401	Matsukawa S, Kai S, Seo H et al.	手術部	Activation of the β -adrenergic receptor exacerbates lipopolysaccharide-induced wasting of skeletal muscle cells by increasing interleukin-6 production	PloS one•2021. 2021 May;16(5):e0251921	Original Article
402	Mizota T, Kimura K, Takeda C.	手術部	Knot formation in a thoracic epidural catheter: a case report	JA clinical reports•202106. 2021 Jun;7(1):45	Original Article
403	Dong L, Takeda C, Yamazaki H et al.	手術部	Intraoperative end-tidal carbon dioxide and postoperative mortality in major abdominal surgery: a historical cohort study	Canadian journal of anaesthesia = Journal canadien d'anesthésie•202108. 2021 Nov; 68(11):1601–1610	Original Article
404	Takeda C, Yamashita Y, Takeuchi M et al.	手術部	Incidence, clinical characteristics and long-term prognosis of postoperative symptomatic venous thromboembolism: a retrospective cohort study	BMJ Open•202202. 2022 Feb;12(2):e055090	Original Article
405	Sakata A, Fushimi Y, Okada T et al.	放射線部	Evaluation of cerebral arteriovenous shunts: a comparison of parallel imaging time-of-flight magnetic resonance angiography (TOF-MRA) and compressed sensing TOF-MRA to digital subtraction angiography	Neuroradiology•202106. 2021 Jun;63(6):879–887	Original Article
406	Nakajima S, Fushimi Y, Kawashima H et al.	放射線部	Cerebral Infarction With Increased Uptake on ^{123}I -FP-CIT SPECT	Clinical nuclear medicine•202104. 2021 Apr; 46(4):e193–e194	Original Article

407	Oshima S, Fushimi Y, Okada T et al.	放射線部	Neuromelanin– Sensitive Magnetic Resonance Imaging Using DANTE Pulse	Movement disorders : official journal of the Movement Disorder Society•202104. 2021 Apr;36(4):874–882	Original Article
408	Himoto Y, Lakhman Y, Fuji S et al.	放射線部	Multiparametric magnetic resonance imaging facilitates the selection of patients prior to fertility– sparing management of endometrial cancer	Abdominal radiology (New York)•202104. 2021 Sep; 46(9):4410–4419	Original Article
409	Kurata Y, Nishio M, Moribata Y et al.	放射線部	Automatic segmentation of uterine endometrial cancer on multi– sequence MRI using a convolutional neural network	Scientific reports•202107. 2021 Jul;11(1):14440	Original Article
410	Himoto Y, Kido A, Sakata A et al.	放射線部	Differentiation of uterine low-grade endometrial stromal sarcoma from rare leiomyoma variants by magnetic resonance imaging	Scientific reports•202109. 2021 Sep;11(1):19124	Original Article
411	Shimizu Y, Koyasu S, Suzukida M et al.	放射線部	Development of a novel Indium-111 radiolabeled mogamulizumab targeting CCR4 for imaging adult T-cell leukemia/lymphoma in vivo	Annals of nuclear medicine•202201. 2022 Mar;36(3):319–326	Original Article
412	Yamada Y, Shirahase H, Fukiya M et al.	病理部	Thyroid metastasis of pulmonary adenocarcinoma with EGFR G719A mutation: Genetic confirmation with liquid-based cytology specimens	Cytopathology : official journal of the British Society for Clinical Cytology•202105. 2021 May;32(3):364–366	Original Article

413	Yamada Y, Nakashima Y, Komuro H et al.	病理部	A case of INI1-deficient tumor in the forearm successfully diagnosed as epithelioid malignant peripheral nerve sheath tumor: Intratumoral nerve fibers with Wallerian degeneration as a diagnostic aid	Pathology international • 202105. 2021 May; 71(5):365–367	Original Article
414	Asai S, Sumiyoshi S, Yamada Y et al.	病理部	High-grade salivary gland carcinoma with the ETV6-NTRK3 gene fusion: A case report and literature review of secretory carcinoma with high-grade transformation	Pathology international • 202106. 2021 Jun; 71(6):427–434	Original Article
415	Murata Y, Kusudo E, Kawamoto S et al.	集中治療部	Effects of whole blood storage in a polyolefin blood bag on platelets for acute normovolemic hemodilution	Scientific Reports • 202106. 2021 Jun; 11(1):12201	Original Article
416	Ohtera S, Kato G, Ueshima H et al.	診療報酬センター	A nationwide survey on participation in cardiac rehabilitation among patients with coronary heart disease using health claims data in Japan	Scientific reports • 202110. 2021 Oct; 11(1):20096	Original Article
417	Kondoh H, Castellvi J, LLeonart ME.	地域ネットワーク医療部	Editorial: How Do Metabolism, Angiogenesis, and Hypoxia Modulate Resistance?	Frontiers in Oncology • 202104. 2021 Apr; 11:671222	Original Article
418	Mikawa T, Shibata E, Shimada M et al.	地域ネットワーク医療部	Characterization of genetically modified mice for phosphoglycerate mutase, a vitally-essential enzyme in glycolysis	PLOS ONE • 202104. 2021 Apr; 16(4):e0250856	Original Article
419	Kameda M, Teruya T, Yanagida M et al.	地域ネットワーク医療部	Reduced uremic metabolites are prominent feature of sarcopenia, distinct from antioxidative markers for frailty	Aging • 202109. 2021 Sep; 13(17):20915–20934	Original Article

420	Kogame T, Kambe N, Takimoto-Ito R et al.	総合臨床教育・研修センター	Skin-associated lymphoid tissue could be a sign of systemic disease: reply from authors	British Journal of Dermatology•202107. 2021 Jul; 185(1):233–234	Original Article
421	Shimada S, Yamada T, Kosugi S.	倫理支援部	[Factors Influencing the Decision-Making Process in Secondary Findings Disclosure in Next-Generation Sequencing—A Literature Review]	癌と化学療法•2021. 2021 May; 48(5):667–671	Original Article
422	Sasaki Y, Yamada T, Tanaka S et al.	倫理支援部	Evaluation of the clinical performance of noninvasive prenatal testing at a Japanese laboratory	The journal of obstetrics and gynaecology research•202108. 2021 Oct; 47(10):3437–3446	Original Article
423	Shimada S, Yamada T, Iwakuma M et al.	倫理支援部	Physicians' perceptions of the factors influencing disclosure of secondary findings in tumour genomic profiling in Japan: a qualitative study	European journal of human genetics : EJHG•202108. 2022 Jan; 30(1):88–94	Original Article
424	Yamaguchi Y, Yamada T, Goto M et al.	倫理支援部	Analysis of triptan use during pregnancy in Japan: A case series	Congenit Anom (Kyoto)•2021. 2022 Mar; 62(2):78–81	Original Article
425	Kato T.	先端医療研究開発機構	Cholinesterase: Conflicting Aspects of Two Cardiovascular Diseases	Internal Medicine•202104. 2021 Apr; 60(8):1143–1144	Original Article
426	Song X, Saito N, Morimoto T et al.	先端医療研究開発機構	Long-Term Impact of Diabetes Mellitus on Initially Conservatively Managed Patients With Severe Aortic Stenosis	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society•202106. 2021 Jun; 85(7):1083–1092	Original Article
427	Seko Y, Kato T, Yamaji Y et al.	先端医療研究開発機構	Clinical impact of left and right axis deviations with narrow QRS complex on 3-year outcomes in a hospital-based population in Japan	Sci Rep•202104. 2021 Apr; 11(1):8892	Original Article

428	Nagai Y, Kojima S, Kowa H et al.	先端医療研究開発機構	Kobe project for the exploration of newer strategies to reduce the social burden of dementia: a study protocol of cohort and intervention studies	BMJ open•202106. 2021 Jun;11(6):e050948	Original Article
429	Yamashita Y, Bikdeli B, Monreal M et al.	先端医療研究開発機構	Difference between Japanese and White patients with acute pulmonary embolism	Thromb Res. •202106. 2021 Aug;204:52–56	Original Article
430	Utsumi T, Horimatsu T, Nishikawa Y et al.	先端医療研究開発機構	Medical costs according to the stages of colorectal cancer: an analysis of health insurance claims in Hachioji, Japan	Journal of gastroenterology•202110. 2021 Oct;56(10):903–913	Original Article
431	Hanada K, Wada T, Kawada K et al.	先端医療研究開発機構	Effect of herbal medicine daikenchuto on gastrointestinal symptoms following laparoscopic colectomy in patients with colon cancer: A prospective randomized study	Biomedicine & pharmacotherapy = Biomedecine & pharmacotherapie•202107. 2021 Sep;141:111887	Original Article
432	Yamashita Y, Morimoto T, Kadota K et al.	先端医療研究開発機構	Severity of pulmonary embolism at initial diagnosis and long-term clinical outcomes: From the COMMAND VTE Registry	Int J Cardiol. •202109. 2021 Nov;343:107–113	Original Article
433	Seko Y, Kato T, Yamaji Y et al.	先端医療研究開発機構	Discrepancy between left ventricular hypertrophy by echocardiography and electrocardiographic hypertrophy: clinical characteristics and outcomes	Open Heart•202109. 2021 Sep;8(2):e001765	Original Article

434	Nagai S.	先端医療研究開発機構	Regulatory hurdles for CAR T-cell therapy in Japan	The Lancet Haematology • 202110. 2021 Oct; 8(10):e686–e687	Original Article
435	Hoshino N, Hida K, Fukui Y et al.	先端医療研究開発機構	Relationship between diverting stoma and adjuvant chemotherapy in patients with rectal cancer: a nationwide study using the National Database of Health Insurance Claims and Specific Health Checkups of Japan	International journal of clinical oncology • 202203. 2022 Mar; 27(3):545–552	Original Article
436	Kajita H, Maeda K, Osaki T et al.	先端医療研究開発機構	The effect of a multimodal dementia prevention program involving community-dwelling elderly	Psychogeriatrics : the official journal of the Japanese Psychogeriatric Society • 202201. 2022 Jan; 22(1):113–121	Original Article
437	Nagao K, Kato T, Yaku H et al.	先端医療研究開発機構	Current use of inotropes according to initial blood pressure and peripheral perfusion in the treatment of congestive heart failure: findings from a multicentre observational study	BMJ Open • 202201. 2022 Jan; 12(1):e053254	Original Article
438	Shiba M, Kato T, Morimoto T et al.	先端医療研究開発機構	Changes in BNP levels from discharge to 6-month visit predict subsequent outcomes in patients with acute heart failure	PLOS One • 202201. 2022 Jan; 17(1):e0263165	Original Article
439	Kataoka M, Honda M, Ohashi A et al.	先端医療研究開発機構	Ultrafast Dynamic Contrast-enhanced MRI of the Breast: How Is It Used?	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine • 202203. 2022 Mar; 21(1):83–94	Original Article

440	Koga F, Kawaguchi Y, Shimokawa M et al.	次世代医療・iPS細胞治療 研究センター	Gemcitabine plus nab-paclitaxel in older patients with metastatic pancreatic cancer: A post-hoc analysis of the real-world data of a multicenter study (the NAPOLEON study)	Journal of geriatric oncology•202106. 2022 Jan;13(1):82–87	Original Article
441	Takahashi Y, Sunakawa Y, Inoue E et al.	次世代医療・iPS細胞治療 研究センター	Real-world effectiveness of nivolumab in advanced gastric cancer: the DELIVER trial (JACCRO GC-08)	Gastric Cancer•202201. 2022 Jan;25(1):235–244	Original Article
442	Shibuki T, Mizuta T, Shimokawa M et al.	次世代医療・iPS細胞治療 研究センター	Prognostic nomogram for patients with unresectable pancreatic cancer treated with gemcitabine plus nab-paclitaxel or FOLFIRINOX: A post-hoc analysis of a multicenter retrospective study in Japan (NAPOLEON study)	BMC cancer•202201. 2022 Jan;22(1):19	Original Article
443	Negishi R, Yamakawa H, Kobayashi T et al.	次世代医療・iPS細胞治療 研究センター	Transcriptomic profiling of single circulating tumor cells provides insight into human metastatic gastric cancer	Communications biology•202201. 2022 Jan;5(1):20	Original Article
444	Takaki K, Nakano M, Fukumori K et al.	次世代医療・iPS細胞治療 研究センター	Percutaneous Radiofrequency Ablation with or without Chemolipiodolization for Hepatocellular Carcinoma: A Propensity-Score-Matched Analysis	Journal of clinical medicine•202203. 2022 Mar;11(6):1483	Original Article

445	Kohno S, Furuta A, Arizono S et al.	先制医療・生活習慣病研究 センター	Imaging findings of granulocyte colony-stimulating factor-producing tumors: a case series and review of the literature	Japanese journal of radiology • 202109. 2021 Sep;39(9):857–867	Original Article
446	Senda N, Kawaguchi- Sakita N, Kawashima M et al.	先制医療・生活習慣病研究 センター	Optimization of prediction methods for risk assessment of pathogenic germline variants in the Japanese population	Cancer science • 202105. 2021 Aug;112(8):3338–3348	Original Article
447	Ohashi S, Maruno T, Fukuyama K et al.	先制医療・生活習慣病研究 センター	Visceral fat obesity is the key risk factor for the development of reflux erosive esophagitis in 40–69-years subjects	Esophagus : official journal of the Japan Esophageal Society • 202106. 2021 Oct;18(4):889–899	Original Article
448	Nakamura Y, Takada M, Imamura M et al.	先制医療・生活習慣病研究 センター	Usefulness and Prospects of Sentinel Lymph Node Biopsy for Patients With Breast Cancer Using the Medical Imaging Projection System	Frontiers in oncology • 2021. 2021 May; 11:674419	Original Article
449	Kuriyama K, Kodama Y, Shiokawa M et al.	先制医療・生活習慣病研究 センター	Essential role of Notch/Hes1 signaling in postnatal pancreatic exocrine development	Journal of gastroenterology • 202107. 2021 Jul;56(7):673–687	Original Article
450	Morita T, Kodama Y, Shiokawa M et al.	先制医療・生活習慣病研究 センター	Correction: CXCR4 in Tumor Epithelial Cells Mediates Desmoplastic Reaction in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Cancer research • 202106. 2021 Jun;81(12):3427	Original Article
451	Miyake KK, Kataoka M, Ishimori T et al.	先制医療・生活習慣病研究 センター	A Proposed Dedicated Breast PET Lexicon: Standardization of Description and Reporting of Radiotracer Uptake in the Breast	Diagnostics (Basel, Switzerland) • 202107. 2021 Jul;11(7):1267	Original Article

452	Yoshikawa T, Fukuda A, Omatsu M et al.	先制医療・生活習慣病研究 センター	Brg1 is required to maintain colorectal cancer stem cells	The Journal of pathology• 202107. 2021 Nov; 255(3):257–269	Original Article
453	Matsumori T, Uza N, Shiokawa M et al.	先制医療・生活習慣病研究 センター	Self-expandable metallic stent placement for malignant biliary stricture using a novel device delivery system	VideoGIE : an official video journal of the American Society for Gastrointestinal Endoscopy•202110. 2021 Aug; 6(10):468–471	Original Article
454	Nishikawa Y, Uza N, Hata K et al.	先制医療・生活習慣病研究 センター	Long-term Outcomes of Stent Placement Inside the Bile Duct for Biliary Strictures After Living Donor Liver Transplantation	Liver transplantation . official publication of the American Association for the Study of Liver Diseases and the International Liver Transplantation Society• 202107 2022 Jan.	Original Article
455	Muto M, Kikuchi O, Kanai M et al.	先制医療・生活習慣病研究 センター	[Research Support at the Clinical Bioresource Center in Kyoto University Hospital]	Jpn J Cancer Chemother• 202202. 2022 Feb; 49(2):133–138	Original Article
456	Tsujimura M, Kaku Y, Takeuchi Y et al.	クリニックバイオリソースセン ター	Maturing papillomatous nevoid melanoma in the scalp mimicking recurrent melanocytic nevus: A case report of previously undescribed subtype of nevoid melanoma	Pathology International• 202110. 2022 Jan; 72(1):59–64	Original Article
457	Shibuya R, Ishida Y, Hanakawa S et al.	クリニックバイオリソースセン ター	CCL2–CCR2 Signaling in the Skin Drives Surfactant– Induced Irritant Contact Dermatitis through IL-1 β – Mediated Neutrophil Accumulation	The Journal of investigative dermatology• 202109. 2022 Mar; 142(3 Pt A):571–582	Original Article
458	Takeuchi Y, Arakawa Y, Yokoo H et al.	クリニックバイオリソースセン ター	Intra-cerebellar schwannoma with various degenerative changes: a case report and a systematic review	BMC neurology•202202. 2022 Feb; 22(1):66	Original Article

459	Shima A, Maki T, Mimura N et al.	脳機能総合研究センター 神経機能回復・再生医学講 座(寄附)	A case of reversible cerebral vasoconstriction syndrome associated with anti- phospholipid antibody syndrome and systemic lupus erythematosus	eNeurologicalSci•202109. 2021 Jun;24:100351	Original Article
460	Onoue K, Yakami M, Nishio M et al.	脳機能総合研究センター 神経機能回復・再生医学講 座(寄附)	Temporal subtraction CT with nonrigid image registration improves detection of bone metastases by radiologists: results of a large-scale observer study	Scientific reports•202109. 2021 Sep;11(1):18422	Original Article
461	Sunadome H, Matsumoto H, Tohda Y et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Assessment of serum periostin level as a predictor of requirement for intensive treatment for type-2 inflammation in asthmatics in future: A follow-up study of the KiHAC cohort	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology•202104. 2021 Apr;70(2):252-254	Original Article
462	Nishi K, Matsumoto H, Tashima N et al.	呼吸管理睡眠制御学講座	Impacts of lipid- related metabolites, adiposity, and genetic background on blood eosinophil counts: the Nagahama study	Scientific reports•202107. 2021 Jul;11(1):15373	Original Article
463	Nakae K, Masui S, Yonezawa A et al.	リウマチ性疾患先進医療学 講座(寄附)	Potential application of measuring serum infliximab levels in rheumatoid arthritis management: A retrospective study based on KURAMA cohort data	PloS one•2021. 2021 Oct; 16(10):e0258601	Original Article
464	Tanaka M.	リウマチ性疾患先進医療学 講座(寄附)	Conflict between efficacy and economy in rheumatoid arthritis treatment: Iguratimod is found at a compromise	The Lancet Regional Health – Western Pacific• 202105. 2021 Apr; 10:100144	Original Article

465	Minamino H, Katsushima M, Hashimoto M et al.	リウマチ性疾患先進医療学 講座(寄附)	Influence of dietary habits on depression among patients with rheumatoid arthritis: A cross-sectional study using KURAMA cohort database	PloS one•2021. 2021 Aug;16(8):e0255526	Original Article
466	Minamino H, Katsushima M, Torii M et al.	リウマチ性疾患先進医療学 講座(寄附)	Serum vitamin D status inversely associates with a prevalence of severe sarcopenia among female patients with rheumatoid arthritis	Scientific reports•202110. 2021 Oct;11(1):20485	Original Article
467	Uda M, Hashimoto M, Uozumi R et al.	リウマチ性疾患先進医療学 講座(寄附)	Factors associated with anxiety and depression in rheumatoid arthritis patients: a cross- sectional study	Advances in rheumatology (London, England)• 202110. 2021 Oct; 61(1):65	Original Article
468	Uda M, Hashimoto M, Uozumi R et al.	リウマチ性疾患先進医療学 講座(寄附)	Correction to: Factors associated with anxiety and depression in rheumatoid arthritis patients: a cross- sectional study	Advances in rheumatology (London, England)• 202112. 2021 Dec; 61(1):73	Original Article
469	Takada H, Kaneko Y, Nakano K et al.	リウマチ性疾患先進医療学 講座(寄附)	Clinicopathological characteristics of lymphoproliferative disorders in 232 patients with rheumatoid arthritis in Japan: A retrospective, multicenter, descriptive study	Modern Rheumatology• 202104. 2022 Jan; 32(1):32-40	Original Article
470	Ito H, Murata K, Sobue Y et al.	リウマチ性疾患先進医療学 講座(寄附)	Comprehensive risk analysis of postoperative complications in patients with rheumatoid arthritis for the 2020 update of the Japan College of Rheumatology clinical practice guidelines for the management of rheumatoid arthritis	Modern rheumatology• 202108. 2022 Feb; 32(2):296-306	Original Article
471	Watanabe R, Hashimoto M, Murata K et al.	リウマチ性疾患先進医療学 講座(寄附)	Prevalence and predictive factors of difficult-to-treat rheumatoid arthritis: the KURAMA cohort	Immunological medicine• 202105. 2022 Mar; 45(1):35-44	Original Article

472	Itaya T, Torii M, Hashimoto M et al.	リウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	Perceptions and behaviours related to COVID-19 in patients with rheumatoid arthritis: a cross-sectional study	Clinical rheumatology•202201. 2022 Jan; 41(1):45–51	Original Article
473	Ebina K, Hirano T, Maeda Y et al.	リウマチ性疾患先進医療学講座(寄附)	Factors affecting drug retention of Janus kinase inhibitors in patients with rheumatoid arthritis: the ANSWER cohort study	Scientific reports•202201. 2022 Jan; 12(1):134	Original Article
474	Deguchi H, Yamazaki H, Kamitani T et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Impact of Vonoprazan Triple-Drug Blister Packs on <i>H. pylori</i> Eradication Rates in Japan: Interrupted Time Series Analysis	Advances in therapy•202106. 2021 Jul; 38(7):3937–3947	Original Article
475	Nagamine Y, Kamitani T, Yamazaki H et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Poor oral function is associated with loss of independence or death in functionally independent older adults	PloS one•2021. 2021 Jun; 16(6):e0253559	Original Article
476	Kawamura H, Ogawa Y, Yamazaki H et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Impact of Primary Tumor Resection on Mortality in Patients with Stage IV Colorectal Cancer with Unresectable Metastases: A Multicenter Retrospective Cohort Study	World journal of surgery•202110. 2021 Oct; 45(10):3230–3239	Original Article
477	Kashiwa A, Hosaka Y, Takahashi K et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Pueraria mirifica, an estrogenic tropical herb, unveiled the severity of Type 1 LQTS caused by KCNQ1-T587M	Journal of arrhythmia•202108. 2021 Jun; 37(4):1114–1116	Original Article
478	Asonuma K, Kobayashi T, Nakano M et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Residual Short-Segment Distal Inflammation Has No Significant Impact on the Major Relapse of Extensive Ulcerative Colitis	Inflammatory bowel diseases•202104. 2022 Feb; 28(2):200–207	Original Article

479	Hirose S, Murayama T, Tetsuo N et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Loss-of-function mutations in cardiac ryanodine receptor channel cause various types of arrhythmias including long QT syndrome	Europace : European pacing, arrhythmias, and cardiac electrophysiology : journal of the working groups on cardiac pacing, arrhythmias, and cardiac cellular electrophysiology of the European Society of Cardiology•202203. 2022 Mar;24(3):497-510	Original Article
480	Wagner R, Eckstein SS, Yamazaki H et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Metabolic implications of pancreatic fat accumulation	Nature Reviews Endocrinology•202110. 2022 Jan;18(1):43-54	Original Article
481	Hijikata Y, Kamitani T, Nakahara M et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Development and internal validation of a clinical prediction model for acute adjacent vertebral fracture after vertebral augmentation : the AVA score	The bone & joint journal•202201. 2022 Jan;104-B(1):97-102	Original Article
482	Suzuki K, Sonoda K, Aoki H et al.	地域医療システム学講座(寄附)	Association Between Deleterious SCN5A Variants and Ventricular Septal Defect in Young Patients With Brugada Syndrome	JACC. Clinical electrophysiology•202203. 2022 Mar;8(3):297-305	Original Article
483	Kuriyama S, Hamamoto Y, Arai R et al.	運動器機能再建学講座(寄附)	Anatomical evaluation of the femoral attachment of the posterior oblique ligament	Archives of orthopaedic and trauma surgery•202106. 2021 Jun; 141(6):1035-1041	Original Article
484	Nigoro K, Ito H, Kawata T et al.	運動器機能再建学講座(寄附)	Differential Contribution of the Medial and the Lateral Side of the Joint to Symptoms in Knee Osteoarthritis: A Radiographic and Laboratory Analysis in the Nagahama Study	Cartilage•202107. 2021 Dec;13(1_suppl):1648S-1657S	Original Article
485	Murase K, Azuma M, Tachikawa R et al.	呼吸不全先進医療講座(产学共同)	Prospective associations of sleep apnea, periodic limb movements, and plasma fibrinogen level	Sleep & breathing = Schlaf & Atmung•202106. 2021 Jun;25(2):617-625	Original Article

486	Tanabe N, Matsumoto H, Hamada S et al.	呼吸不全先進医療講座(产学共同)	Dupilumab maintenance therapy in an asthmatic patient with coronavirus disease 2019 pneumonia	Allergology international : official journal of the Japanese Society of Allergology•202104. 2021 Apr; 70(2):274–276	Original Article
487	Hamada S, Tanabe N, Hirai T.	呼吸不全先進医療講座(产学共同)	Speech Sounds and the Production of Droplets and Aerosols	Internal medicine (Tokyo, Japan)•202105. 2021 May; 60(10):1649–1650	Original Article
488	Hira D, Hamada S, Terada T.	呼吸不全先進医療講座(产学共同)	Therapeutic drug monitoring of inhaled corticosteroids in exhaled breath for adherence assessment	The journal of allergy and clinical immunology. In practice•202112. 2021 Dec; 9(12):4507	Original Article
489	Hamada S, Tanabe N, Inoue H et al.	呼吸不全先進医療講座(产学共同)	Is High-Flow Nasal Cannula Oxygen Therapy an Aerosol-Generating Medical Procedure?	Archivos de bronconeumologia•202109. 2021 Sep; 57(9):601–602	Original Article
490	Onuma K, Sato Y, Okuyama H et al.	クリニカルバイオリソース研究開発講座(产学共同)	Aberrant activation of Rho/ROCK signaling in impaired polarity switching of colorectal micropapillary carcinoma	The Journal of Pathology•202106. 2021 Sep; 255(1):84–94	Original Article
491	Neshige S, Hitomi T, Tojima M et al.	てんかん・運動異常生理学講座(产学共同)	A Role of Aging in the Progression of Cortical Excitability in Benign Adult Familial Myoclonus Epilepsy type 1 Patients	Movement disorders : official journal of the Movement Disorder Society•202107. 2021 Oct; 36(10):2446–2448	Original Article
492	Kobayashi K, Matsumoto R, Usami K et al.	てんかん・運動異常生理学講座(产学共同)	Cortico-cortical evoked potential by single-pulse electrical stimulation is a generally safe procedure	Clinical neurophysiology : official journal of the International Federation of Clinical Neurophysiology•202105. 2021 May; 132(5):1033–1040	Original Article
493	Inada T, Kobayashi K, Kikuchi T et al.	てんかん・運動異常生理学講座(产学共同)	Effects of a stable concentration of propofol on interictal high-frequency oscillations in drug-resistant epilepsy	Epileptic disorders : international epilepsy journal with videotape•202104. 2021 Apr; 23(2):299–312	Original Article

494	Tojima M, Hitomi T, Matsuhashi M et al.	てんかん・運動異常生理学講座(産学共同)	A Biomarker for Benign Adult Familial Myoclonus Epilepsy: High-Frequency Activities in Giant Somatosensory Evoked Potentials	Movement disorders : official journal of the Movement Disorder Society. 202105. 2021 Oct;36(10):2335–2345	Original Article
495	Yamao Y, Matsumoto R, Kunieda T et al.	てんかん・運動異常生理学講座(産学共同)	Effects of propofol on cortico-cortical evoked potentials in the dorsal language white matter pathway	Clinical neurophysiology : official journal of the International Federation of Clinical Neurophysiology. 202106. 2021 Aug; 132(8):1919–1926	Original Article
496	Koganemaru S, Mizuno F, Takahashi T et al.	てんかん・運動異常生理学講座(産学共同)	Event-Related Desynchronization and Corticomuscular Coherence Observed During Volitional Swallow by Electroencephalography Recordings in Humans	Frontiers in human neuroscience. 2021. 2021 Nov;15:643454	Original Article
497	Maezawa H, Fujimoto M, Hata Y et al.	てんかん・運動異常生理学講座(産学共同)	Functional cortical localization of tongue movements using corticokinematic coherence with a deep learning-assisted motion capture system	Scientific reports. 202201. 2022 Jan;12(1):388	Original Article
498	Kishimoto AO, Kataoka M, Iima M et al.	高度医用画像学講座(産学共同)	Evaluation of Malignant Breast Lesions Using High-resolution Readout-segmented Diffusion-weighted Echo-planar Imaging: Comparison with Pathology	Magnetic resonance in medical sciences : MRMS : an official journal of Japan Society of Magnetic Resonance in Medicine. 202106. 2021 Jun; 20(2):204–215	Original Article
499	Otani S, Himoto Y, Nishio M et al.	リアルワールドデータ研究開発講座(産学共同)	Radiomic machine learning for pretreatment assessment of prognostic risk factors for endometrial cancer and its effects on radiologists' decisions of deep myometrial invasion	Magnetic resonance imaging. 202201. 2022 Jan;85:161–167	Original Article

500	Masui T, Nagai K, Anazawa T et al.	リアルワールドデータ研究開 発講座(産学共同)	Impact of neoadjuvant intensity-modulated radiation therapy on borderline resectable pancreatic cancer with arterial abutment; a prospective, open- label, phase II study in a single institution	BMC cancer•202201. 2022 Jan;22(1):119	Original Article
501	Yamada A, Nishio M, Maruno T et al.	臨床情報腫瘍学講座(寄附)	Safety of esophagogastroduode noscopy in individuals harboring unruptured intracranial aneurysms	European Journal of Gastroenterology & Hepatology•202105. 2021 May;33(5):765–766	Original Article
502	Yamada A, Matsuoka Y, Minamiguchi S et al.	臨床情報腫瘍学講座(寄附)	Real-world outcome of universal screening for Lynch syndrome in Japanese patients with colorectal cancer highlights the importance of targeting patients with young-onset disease	Molecular and clinical oncology•202112. 2021 Dec;15(6):247	Original Article 計502件

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めること(筆頭著者が当該特定機能

3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 卷数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の主な内容 医の倫理委員会会議録の作成 医の倫理委員会作業手順書、委員名簿、及び会議録概要等の公表 研究者等への教育研修 医の倫理委員会委員及び事務局員への教育研修 年次報告及び中止・終了報告 研究者、研究責任者及び研究機関の長の責務 試料・情報の保管及び他の機関等の試料・情報の利用等 迅速審査に関する手順 多機関共同研究についての事務手続き及び審査の方針 重篤な有害事象・安全性情報の報告 専門小委員会の運用にかかる手順書 不適合に関する報告 中央倫理審査委員会としての一括審査 外部機関の倫理委員会への審査依頼 	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年12回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
 2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 規定の主な内容 利益相反マネジメントの原則、利益相反審査に係る審議体制・手続き等 	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年4回
<p>・研修の主な内容</p> <p>臨床研究等倫理講習会：2021年度 臨床研究等倫理講習会 「開会挨拶（新指針について）」 「研究に関するインフォームドコンセントについて」 「同意書とDocuMakerとの連携について 京都大学医学部附属病院臨床研究書類管理の注意点」 「中央一括審査における注意点」 *コロナウイルス感染拡大を考慮し、e-learningを利用し、通年閲覧可能とした。</p> <p>倫理審査委員教育研究会 2021年度 第1回 「開会挨拶（新指針について）」 「研究に関するインフォームドコンセントについて」 「同意書とDocuMakerとの連携について 京都大学医学部附属病院臨床研究書類管理の注意点」 「中央一括審査における注意点」 2021年度 第2回 「生命科学・医学系指針の概要」「新倫理指針に係る対応について」 2021年度 第3回 「臨床科学概論（クリニカルサイエンス 一原理と実践一）」</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

京大病院では、単に自立して診療ができるだけでなく、将来的にその領域でリーダーシップがとれるような実力のある専門医の養成をめざしている。

こうした専門医になるためには、固定化した医療環境で、漫然と日常診療をこなすだけでは不十分であり、系統的なプログラムにもとづき、優れた指導医のもとで、さまざまな医療環境を経験することが必要となる。

京大病院は、レベルの高い魅力的な第一線の医療機関が関連病院としてリンクしていることで有名であり、活発に人事交流することが実力のある臨床医を育成する原動力になっている。プログラムは、こうしたアクティビティの高い病院での修練が包括されたものとなっている。その中で大学においては若い医師たちが真摯で刺激的なディスカッションを重ねながら、挑戦的で先進的な課題に取り組む環境が形成されており、京大病院の実績と力に結びついている。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	299人
-------------	------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
北脇 年雄	血液内科	助教	27年	
尾野 亘	循環器内科	准教授	32年	
宇座 徳光	消化器内科	講師	24年	
平井 豊博	呼吸器内科	教授	34年	
森信 晓雄	免疫・膠原病内科	教授	34年	
横井 秀基	腎臓内科	講師	28年	
小倉 雅仁	糖尿病・内分泌・栄養内科	助教	22年	
葛谷 聰	脳神経内科	准教授	26年	
小濱 和貴	消化管外科	教授	27年	
戸井 雅和	乳腺外科	教授	40年	
高田 正泰	乳腺外科	准教授	21年	
田浦 康二朗	肝胆膵・移植外科	准教授	28年	
増井 俊彦	小児外科	准教授	28年	

後藤 公志	整形外科	准教授	28年	
吉田 和道	脳神経外科	准教授	28年	
湊谷 謙司	心臓血管外科	教授	36年	
森本 尚樹	形成外科	教授	29年	
伊達 洋至	呼吸器外科	教授	38年	
上田 奈央子	眼科	特定病院助教	22年	
堀江 昭史	産科婦人科	講師	23年	
滝田 順子	小児科	教授	31年	
桟島 健治	皮膚科	教授	26年	
赤松 秀輔	泌尿器科	准教授	21年	
大森 孝一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授	38年	
磯部 昌憲	精神科神経科	助教	17年	
川本 修司	麻酔科	助教	18年	
吉村 通央	放射線治療科	講師	25年	
中本 裕士	放射線診断科	教授	31年	
長尾 美紀	検査部・感染制御部	教授	23年	
羽賀 博典	病理診断科	教授	31年	
大鶴 繁	救急科	教授	25年	
金井 雅史	腫瘍内科	准教授	28年	
別所 和久	歯科口腔外科	教授	39年	
橋本 教正	緩和医療科	特定病院助教	12年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）	
1. 研修の主な内容	薬剤師を対象に、調剤業務・病棟薬剤師業務、医薬品安全管理についての知識・技能を修得するための講義研修および症例検討会、臨床上の課題を発見・解決する能力を養うためのセミナーを実施した。
研修の期間・実施回数	2021/4/1～2022/3/31 計51回
研修の参加人数	各15～30名
2. 研修の主な内容	<p>「看護部IVナース認定プログラム」に基づき、下記対象者に下記講義と演習・試験を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①レベルⅡ（新規入職看護師対象）に薬剤・安全管理・感染管理・CVポート・PICCの管理・テープ固定時の皮膚障害予防、末梢血管確保・CVポート穿刺演習 ②レベルⅢ（レベルⅡを指導する者対象；インストラクター）に輸液管理・生物学的製剤・UKカテーテル・輸血管理・アナフィラキシー・造影剤・IVインストラクター講習 ③レベルIV（レベルⅢ認定者対象）抗がん薬の基礎知識、抗がん薬投与における末梢静脈穿刺 <p>研修の期間・実施回数 886時間25分、344回（在宅研修・動画講義を含む）</p> <p>研修の参加人数 のべ524名</p>
3. 研修の主な内容	<p>下記の対象者研修を実施した。</p> <p>4/1採用者研修・中途採用者研修・勤務復帰者研修、新人看護師・卒後2年看護師・卒後3年看護師・卒後4年看護師研修・クリニカルコーチ研修・教育担当副師長研修等を行った。</p> <p>研修の期間・実施回数 1037時間05分、419回（在宅研修・オンラインライブ研修・動画講義を含む）</p> <p>研修の参加人数 のべ3,047名</p>
4. 研修の主な内容	ICU・CCU/HCU新規入職看護師を対象に「透析看護認定研修」として、「腎不全の病態と血液浄化療法」「血液浄化療法の記録」「血液浄化療法中の看護」「血液浄化療法について」「血液浄化療法の実際」についての講義・演習・試験を実施した。
研修の期間・実施回数	59時間30分、43回（動画講義視聴を含む）
研修の参加人数	のべ60名

5. 研修の主な内容	<p>検査部の新規採用職員と全職員を対象に、以下の研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新規採用職員を対象の研修 <ul style="list-style-type: none"> ①事務手続き ②当院の概要 ③接遇関連 ④検査部について ⑤臨床検査について ⑥精度管理とIS015189 ⑦外来採血室（RFID）と患者対応 ○全職員を対象の研修 <ul style="list-style-type: none"> ⑧ISO必修トレーニング <ul style="list-style-type: none"> ・品質マネジメントシステム ・医療安全の講習会（病院指定 年2回） ・感染対策の講習会（病院指定 年2回） ・災害対策 ・倫理 ・化学物質の取り扱い ・廃棄物の処理 <p>研修の期間・実施回数 各年1回（①～⑤・⑦2021/4/1 ⑥2021/6/10 ⑧2021/4/1～2022/3/31）</p> <p>研修の参加人数 ①～⑦各3名 ⑧129名（新型コロナ感染拡大防止のため、今回は各自web）</p>
6. 研修の主な内容	<p>診療放射線技師を対象に、以下の研修会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①Let's create a new era together! -2nd season- ②業務改善とISO活動2 ③技師法改正と告示研修 ④交代勤務から組織文化を考える -perfusionに生食は必要か? - ⑤安全衛生管理と職場環境 ⑥CFTって何?-今年できたCFT みんなに理解してもらうために- ⑦2021年度 放射線部 インシデントレポート解析告示研修、実技研修について ⑧事故がなくなる理由 -心理学の観点から- <p>研修の期間・実施回数 各30分、8回</p> <p>①2021/4/22 ②2021/5/6 ③2021/7/15 ④2021/9/2 ⑤2021/9/9 ⑥2021/9/30 ⑦2021/11/25 ⑧2022/2/17</p> <p>研修の参加人数 ①44名 ②36名 ③37名 ④39名 ⑤33名 ⑥30名 ⑦27名 ⑧23名</p>

7. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に、以下の診療業務に関する研修を行った。 ①もうすぐ始まる！？ ¹⁷⁷ Lu-DOTATATE、 ¹⁷⁷ Lu-PSMA内用療法 ②放射線治療の品質管理 -出力線量評価を中心に - ③デンタル撮影について ④脳血流SPECT検査の紹介 ~当院の脳血流定量検査法について~ ⑤乳房放射線治療計画はじめました ⑥腫瘍の再発を疑う症例のMR画像 ⑦出張撮影のおさらいとちょっとポイント ⑧ポータブル撮影時のトラブル対応 ⑨Cone beam CTにおける金属アーチファクト低減処理の効果と管電圧による違い ⑩Dedicated Breast Positron Emission Tomography Image Denoising Using a Residual Neural Network ⑪構造的類似性指標を用いた心臓CTにおける画像再構成関数の再考
研修の期間・実施回数	各30分、11回 ①2021/5/13 ②2021/5/27 ③2021/6/10 ④2021/6/17 ⑤2021/7/1 ⑥2021/7/8 ⑦2021/8/5 ⑧2021/8/26 ⑨2022/2/10 ⑩2022/2/24 ⑪2022/3/3
研修の参加人数	①36名 ②40名 ③42名 ④41名 ⑤40名 ⑥36名 ⑦45名 ⑧41名 ⑨25名 ⑩19名 ⑪10名
8. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に、国立がん研究センター中央病院人事交流成果報告を実施した。
研修の期間・実施回数	30分、1回 (2022/2/18)
研修の参加人数	41名
9. 研修の主な内容	診療放射線技師を対象に、以下の他大等との学術交流会を実施した。 ①京大・東大・がんセンター放射線先端学術交流会「当院における臨床研究を始めるための倫理申請について」「Surface guided radiation therapyの今と未来」「MR装置一体型放射線治療装置」「最新型PET-CT (SIEMENS/Biograph Vision) の導入と運用」「外科医が求める3D画像を実現するテクニック～胃癌を中心に～」 ②京大・京都府立医大・滋賀医大診療放射線技師学術交流会「診療放射線技師が知っておきたい医療情報」「当院の検像システムの特徴について」「京大病院における 診断系 RIS の活用とシステム更新」
研修の期間・実施回数	①120分 (2021/9/16) ②60分(2022/1/25)
研修の参加人数	①45名 ②41名
10. 研修の主な内容	看護師・臨床工学技士を対象に、人工呼吸器・血液浄化・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置・閉鎖式保育器・新規医療機器の安全な使用方法について実施した。
研修の期間・実施回数	計46回 (2021/4/1～2022/3/31) 及びe-ラーニング
研修の参加人数	2,571名

11. 研修の主な内容	研究の主な内容：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を対象に、がんのリハビリテーションや骨転移（症状や経過、禁忌事項）についての研修を実施した。
研修の期間・実施回数	60分、1回（2021/9/27）
研修の参加人数	37名
12. 研修の主な内容	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を対象に、循環機能の評価や循環機能低下に対するリハビリテーション（運動時の注意事項など）についての研修を実施した。
研修の期間・実施回数	60分、1回（2021/10/25）
研修の参加人数	36名
13. 研修の主な内容	研究の主な内容：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を対象に、気管切開術（手技や合併症、術後の管理方法）とカニューレ管理（カニューレの種類やリハビリテーション介入中に起こるリスク）についての研修を実施した。
研修の期間・実施回数	60分、1回（2021/11/22）
研修の参加人数	37名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）	
1. 研修の主な内容	薬剤師を対象に、医薬品情報管理に関する研修を実施した。
研修の期間・実施回数	2021/4/1～2022/3/31 計11回
研修の参加人数	各30～40名
2. 研修の主な内容	看護師を対象に、管理者研修を実施した。
研修の期間・実施回数	5時間00分、2回
研修の参加人数	のべ6名
3. 研修の主な内容	<p>検査部の職員を対象に、以下の研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①AED説明会 ②脳波検査時のアルコールの取り扱い ③コールドルームの緊急脱出訓練 ④精度管理結果是正 ⑤品質文書齟齬の是正について ⑥核酸同定検査の内部精度管理の手順の改訂（微生物） ⑦内部監査 ⑧出血時間 ⑨時間外凝固検査分析装置説明 ⑩脳波検査時の表皮からの出血対応 ⑪GL3説明会 ⑫感受性試験に再確認手順について ⑬新型コロナPCR結果判明までの生理機能検査の注意点
研修の期間・実施回数	<p>各1回（③のみ3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ①2021/8/27 ②2021/8/16 ③2021/8/30～9/6 ④2021/9/7 ⑤2021/9/27 ⑥2021/10/1 ⑦2021/10/5 ⑧2021/11/8 ⑨2021/11/22 ⑩2021/12/22 ⑪2022/1/31 ⑫2022/3/29 ⑬2022/2/17
研修の参加人数	<ul style="list-style-type: none"> ①22名 ②22名 ③のべ28名 ④8名 ⑤10名 ⑥8名 ⑦4名 ⑧30名 ⑨35名 ⑩20名 ⑪29名 ⑫8名 ⑬22名
4. 研修の主な内容	<p>診療放射線技師を対象に、以下の業務管理に対する研修を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総務管理 ・医療安全管理 ・感染対策管理 ・情報管理 ・学術法規・火災管理 ・治験・臨床研究管理 ・人材育成管理
研修の期間・実施回数	2回（2021/4/1, 2）
研修の参加人数	各6名
5. 研修の主な内容	医療器材部職員を対象に臨床工学技士の業務範囲追加に伴う厚生労働大臣指定による研修（基礎研修）
研修の期間・実施回数	e-ラーニング
研修の参加人数	各2名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の状況

- ・研修の主な内容
- ・研修機関・実施回数
- ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に關し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 宮本 享	
管理担当者氏名	薬剤部長 寺田 智祐 医務課長 西井 美歩 医療サービス課長 山本 誠 感染制御部長 長尾 美紀	総務課長 一條 敬一 医療安全管理室長 松村 由美 医療情報企画部長 黒田 知宏 医療器材部長 万代 昌紀

規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	保管場所	管 理 方 法
病院日誌	総務課	・カルテは電子カルテと紙カルテの2種類を管理及び保管している。
各科診療日誌	医療情報企画部 ・医務課	・2005年に電子カルテを導入しており、それ以前の紙カルテについては20年の保存期間を設けて病歴管理室にて保管している。また、紙媒体で生成される各種検査資料及び同意書等については、原則、電子印章付きのスキャナで取り込み、電子データを原本として電子カルテに保存している。
処方せん	薬剤部	
手術記録	医療情報企画部 ・医務課	
看護記録	医療情報企画部 ・医務課	
検査所見記録	医療情報企画部 ・医務課	
エックス線写真	医療情報企画部 ・医務課	
紹介状	医療情報企画部 ・医務課	
退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療情報企画部 ・医務課	・画像フィルムは、2013年4月に全てのモダリティのフィルムレス化を実施しており、それ以降原則、現物保管はしていない。 ・カルテを病院外に持ち出すことは個人情報保護のため認めていない。
規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	保管場所	管 理 方 法
従業者数を明らかにする帳簿	総務課	パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。
高度の医療の提供の実績	医務課	
高度の医療技術の開発及び評価の実績	医務課	
高度の医療の研修の実績	総務課	
閲覧実績	総務課	
紹介患者に対する医療提供の実績	医務課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医務課・薬剤部	
規則第二十二条の三第十一項に掲げる事項	保管場所	管 理 方 法
医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理室・医療サービス課	パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。
医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理室・医療サービス課	
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理室・医療サービス課	
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	医療安全管理室・医療サービス課	

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部 パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部・医療サービス課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部・医療サービス課
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部・医療サービス課
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要な未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医療器材部
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療器材部・医療サービス課
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療器材部
		医療機器の安全使用のために必要な情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療器材部

		保管場所	管理方法
規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理室・医療サービス課	パソコンの電子ファイルおよび紙媒体で管理
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医療サービス課	
	医薬品安全管理責任者の業務実施状況	医療サービス課	
	医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療サービス課	
	診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医務課	
	医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理室・医療サービス課	
	高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課	
	未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療サービス課	
	監査委員会の設置状況	総務課	
	入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室・医療サービス課	
	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理室・医療サービス課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理室・医療サービス課	
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務課	
	職員研修の実施状況	医療サービス課	
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療サービス課	
	管理者が有する権限に関する状況	総務課	
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	監査室・医療サービス課	
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
閲覧責任者氏名	事務部長 久保 公四郎
閲覧担当者氏名	総務課長 一條 敬一
閲覧の求めに応じる場所	総務課内

閲覧の手続の概要

1. 閲覧申込 総務課
2. 承認者 事務部長
3. 閲覧方法 指定した日時総務課内
4. 返却方法 当日総務課へ返却

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
閲 覧 者 別	医師 延 0 件
	歯科医師 延 0 件
	国 延 0 件
	地方公共団体 延 0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本理念 2. 組織と体制 3. 医療事故収集とサーベイランス 4. 重大事故発生時の報告体制 5. 安全管理に係る研修の実施 6. マニュアル・対応指針等の作成 7. 診療情報等の共有と開示 8. 患者及び家族からの相談等への対応 9. その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 設置の有無 (有・無) ・ 開催状況 : 年12回 ・ 活動の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1. 本院における医療事故の防止及び医療の安全性確保に関すること。 2. 本院において重大な問題その他、委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合における、速やかな原因究明のための調査及び分析に関すること。 3. 2. の分析の結果を活用した、医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の立案及び実施、並びに職員等への周知に関すること。 4. 3. の改善の方策の実施の状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しに関すること。 5. 医療に係る安全管理のため、職員等の医療の安全に関する意識、他の職員等と相互に連携して業務を行うことについての認識、業務を安全に行うための技能の向上等を目的として、医療に係る安全管理のための基本的な事項及び具体的な方策についての職員等研修に関すること。 6. 医療に関する安全管理指針の策定及び変更に関すること。 7. その他医療安全管理に関すること。 	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年6回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容 (すべて) : <ol style="list-style-type: none"> 1. 『「確認」とは何か?』 2. 『特定機能病院として職員研修で周知が求められている項目』 3. 『せん妄を正しく知って対策しよう』 4. 『投薬の安全性を改善する』 5. 『暴言・暴力事件に関する対応方法』 6. 『医療安全管理体制』 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善の方策の主な内容 : <ol style="list-style-type: none"> 1. 各種安全管理マニュアル・指針等の整備と運用状況のモニター、改訂作業 2. 安全に関する部門連携・委員会活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療安全管理委員会の定期開催 ・ リスクマネージャー会議の定期開催 ・ 医療安全、医薬品安全管理、医療機器安全管理、医療放射線安全管理に関する小委員会の定期開催 	

- ・多職種間（部門横断的）インシデント検討会の定期開催
 - ・各種WG開催
 - ・高難度医療・未承認医薬品等管理室との連携
3. 職員への安全教育
- ・e-learning、院内事例報告会
 - ・医療安全ニュース、周知依頼事項の配信
 - ・リスクマネージャーメールマガジンの発行

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染対策に関する基本方針 ・ 感染対策組織の概要 ・ 関連委員会及び会議の開催 ・ 感染制御部（ICT）の業務内容、教育、サーベイランス等 ・ 感染アウトブレイク（集団発生）時の対応 									
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年69回								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>1. 院内感染対策委員会</td> <td>1回/月 (必要に応じて随時開催)</td> </tr> <tr> <td>2. 感染対策業務会議</td> <td>2回/年 (必要に応じて随時開催)</td> </tr> <tr> <td>3. リンクナース会議</td> <td>9回/年 (感染対策業務会議を含む)</td> </tr> <tr> <td>4. ICT・ASTカンファレンス</td> <td>1回/週 (必要に応じて随時開催)</td> </tr> </table> 	1. 院内感染対策委員会	1回/月 (必要に応じて随時開催)	2. 感染対策業務会議	2回/年 (必要に応じて随時開催)	3. リンクナース会議	9回/年 (感染対策業務会議を含む)	4. ICT・ASTカンファレンス	1回/週 (必要に応じて随時開催)	
1. 院内感染対策委員会	1回/月 (必要に応じて随時開催)								
2. 感染対策業務会議	2回/年 (必要に応じて随時開催)								
3. リンクナース会議	9回/年 (感染対策業務会議を含む)								
4. ICT・ASTカンファレンス	1回/週 (必要に応じて随時開催)								
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年18回								
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>院内感染対策e-learning</td> <td>3種類</td> </tr> <tr> <td>抗菌薬に関するe-learning</td> <td>2種類</td> </tr> <tr> <td>感染対策業務会議内の研修</td> <td>1種類</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルスに関する研修</td> <td>12種類</td> </tr> </table> 	院内感染対策e-learning	3種類	抗菌薬に関するe-learning	2種類	感染対策業務会議内の研修	1種類	新型コロナウイルスに関する研修	12種類	
院内感染対策e-learning	3種類								
抗菌薬に関するe-learning	2種類								
感染対策業務会議内の研修	1種類								
新型コロナウイルスに関する研修	12種類								
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ・ その他の改善の方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 1. 感染対策サーベイランスの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 菌剤耐性菌サーベイランス ・ 中心静脈カテーテル関連血流感染（CLABSI）サーベイランス ・ カテーテル由来血流感染（CRBSI）サーベイランス ・ 手術部位感染サーベイランス ・ 抗菌薬サーベイランス ・ 手指消毒剤使用量サーベイランス ・ 手指衛生モニタリング 2. 職業感染防止及び血液体液曝露後の対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入職時の抗体価確認（B型肝炎、麻疹、水痘、ムンプス、風疹） ・ ワクチン接種（B型肝炎、インフルエンザ、麻疹、水痘、風疹、ムンプス） ・ 針刺し防止マニュアル作成・周知、針刺し防止器材の積極的な導入 ・ 職業感染曝露後の対応 <ul style="list-style-type: none"> - 針刺し、血液・体液曝露対応（検査、ワクチン、グロブリン、予防投薬等） - 結核（IGRA：インターフェロン-γ遊離試験、予防投薬） - 小児ウイルス性疾患（抗体確認、緊急ワクチン接種、休務規定） - インフルエンザ（検査、休務規定、予防投薬） ・ 結核感染高リスク部署の職員への結核定期検診 ・ 透析スタッフへの肝炎検査 3. 新型コロナウイルス対策 <ul style="list-style-type: none"> ・ 週に2回、病院長を中心に執行部・感染制御部によるCOVID-19対策会議を開催 ・ 基本的な病院の方針を同会議で決定。 ・ 実際の運用内容を各担当者が決定し、院内全体に周知。 （例：COVID-19患者の応需、休務方針、COVID-19スクリーニング体制など） 	(有・無)								

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年45回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容： 医薬品関連の事故防止に係る本院職員の意識向上と知識習得のため次の通り研修会を実施した。 	
<p>医師・看護師・薬剤師対象</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内動画配信（e-learning） 2021年4月～ 医薬品の安全使用について <p>病棟スタッフ対象</p> <ul style="list-style-type: none"> 看護師・医師を中心とした研修会 年17回 医薬品の使用上の注意点等について <p>薬剤師を対象</p> <ul style="list-style-type: none"> 採用医薬品説明会 年11回 新規採用医薬品の説明と位置づけ 添付文書改訂情報、安全性情報、医薬品の取扱い情報 薬剤部部員会 年12回 警鐘すべきインシデント事例の情報共有 再発防止策の検討と注意喚起 <p>新採用者を対象</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修医・医師オリエンテーション講義（動画視聴） 2021年4月1日 看護部新規採用者オリエンテーション講義（動画視聴） 2021年4～5月 薬剤部新入職員講義 2021年4月1日 看護部静脈注射輸液管理認定プログラム講義（動画視聴） 2021年4～5月 	
<p>③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 手順書の作成 （ 有・無 ） 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 医薬品の採用に関すること 医薬品の購入に関すること 薬剤部における医薬品の管理に関すること 病棟・各部門への医薬品の供給に関すること 外来患者への医薬品使用に関すること 病棟・外来・中央診療施設における医薬品の管理に関すること 入院患者への医薬品使用に関すること 医薬品の適正使用・安全使用に係る情報に関すること 他施設（医療機関・薬局等）との連携に関すること <p>以上の業務内容について、手順書に基づく業務の実施状況を確認した。医薬品安全管理補助者の指名を受けた薬剤師が、チェックリスト「医薬品安全使用の業務手順書遵守確認票」を用いて現場ラウンド及びヒアリングにより確認し、不十分な点は改善指導した。医薬品安全管理責任者は結果の報告を受けるとともに、記入済みのチェックリストを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 病棟・外来・中央診療棟：2021年7月～2022年3月に実施 薬剤部：2022年3月に実施 	
<p>④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 医薬品に係る情報の収集の整備 （ 有・無 ） 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <p>別紙1「未承認等の医薬品の具体的な使用事例」</p> <ul style="list-style-type: none"> その他の改善の方策の主な内容： <p>1) 副薬剤部長1名が薬剤部リスクマネージャーを兼任し、毎週開催される医療安全小委員会にて院内の情報を収集し、業務改善を協議すると共に、医薬品関連のインシデントレポートをもとに薬剤部内に警鐘事例を周知している。また薬剤部長・副薬剤部長間でインシデント情報を共有し、薬剤業務改善の方策を立てることで医薬品安全使用の質的改善を推進</p>	

している。

- 2) 処方・注射オーダリングシステムに対し、インシデントレポートで提議された報告を基に薬剤誤投与防止機能について運用を含めて修正し、医師の業務負担を軽減し、医療事故を未然に防止すると共に、必要なデータベースを構築し、維持・管理している。
- 3) 全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品・医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、医薬品の採用・削除などの医薬品情報をアンケートメールで発信している。アンケートメールしたものの中からピックアップして、リスクマネージャー会議で周知依頼するとともに、周知状況を確認している。
- 4) オーダリングシステムによる警告（相互作用、過量投与、アレルギー既往歴、妊娠禁忌、等を含む）を通過した処方せんは、調剤時に薬剤師が電子カルテ記載内容を確認し、処方内容に疑義がある場合は医師に照会している。適応外使用や禁忌の使用については「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。
- 5) 入院患者の持参薬の内容確認を薬剤師が行い、患者と面談して服薬状況等を情報収集するとともに、個々の患者に合わせたより適正な使用となるよう、医師に服薬計画を提案している。
- 6) 病棟薬剤師が電子カルテ上で指示受けや処方内容評価をする際、用法・用量等のチェックに加えて、未承認薬や適応外使用に該当しないか、禁忌に該当しないかを把握し、該当する場合は医師に必要性を確認している。収集した情報は「適応外・禁忌・未承認薬データベース」に入力している。医薬品安全管理補助者がデータベースの内容を確認してまとめ、医薬品安全管理責任者に報告している。
- 7) 医師との連携により、院外処方せん交付患者に対して初回投与時の抗がん剤の服薬指導を行い、副作用等の説明及びその対処を指導して、医薬品安全使用を推進している。
- 8) 外来患者の臨床検査値の一部を院外処方せんに記載し、保険薬局での処方監査時に検査値を参照できるようにしている。また、保険薬局にて患者から聴き取った情報のうち、処方医師への提供が望ましいと判断された内容を服薬情報提供書(トレーシングレポート)で受け付けている。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11 第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年65回
・ 研修の主な内容 :	
1. 放射線関連機器について ○高度管理医療機器の研修として、以下の研修を実施した。 診療用高エネルギー放射線発生装置と診療用放射線照射装置に関し以下の研修を実施した。 1) 2021年9月29日～10月15日に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用高エネルギー放射線発生装置のwebを用いた研修を実施した。(参加者60名) 2) 2021年9月29日～10月15日に関連する医療従事者を対象に第1回 診療用放射線照射装置のwebを用いた研修を実施した。(参加者60名) 3) 2022年3月30日に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用高エネルギー放射線発生装置のwebを用いた研修を実施した。(参加者52名) 4) 2022年3月30日に関連する医療従事者を対象に第2回 診療用放射線照射装置のwebを用いた研修を実施した。(参加者51名) *欠席者に対しては資料確認により補講を実施した。	
○新規・更新装置導入時の研修として、以下の研修を実施した。 1) X線CT撮影 : Aquilion ONE (安全操作説明・緊急時対応) 新規導入時研修。2022年3月30, 31日 出席45名 (うち研修対象者 25名 欠席者 0名) 2) X線血管造影撮影装置およびインジェクタ : AzurionおよびPress Duo (安全操作説明・緊急時対応) 新規導入時研修。2021年4月8, 9, 13日 出席34名 (うち研修対象者 26名 欠席者0名) 3) 診療用放射線照射装置: BRAVOS (安全操作説明・緊急時対応) 新規導入時研修。2022年3月30日 出席51名 (うち研修対象者 19名 欠席 5名) *欠席者に対しては資料確認により補講を実施した。	
2. ME関連機器について 1) 2021年度中に医師・看護師・臨床工学技士を対象として人工呼吸器・血液浄化装置・除細動器・人工心肺装置及び補助循環装置等・閉鎖式保育器の安全な使用方法についての研修を計29回実施した。除細動器及び人工呼吸器に関してはe-ラーニングでの研修を実施している。その他医療機器・新規医療機器についての研修を計28回実施した。 2) 2021年4月に新人看護師・研修医を対象として、輸液・シリンジポンプ・人工呼吸器の使用方法について研修を実施した。	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容 :	
1. 放射線関連機器について ・放射線機器等については年度点検実施計画を作成し、各部門担当者を決めて以下の内容について定期的な点検を実施している。 →機器の動作状況、設定状況、制御状況、画質の確認・検査・清掃・試験・調整・記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。 →日々の始業終業点検について、各部門において担当者を決めて点検表にて確認、記録及び医療機器安全管理責任者が確認、押印している。 →高度な技術を要する修理、オーバーホールはメーカーに依頼している。	
2. ME関連機器について ・医療機器の点検周期に沿って、院内点検とメーカー点検を実施している。 →臨床工学技士の点検においては、実施可能なバッテリー交換・各種センサー・フィルタ等の定期交換を実施している。 →高度な技術を要する修理、オーバーホールはメーカーに依頼している。	

④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集
その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況

- ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)
- ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：昨年度はなし
- ・ その他の改善の方策の主な内容：
 1. 放射線関連機器について
 - ・ 血管造影、CT・透視、MR、RI、放射線治療系の各部門において、多職種（医師、看護師、技師）での品質管理（QA）委員会を、月例開催または2～3ヶ月に1回開催している。
 - ・ 一般撮影+血管造影+CT・透視グループ、MR+RIグループ、放射線治療の3つのグループにおいて、診療放射線技師の定例会議を月例で開催している。
 2. ME関連機器について
 - ・ 医療機器に関する安全情報は医療安全管理室と協力して医療従事者に周知する体制をとっている。
 - ・ 医療機器の安全使用を目的として、中央管理機種の統一を推し進めている。
 - ・ 電子カルテ用端末にて、中央管理を行っている機器の取扱い説明書が確認出来る。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無
・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況	
常勤医師の副病院長（医療安全担当）を医療安全管理責任者として配置している。また、医療安全管理責任者は医療安全管理委員会の委員長であり、医療安全管理委員会のもとに医薬品安全管理小委員会（委員長：医薬品安全管理責任者）、医療機器安全管理小委員会（委員長：医療機器安全管理責任者）、医療放射線安全管理小委員会（委員長：医療放射線安全管理責任者）、臨床研究安全管理小委員会（委員長：臨床研究安全管理責任者）を統括している体制となっている。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有（14名） · <input type="checkbox"/> 無
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況	
・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況	
(1) 原則として月1回、電子カルテのアプリケーション「医薬品使用状況」などを用い、医薬品の投薬及び注射の状況の把握を行っている。 (2) 医薬品医療機器情報配信サービス等を利用して、医薬品・医療機器の安全性に関する特に重要な情報を入手している。医薬品製造販売業者、卸販売業者からの情報収集は、医薬品情報室で一元的に行っている。要対応と判断した事例は、隨時、医薬品安全管理責任者に報告している。 (3) 院内で発生した医薬品の副作用、インシデント等の情報は、病棟薬剤師が隨時収集・評価を行っている。また、医薬品の新規採用後6ヶ月、1年を経過した時点で、採用依頼を出した医師に副作用調査票の提出を委嘱し、医薬品情報管理室で集約している。 (4) 全職員を対象に、緊急安全性情報や医薬品・医療機器等安全性情報などの注意喚起情報、インシデント報告から安全使用上周知が必要と思われる医薬品情報などをアンケートメールで発信している。これらをまとめた「適正な医薬品使用のための情報」を全リスクマネージャー宛に周知依頼し、各部署からの周知完了日等の報告をもって、実施状況を確認している。 (5) 薬剤使用時の注意点や薬剤に関する情報を適宜「DIニュース」等で院内に提供している。病棟薬剤師は資料を担当診療科・病棟にて周知し記録を残している。 (6) 病棟薬剤師は、医薬品の使用上の注意点等について、病棟毎のニーズに合わせて、看護師・医師を対象とした説明会を行い、実施の記録を残している。	
・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況	
(1) 調剤室等の薬剤師及び病棟薬剤師は処方情報から適応外・禁忌・未承認の医薬品使用を把握し、医師に必要性を確認している。医師がその医薬品を使用する場合は、患者への説明とカルテ記載を依頼し、リスクに応じて、医薬品安全管理小委員会あるいは高難度医療・未承認医薬品等管理室への申請が必要なことを伝えている。収集した情報は「適応外・禁忌・未承認データベース」に入力している。 (2) 「適応外・禁忌・未承認データベース」に入力された情報は、病棟業務リーダー（医薬品安全管理補助者）が並行して確認し妥当性を評価している。さらに一覧表形式にまとめて毎月、医薬品安全管理責任者に報告し、指示事項があれば、病棟薬剤師を通じて医師にフィードバックしている。 (3) 薬剤師が把握した未承認等の医薬品の使用に関する情報は「医薬品安全管理小委員会」に報告し情報共有している。	
・担当者の指名の有無（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 · <input type="checkbox"/> 無）	
・担当者の所属・職種：別紙2「医薬品安全管理補助者指名書」の通り	
(所属： , 職種)	(所属： , 職種)
(所属： , 職種)	(所属： , 職種)
(所属： , 職種)	(所属： , 職種)
(所属： , 職種)	(所属： , 職種)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>年4回、診療科（部）毎に1か月5例を無作為に選択し、インフォームド・コンセントの過程がわかるように説明内容、説明時反応、同席者が記載されているか等、チェック項目に基づき確認を行っている。適切でない事例が認められた場合は、IC責任者より、上記の評価結果を医療問題対策・臨床倫理委員会へ報告するとともに、病棟医長・看護師長会議や病院協議会等を通じ、院内の各部署へ周知する。また、インフォームド・コンセントを受けた患者に対して、同席者の有無、理解、納得について年3回のアンケート調査を行い、インフォームド・コンセントの質向上に努めている。</p>	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <p>責任者の監督下において診療情報管理士による診療録監査を年2回15診療科に実施しており、監査結果は病院長承認後に各診療科へフィードバックを行っている。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（3）名、専任（1）名、兼任（3）名 うち医師：専従（1）名、専任（）名、兼任（2）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（）名、兼任（）名 うち看護師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（1）名</p> <p>(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インシデント・アクシデント報告に関すること。 ・医療安全管理対策の調査・分析及び指導に関すること。 ・医療安全管理対策の教育・研修に関すること。 ・定められた手順やルールが実践されているかどうかのモニタリング。 <p>①画像診断結果報告書の未確認件数（月別、診療科別） (ルール：放射線診断科医が読影診断結果を報告している。オーダー診療科の医師が報告内容を確認後、確認ボタンを押すと、報告書の内容がカルテに転記される。カルテへの転記がない場合、報告内容の確認がされていない可能性があるため、診断結果の見落としエラー対策として作成したルールである。併せて、未読影率をフィードバックする。)</p> <p>②注射薬を患者に投与する直前に、照合端末を用いて、薬剤ラベルと患者リストバンドを照合した率（月別、病棟別） (ルール：注射薬投与時は患者誤認事故をゼロにするため、ひとによる確認+器械による確認を組み合わせる。)</p> <p>③抗がん剤の調製確定後の変更件数（月別、診療科別） (ルール：医師が抗がん剤を前日締め切り時刻までにオーダーし、前日締め切り後に薬剤師が監査する。当日10時までに医師は、患者に投与してよいか患者の状態やデータで判断し、調製確定を入力する。薬剤師は確定されたオーダーに基づいて薬剤を調製する。)</p> <p>④バイタルデータターミナルを用いてバイタルデータを転送している率（月別、病棟別） (ルール：血圧、体温、SpO2、脈拍などのデータは、患者ベッドサイドに設置した端末にかざすことで、当該患者の電子カルテにタイムリーに転送される。今まででは、看護師が電子カルテに転記していたため、測定時刻から転記まで時間がかかっていた。また誤記も散見された。)</p> <p>⑤患者誤認報告件数 (ルール：全ての医療・看護行為を実施する際は、患者自身にフルネームで名乗らせる。名乗れない場合は、リストバンドもしくは診察券で確認をする。)</p> <p>⑥患者受け持ち忘れ報告件数 (ルール：受け持ち看護師は、勤務初めに受け持ち登録を実施する。各勤務帯リーダー看護師は、勤務開始後1時間以内に受け持ち患者登録漏れがないかを確認する。)</p> <p>⑦肺血栓塞栓症予防対策 (ルール：マニュアルに沿った予防対策に取り組む。)</p>	

- ・ルールの逸脱（やむを得ない場合も含む）をインシデント報告対象として、逸脱件数を測定する。
 - ①入院患者へのリストバンド未装着（月別、病棟別）
 - （全員にリストバンドを装着するルールがあるが、皮膚の脆弱性などでやむを得ない場合も含め、未装着は全例報告する。）
 - ②高濃度カリウム製剤投与に関する院内規程からの逸脱事例
 - （医学的理由があっても、ルールから逸脱している場合には報告しておく。）
- ・リスクアセスメント（褥瘡リスク・転倒リスク）のアウトカムを評価するための事故件数のモニタリング
 - ①院内褥瘡発生率
 - ②転倒転落事故発生
- ・その他医療安全管理対策にすること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（7件）

- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：

「京都大学医学部附属病院高難度新規医療技術取扱規程」に、高難度新規医療技術の定義、高難度新規医療技術の提供に係る申請事項（既存の技術との優位性、医療提供体制の整備状況、執刀医等の経験、患者への説明同意の取得方法等）、倫理委員会審査の受審、実施体制の確認及び報告、遵守状況の確認、病院長への報告など、高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合における必要な事項、遵守・確認すべき事項を定め活動している。
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（7件）、及び許可件数（6件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）
- ・活動の主な内容：

「京都大学医学部附属病院未承認新規医薬品等取扱規程」に、未承認新規医薬品等を用いた医療の定義、未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に係る申請事項（既存の医薬品等との優位性、未承認新規医薬品等の使用条件、有害事象の把握方法、患者への説明同意の取得方法等）、倫理委員会審査の受審、実施体制の確認及び報告、遵守状況の確認、病院長への報告など、未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合における必要な事項、遵守・確認すべき事項を定め活動

している。

- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）

- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 231 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 126 件

- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

医療サービスに起因し、影響度レベルが重症・重大なものについて、医療安全管理室は、毎月開催の医療安全管理委員会にて報告する。委員会では、これらのうち、調査が必要と判断したものについては、外部委員を含めるか含めないかなども含め、調査方法を決定する。また、影響度レベルが 3a 以下または未遂であっても、インシデントが潜在的に危険を有しているものがあれば、調査を命じることがある。医療安全管理委員会の審議結果は病院長に報告される。調査結果についても医療安全管理委員会及び病院長に報告される。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：京都府立医科大学）・無）

- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：大阪市立大学）・無）

- ・技術的助言の実施状況

特になし

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

本院には患者やその家族からの相談、苦情に対して適切な処理を行うことを目的とする患者相談窓口がある。

各診療科（部）は、患者等からの相談内容について、患者相談窓口から対応を要請された場合は、責任をもって協力するものとする。

各診療科（部）に患者支援担当者を置き、患者等からの相談内容について患者相談窓口と連携し、責任をもって対応するものとする。

各診療科（部）のリスクマネージャーが、患者支援担当者として兼務する。

相談内容が医療安全に関する事項については、インシデント報告を行い、医療安全管理部門が把握する。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況

いつでも受講可能な e-learning 整備し、受講状況をモニタリングしている。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・研修の実施状況

管理者 : 特定機能病院管理者研修（令和 4 年 2 月 14 日）

医療安全管理責任者	特定機能病院管理者研修（令和4年1月25日）
医薬品安全管理責任者	特定機能病院管理者研修（令和3年12月8日）
医療機器安全管理責任者	特定機能病院管理者研修（令和4年1月19日）

(注) 前年度の実績を記載すること

⑯ 医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講すべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

2020年度（2021年1月12日～1月15日にISO9001審査）に審査を受け、2021年3月14日に再認証を受けた。2021年度は審査を受けていない。

・ 評価に基づき改善のために講すべき措置の内容の公表状況

令和4年1月14日に病院HPにて審査結果を掲載した。

<https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/outline/iso.html#ethics>

・ 評価を踏まえ講じた措置

緩和ケア診療実施計画書が所定様式に準じていなかったため、修正を行った。

医薬品の安全使用のための業務手順書の中に病棟専任の薬剤師と医薬品情報管理室の薬剤師が必要に応じ、各病棟での問題点等の情報共有を実施する旨の記載がなかったことから、修正を行った。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

- ・ 基準の主な内容
 1. 医療法第10条に規定された病院の管理者として要件を満たす医師であること。
 2. 大学附属病院の管理運営に必要な資質・能力を有すること。
 3. 医療安全確保のために必要な資質・能力を有すること。
 4. 京都大学医学部附属病院の基本理念を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。
- ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（・無）
- ・ 公表の方法
大学ホームページに掲載
<https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/publication/conference/ihoukoku/hospital/rinen>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）・ 公表の方法 大学ホームページに掲載 https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/publication/conference/ihoukoku/hospital/ninmei-previous	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
宮本 享	京都大学 医学部附属病院	○	病院担当の副学長 医学部附属病院長	有
岩井 一宏	医学部		医学部長	有
伊達 洋至	医学部附属病院		医学部附属病院副病院長 (診療、労務担当 ※選定当時)	有
平井 豊博	医学部附属病院		医学部附属病院副病院長 (医療安全担当 ※選定当時)	有
井川 順子	医学部附属病院看護部		医学部附属病院看護部長	有
久保 公四郎	医学部附属病院事務部		医学部附属病院事務部長	有

邊見 公雄	公益社団法人 全国自治体病院協議会 (名誉会長)		医学・医療に関し識見を有する学 外者	無
松井 道宣	京都府医師会 (会長)		医学・医療に関し識見を有する学 外者	無
古川 博規	京都府 (副知事)		医学・医療に関し識見を有する学 外者	無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有・無		
<ul style="list-style-type: none">・合議体の主要な審議内容 病院運営に関する重要事項を協議するため、協議会を置く。 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、協議会が定める。・審議の概要の従業者への周知状況 院内ホームページに議事要旨を掲載・合議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）<ul style="list-style-type: none">・公表の方法・外部有識者からの意見聴取の有無（有・無）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
別紙3のとおり			

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有・無）
- 公表の方法
- 規程の主な内容：別紙4のとおり
- 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

副病院長（診療担当）、副病院長（経営、施設担当）、副病院長（労務、安全衛生管理担当）、副病院長（医療安全、広報担当）、副病院長（災害対策担当）、副病院長（地域連携・人事担当）、病院長補佐（病院長が指示した特定の事項について企画立案及び連絡調整を行う。）、運営企画室（病院長の指示により病院運営及び経営に関し、情報の収集及び分析を行うとともに必要事項について企画立案し、病院長に提言する。）

- 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - 国立大学病院長会議が主催する「病院経営次世代リーダー養成塾」に病院長補佐（病床運営管理部長）が参加。
 - 病院協議会構成員を病院長補佐へ積極的に選任し、週1回開催される執行部会議に出席させることで病院マネジメントを経験させている。
 - 本院が開講する「実践的医療経営プロフェッショナル教育事業プログラム（KUMAHOPE）」を職員に受講させている。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況		有・無			
・監査委員会の開催状況：年2回					
・活動の主な内容：		本院における医療安全管理に係る業務執行状況の監査、及び監査結果に基づき、必要に応じて総長や病院長に対し是正措置を講じるよう意見する。			
・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）					
・委員名簿の公表の有無（有・無）					
・委員の選定理由の公表の有無（有・無）					
・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無）					
・公表の方法：京都大学ホームページに掲載					
監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）					
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
笠井 正俊	京都大学副学長（法務・コンプライアンス担当）		総長が指名する副学長	有・無	3
平野 哲郎	立命館大学 法科大学院教授		法律に関する専門的知識を有する者	有・無	1
佐和 貞治	京都府立医科大学 医療安全管理部部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	有・無	1
伊藤 英樹	広島大学病院 医療安全管理部部長		医療に係る安全管理に関する専門的知識を有する者	有・無	1
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センター COML 理事長	○	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

総長の命により実施する内部監査として、本学の監査担当部署が病院管理者の業務が法令に適合していることを確保するための監査を行っている。

- ・専門部署の設置の有無（・無）
- ・内部規程の整備の有無（・無）
- ・内部規程の公表の有無（・無）
- ・公表の方法：ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に 係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none">病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 以下に掲げる委員7名以上で組織されており、うち過半数は②の委員で構成されている。 ①総長が指名する理事又は副学長 ②本学の役員又は職員以外の者のうちから総長が任命するもの ③その他本学の教職員のうちから総長が必要と認める者 若干名 議長は①の委員のうち、総長が指名するものを充てており、委員の半数以上の出席で会議を開会する。			
<ul style="list-style-type: none">会議体の実施状況（年1回）会議体への管理者の参画の有無および回数（有・無）（年1回）会議体に係る内部規程の公表の有無（有・無）公表の方法 京都大学ホームページに掲載			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
北村 雅史	京都大学副学長（法務・コンプライアンス担当）	○	有・無
村上 章	京都大学理事・副学長（財務、入試担当）		有・無
黒田 啓史	京都市立病院機構 京都市立病院 院長		有・無
田中 一成	静岡県立病院機構 理事長		有・無
邊見 公雄	全国自治体病院協議会 名誉会長		有・無
松井 道宜	京都府医師会 会長		有・無
山口 育子	認定NPO法人 ささえあい医療人権センターCOML 理事長		有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（・）
 - ・通報件数（年0件）
 - ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（・）
 - ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（・）
 - ・周知の方法
- 院内ホームページに掲載

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input type="checkbox"/> ・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページ(https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp)および広報誌「京大病院広報」「京大病院のご案内」(https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/relation/publish.html)、YouTubeの京大病院公式チャンネル (https://www.youtube.com/c/KUHPofficial)において、各診療科の紹介や院内活動の報告、疾患の情報提供等を行っている。	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	<input type="checkbox"/> ・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 1) 「集学的がん診療ユニット」と呼ばれる診療科横断的な診療体制を構築している。がん種ごとに専門とする内科医・外科医・放射線治療医、あるいは病理診断医・放射線診断医・各種医療スタッフが、診療科・職種を越えてカンファレンス・診療を行い、迅速かつ最適な治療を提供している。また、がん種ごとに毎週定期カンファレンスを実施することにより、患者の情報および専門性の高い知識を共有することで医療の質を高め、専門医・スタッフの教育の場としても大きな効果を上げている。さらに、分子標的薬やがん免疫チェックポイント阻害薬の普及により、全身管理を必要とする有害事象対策が求められており、非がん領域の様々な診療科との連携体制を構築し、治療を受ける患者の安全対策に万全を期している。 2) 2019年6月より遺伝子パネル検査が保険適応となり、がんゲノム医療中核拠点病院としてがんゲノム医療を先進的に提供する体制を構築している。全国の18のがんゲノム医療連携病院と連携し遺伝子パネル検査施行症例に関して、京大をホストに各施設とWeb会議でエキスパートパネルを開催している。エキスパートパネルでは、各施設から腫瘍内科医、病理医、腫瘍外科医、婦人科医、脳外科医、小児科医、臨床遺伝専門医、遺伝カウンセラーなどの複数の職種が参加して、非常に活発な議論を行い治療方針を提示し、高度な医療を提供している。	

未承認等の医薬品の具体的な使用事例

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2021/4/1～2022/3/31

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2021/4/1-4/15

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2021/04/01	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン/ドセタキセル	婦人科	子宮肉腫
2021/04/08	適応外	抗がん剤	ゲムシタビン/ドセタキセル	整形外科	骨肉腫
2021/04/08	適応外	抗がん剤	テモゾロミド/エトポシド	小児科	骨肉腫
2021/04/12	適応外	抗がん剤	1%5FU点眼液	眼科	角結膜悪性腫瘍
2021/04/08	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶予防
2021/04/08	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶予防
2021/04/09	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	脳梗塞患者に初回300mg
2021/04/14	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	プロポフォール静注 1%50mL	脳神経外科	その際に鎮静目的でプロポフォール使用。
2021/04/01	適応外	その他	サイモグロブリン点滴静注 用25mg	呼吸器外科	移植後抗体関連型拒絶反応の治療
2021/04/06	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	子宮収縮抑制
2021/04/06	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	子宮収縮抑制
2021/04/06	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	子宮収縮抑制
2021/04/13	適応外	その他	エスカゾール錠200mg	脳神経外科	神經囊虫症 (800mg/day)
2021/04/15	適応外	その他	献血グロベニン-I静注用 5000mg	呼吸器外科	移植後抗体関連型拒絶反応の治療
2021/04/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/04/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/04/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/04/15	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン 「ビゲン」	小児外科	感染予防のため
2021/04/15	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/04/15	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/04/15	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	肝胆脾・移植外科	感染予防のため

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2021/4/16-5/15

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2021/04/19	適応外	抗がん剤	オンコビン、シクロフォスファミド、ドキソルビシン、シスプラチン	呼吸器内科	胸腺腫
2021/04/22	適応外	抗がん剤	ロイスタチン	血液内科	ランゲルハンス細胞組織球症
2021/04/26	適応外	抗がん剤	シスプラチン	乳腺外科	乳がん
2021/05/10	適応外	抗がん剤	エトポシド、カルボプラチニ	呼吸器内科	LCNEC
2021/04/20	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デキサート注	産科	HELLP症候群
2021/04/26	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	クロピドグレル錠75mg	脳神経外科	右放線冠～内包後脚のラクナ梗塞（BAD type疑い）の患者に対して、クロピドグレル錠75mg初回のみ300mgでloading
2021/05/13	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	エンドキサン注	腎臓内科	ステロイド抵抗性特発性間質性肺炎
2021/04/22	適応外	その他	セレコックス錠100mg	産科婦人科	子宮収縮抑制
2021/04/22	適応外	その他	インテバン坐剤	産科婦人科	子宮収縮抑制
2021/04/22	適応外	その他	ビクロックス点滴静注 250mg	眼科	硝子体手術での灌流液への混注
2021/04/23	適応外	その他	クリアクター静注用 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するt-PA製剤の使用
2021/5/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/5/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/5/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/5/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/5/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2021/5/16-6/15

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2021/05/24	適応外	抗がん剤	シスプラチン (EP/EMA療法)	婦人科	絨毛癌
2021/05/27	適応外	抗がん剤	PTX/CBDCA	泌尿器科	前立腺癌
2021/05/31	適応外	抗がん剤	アリミデックス	婦人科	卵巣漿液性境界 悪性腫瘍の再発
2021/06/11	適応外	抗がん剤	フェマーラ	婦人科	転移性平滑筋腫
2021/05/18	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	脳梗塞に対する クロピドグレル初回 300mg投与
2021/05/18	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	脳梗塞に対する クロピトグレル初回 300mg投与
2021/05/19	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産科	妊娠高血圧腎症の 発症抑制
2021/05/24	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ラボナール注射用	脳神経内科	抗NMDA受容体脳炎患者 の鎮静・痙攣
2021/06/07	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	エリキュース錠5mg	呼吸器外科	左肺上葉切除後の脳梗塞 発症予防
2021/06/08	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	脳梗塞に対するクロピド グレル錠300mg投与
2021/06/09	適応外	麻薬	ナルサス錠2mg	呼吸器内科	咳嗽、呼吸苦
2021/05/17	適応外	その他	セルセプト	皮膚科	後天性表皮水泡症
2021/05/19	適応外	その他	アミティーザカプセル24μg	肝胆膵移植外 科	便秘症
2021/05/19	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセ ル200mg	産科	切迫早産に伴う 頸管長短縮抑制
2021/05/24	適応外	その他	ケイセントラ静注用1000	麻酔科	止血
2021/05/25	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40 万国際単位	眼科	黄斑下出血に対する t-PA製剤の使用
2021/05/31	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセ ル200mg	産科	切迫早産に伴う頸管長 短縮抑制
2021/06/02	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	子宮収縮抑制
2021/06/04	適応外	その他	フロリネフ錠0.1mg	脳神経外科	原因不明の低Na血症
2021/06/09	適応外	その他	ペニシリソGカリウム	NIOU	先天梅毒疑い
2021/06/15	適応外	その他	献血ウェノグロブリン IH10%注	脳神経内科	抗NMDA受容体脳炎
2021/06/04	禁忌	抗がん剤	カルボプラチン注射液 150mg	耳鼻科	右頬粘膜癌
2021/05/24	禁忌	その他	プラノバール配合錠	婦人科	絨毛癌の診断
2021/06/03	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/06/03	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/06/03	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜ ワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/06/03	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/06/03	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/06/05	禁忌	その他	レボフロキサシン	呼吸器外科	移植後肺炎

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2021/6/16-7/15

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2021/06/22	適応外	抗がん剤	リツキサン	脳神経内科	抗NMDA受容体脳炎
2021/07/12	適応外	抗がん剤	シスプラチン	乳腺外科	乳癌
2021/07/12	適応外	抗がん剤	ロイケリン散	消化器内科	クローン病
2021/06/29	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リウマトレックスカプセル 2mg	循環器内科	サルコイドーシス
2021/07/07	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産科	抗リン脂質抗体症候群の 妊婦に対し妊娠予後の改 善
2021/07/07	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リンデロン注4mg	産科	妊娠34～36週の切迫早產 症例に対する新生児呼吸 窮迫症候群予防
2021/06/16	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	循環器内科	心内膜炎治療
2021/06/22	適応外	その他	アルギU点滴静注	脳神経内科	ミトコンドリア脳症
2021/06/25	適応外	その他	スロンノンHI注10mg/2mL	脳神経外科	頭蓋内虚血を伴うATBI
2021/07/07	適応外	その他	ウトロゲスタン膣用カプセ ル200mg	産科	切迫早産に伴う頸管長短 縮抑制
2021/07/07	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	子宮収縮抑制
2021/07/07	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	子宮収縮抑制
2021/07/07	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	子宮収縮抑制
2021/07/07	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	子宮収縮抑制
2021/07/07	適応外	その他	ウトロゲスタン膣用カプセ ル200mg	産科	切迫早産に伴う頸管長短 縮抑制
2021/07/07	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用 5mg	産科	和痛分娩
2021/07/07	適応外	麻薬	レミフェンタニル静注用 5mg	産科	和痛分娩
2021/07/08	禁忌	要注意薬 (抗がん薬)	ドキソルビシン注	小児科	肝芽腫、ファロー四徴症
2021/07/08	禁忌	要注意薬 (抗がん薬以外)	バリキサ錠450mg	血液内科	血小板数25,000/mm ³ 未 満で禁忌に該当
2021/06/22	禁忌	その他	フランドルテープ	小児科	アドシルカとの併用

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2021/7/16-8/15

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2021/07/16	適応外	抗がん剤	VIT療法（ビンクリスチン・イリノテカン・テモゾロミド）	整形外科	線維形成性小円形細胞腫瘍（DSRCT）
2021/07/20	適応外	抗がん剤	パクリタキセル、カルボプラチニ	呼吸器内科	胸腺癌
2021/07/26	適応外	抗がん剤	スチバーガ	小児科	肝細胞癌
2021/07/29	適応外	抗がん剤	シスプラチニ	乳腺外科	乳がん
2021/08/02	適応外	抗がん剤	スチバーガ	整形外科	肝細胞癌
2021/07/16	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するt-PA 製剤の使用
2021/07/16	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するt-PA 製剤の使用
2021/07/16	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するt-PA 製剤の使用
2021/07/16	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するt-PA 製剤の使用
2021/07/16	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するt-PA 製剤の使用
2021/07/16	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するt-PA 製剤の使用
2021/07/19	適応外	その他	カルベジロール錠	循環器内科	心室頻拍に対する上限量を超えた投与
2021/07/19	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/07/19	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/07/19	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/07/20	適応外	その他	ゼンタコートカプセル3mg	小児科	消化管GVHD
2021/07/23	適応外	その他	点滴静注用ホスカビル	免疫膠原病内科	播種性帯状疱疹、皮疹、髄膜炎併発
2021/07/26	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	移植後の拒絶予防
2021/07/30	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/07/30	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/08/04	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/08/04	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/08/06	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/08/06	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/08/12	適応外	その他	ニフェジピンCR錠21mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/08/13	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	頸管長短縮予防
2021/08/13	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶予防
2021/07/20	禁忌	要注意薬 (抗がん薬以外)	エリキュース錠2.5mg	循環器内科	心房細動における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制
2021/07/19	禁忌	その他	デムサーカプセル250mg	糖内	褐色細胞腫に対するカテコールアミン分泌過剰状態の改善目的
2021/08/04	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防のため

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2021/8/16-9/15

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2021/08/16	適応外	抗がん剤	ベネクレクスタ	小児科	急性骨髓性白血病
2021/08/20	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	プロタノールL注0.2mg 0.02%1mL	脳神経外科	他剤で無効な小児の喘息 発作
2021/08/30	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	スロンノンHI注10mg/2mL	脳神経内科	スロンノン持続投与
2021/09/06	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デクスマメトミジン 200 μg/50mL	小児外科	入眠・鎮静
2021/09/10	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	プロポフォール	産婦人科	胎児胸水処置時の 胎児鎮静
2021/09/13	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	プロポフォール	産婦人科	用手的胎盤剥離時の 鎮静
2021/09/15	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	スロンノンHI注10mg/2mL	脳神経内科	スロンノン持続投与
2021/09/15	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	脳梗塞に対する クロピドグレル初回 300mg
2021/08/16	適応外	麻薬	ケタラール静注用200mg	免疫・ 膠原病内科	掌蹠膿疱症性骨関節炎の 疼痛管理
2021/08/16	適応外	その他	ノイキノン錠	循環器内科	ミトコンドリア脳筋症
2021/08/16	適応外	その他	50mgアリナミンF糖衣錠	循環器内科	ミトコンドリア脳筋症
2021/08/16	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植における 拒絶反応の抑制
2021/08/18	適応外	その他	ラパリムス錠1mg	呼吸器外科	肺移植における 拒絶反応の抑制
2021/08/27	適応外	その他	アザニン錠50mg	呼吸器内科	NOR90抗体陽性 間質性肺炎
2021/09/02	適応外	その他	セルセプトカプセル250	呼吸器内科	強皮症関連間質性肺炎
2021/09/02	適応外	その他	オクトレオチド酢酸塩 皮下注100 μg	呼吸器外科	乳び胸水
2021/09/03	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産科	子宮収縮抑制
2021/09/07	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/09/07	適応外	その他	コララン錠	循環器内科	原因不明の洞性頻脈
2021/09/10	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/09/10	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/09/13	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/09/14	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/08/23	禁忌	その他	マーカイン注脊麻用 0.5%等比重	眼科	白内障手術時の麻酔
2021/09/07	禁忌	その他	乾燥弱毒生 麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/09/07	禁忌	その他	乾燥弱毒生 おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2021/09/07	禁忌	その他	乾燥弱毒生 麻しんワクチン	胆膵・移植外科	感染予防のため

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2021/10/07	適応外	抗がん剤	ゼローダ	乳腺外科	術後補助化学療法
2021/10/07	適応外	抗がん剤	シスプラチン	乳腺外科	乳癌
2021/10/07	適応外	抗がん剤	アレセンサカプセル150mg	小児外科	ALK陽性炎症性線維芽細胞腫瘍
2021/09/16	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	HDPハイリスク妊婦のHDP発症予防
2021/09/27	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	プロポフォール	産婦人科	胎盤用手剥離時の鎮痛・鎮静
2021/09/27	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	脳梗塞に対して、クロピドグレルを初日300mg投与
2021/09/29	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ロナセンテープ	脳神経内科	せん妄
2021/10/04	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	レミケード点滴静注用100	小児科	ザーツン症候群の皮膚症状
2021/10/07	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	点滴静注用ホスカビル24mg/mL	小児科	肝移植前のCMV感染症治療
2021/10/07	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	脳梗塞に対して、クロピドグレルを初日300mg投与
2021/10/12	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ネオーラルカプセル25mg	免疫膠原病内科	成人スチル病の治療
2021/10/06	適応外	麻薬	オプソ	呼吸器内科	呼吸苦
2021/09/17	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	循環器内科	心膜炎治療
2021/09/21	適応外	その他	メスチノン錠60mg	初期診療 救急科	副交感神経系の機能減弱 (末梢性コリンエステラーゼに作用)
2021/09/22	適応外	その他	ノクサファイル点滴静注300mg ノクサファイル錠100mg	呼吸器外科	真菌感染症
2021/09/28	適応外	その他	コララン錠	循環器内科	自己脈をなくす(ペースメーカー留置あり)、心拍出量増加
2021/09/30	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/10/04	適応外	その他	シフキシマ錠200mg	小児科	高アンモニア血症
2021/10/05	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/10/05	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	腎機能低下患者における肺移植後の拒絶抑制
2021/10/05	適応外	その他	ゼンタコートカプセル3mg	血液内科	消化管GVHD
2021/10/06	適応外	その他	クリアクター静注用40万 40万国際単位	眼科	黄斑出血に対するt-PA製剤の使用
2021/10/08	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/10/11	適応外	その他	フィブリノゲンHT	呼吸器外科	術後出血の止血
2021/10/11	適応外	その他	ケイセントラ静注用1000	呼吸器外科	術後出血の止血
2021/10/12	適応外	その他	インテバン坐剤25 25mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/10/4	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	肝胆膵・移植外科	感染予防
2021/10/4	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	肝胆膵・移植外科	感染予防
2021/10/4	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防
2021/10/4	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防
2021/10/4	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防
2021/10/7	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	小児外科	感染予防

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2021/10/21	適応外	抗がん薬	イリノテカン、カルボプラチニン、エトポシド	整形外科	小児悪性腫瘍
2021/11/05	適応外	抗がん薬	ジオトリフ錠	腫瘍内科	遺伝子パネル検査結果に基づく大腸癌
2021/11/15	適応外	抗がん薬	フェマーラ	産科婦人科	卵巣顆粒膜細胞腫の再発
2021/10/19	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ネオーラル50mgカプセル	皮膚科	尋常性類天疱瘡
2021/10/23	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	スロンノンHI注10mg/2mL	脳神経内科	持続投与
2021/10/28	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	脳梗塞に対する初回用量300mg
2021/11/04	適応外	麻薬	オプソ、MSコンチン	呼吸器内科	呼吸苦
2021/11/11	適応外	麻薬	オプソ内服液	呼吸器内科	呼吸苦
2021/11/11	適応外	麻薬	オキシコドン徐放カプセル20mg	心臓血管外科	慢性疼痛
2021/11/12	適応外	麻薬	フェンタニル	産婦人科	急性膀胱炎の鎮痛
2021/10/19	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/10/20	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/10/25	適応外	その他	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶抑制
2021/10/26	適応外	その他	トービイ吸入液300mg 5mL	泌尿器科	MDRP肺炎
2021/10/27	適応外	その他	ウルソデオキシコール酸錠100mg	消化器内科	1200mg/日
2021/10/28	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮防止
2021/11/01	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/11/02	適応外	その他	トービイ吸入液300mg	呼吸器外科	MDRP肺炎
2021/11/08	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/11/08	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/11/08	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/11/08	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/11/08	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/11/08	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/11/08	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/11/08	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/11/09	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/11/09	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/11/09	適応外	その他	エストリール錠	消化管外科	直腸壁瘻に対する使用
2021/11/12	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/11/10	禁忌	要注意薬 (抗がん薬以外)	エリキュース錠	循環器内科	腎機能低下 (Ccr<15)
2021/10/29	禁忌	その他	オプスマット錠	循環器内科	リファンピシンと併用禁忌
2021/11/09	禁忌	その他	ベネット錠17.5mg	免疫膠原病内科	禁忌患者に対する使用 (腎機能低下)
2021/11/15	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	肝胆膵・移植外科	感染予防目的

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2021/11/16-12/15

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2021/11/18	適応外	抗がん剤	シスプラチン	乳腺外科	乳がん
2021/11/23	適応外	抗がん剤	ジャカビ錠5mg	血液内科	消化管GVHDの抑制
2021/11/24	適応外	抗がん剤	カルボプラチニン、エトポシド	呼吸器内科	LCNEC
2021/11/26	適応外	抗がん剤	キイトルーダ点滴静注	腫瘍内科	脊索腫多発肝転移
2021/12/14	適応外	抗がん剤	カルボプラチニン、イリノテカ ン、テモゾロミド	小児科	神経芽腫
2021/11/29	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ホスカビル点滴静注用	皮膚科	CMV血症に対する治療
2021/11/29	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ミダゾラム注10mg	呼吸器外科	入眠
2021/12/07	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デキサート注射液	産婦人科	HELLP症候群の治療
2021/11/16	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/11/17	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/11/17	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/11/17	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/11/17	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/11/18	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/11/19	適応外	その他	献血ケノグロブリンH10%注 20g/200mL	免疫 膠原病内科	シェーグレン症候群に 伴う末梢神経障害
2021/11/25	適応外	その他	マーカイン注脊麻用 0.5%等比重 4mL	眼科	眼瞼手術時キシロカインと 混合し局所麻酔として使用
2021/11/29	適応外	その他	シムレクト注射用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶抑制
2021/12/1	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/12/6	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	循環器内科	心膜炎治療
2021/12/9	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/12/9	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/12/10	適応外	その他	ガバペン	呼吸器内科	咳嗽
2021/12/13	適応外	その他	セレコキシブ錠200mg	消化器内科	FAP 大腸腺腫治療目的
2021/12/13	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/12/13	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/12/14	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/12/14	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用カプセル	産婦人科	子宮頸管の短縮予防
2021/12/15	禁忌	要注意薬 (抗がん薬以外)	ジセレカ錠200mg	免疫 膠原病内科	関節リウマチ
2021/12/1	禁忌	その他	イミキモド	産婦人科	膣上皮異形成
2021/12/14	禁忌	その他	ミネプロ錠	循環器内科	降圧
2021/12/15	禁忌	その他	乾燥弱毒生 おたふくかぜワクチン	肝胆脾・ 移植外科	感染予防のため
2021/12/15	禁忌	その他	乾燥弱毒生 おたふくかぜワクチン	肝胆脾・ 移植外科	感染予防のため

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2021/12/16-2022/01/15

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2021/12/24	適応外	抗がん剤	ロイケリン散	消化器内科	潰瘍性大腸炎
2022/01/06	適応外	抗がん剤	ドセタキセル	がん診療部	胸腺腫
2022/01/04	適応外	抗がん剤	カルセド、カルボプラチニ	呼吸器内科	胸腺癌
2022/01/05	適応外	抗がん剤	ダラザレックス	小児科	造血細胞移植後 自己免疫性血球減少
2021/12/23	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ミダゾラム注10mg	呼吸器外科	せん妄患者の鎮静
2022/01/11	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	妊娠高血圧腎症の 発症抑制
2022/01/13	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リツキシマブBS点滴静注	免疫膠原病 内科	全身性エリテマトーデス
2022/01/13	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デクスマデトミジン	呼吸器内科	夜間鎮静
2021/12/21	適応外	その他	インテバン坐剤	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/12/23	適応外	その他	マーカイン注脊麻用 0.5%等比重	眼科	硝子体手術時の 局所麻酔
2021/12/24	適応外	その他	コルヒチン錠0.5mg	循環器内科	心膜炎治療
2021/12/24	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2021/12/24	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2021/12/24	適応外	その他	オクトレオチド 皮下注300μg	消化器内科	クローン病患者の 下痢症状改善
2021/12/24	適応外	その他	ベセルナクリーム	産婦人科	腔上皮異形成
2022/01/06	適応外	その他	サリベートエアゾール	呼吸器内科	口渴
2022/01/11	適応外	その他	セルセプトカプセル250	呼吸器内科	強皮症、 強皮症関連間質性肺炎
2022/01/11	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/01/12	適応外	その他	シムレクト注射用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶抑制
2022/01/12	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/01/04	禁忌	その他	乾燥弱毒生風しんワクチン	肝胆膵・移植 外科	感染予防のため
2022/01/05	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/01/05	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワ クチン	小児外科	感染予防のため

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2022/01/16-02/15

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/01/24	適応外	抗がん剤	ロイケリン散	消化器内科	クローン病治療
2022/01/20	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	セルセプトカプセル250mg	皮膚科	結節性多発性動脈炎
2022/02/01	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ファンギゾン注射用50mg	整形外科	骨セメントに混合
2022/02/02	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	脳梗塞患者に対する初回 300mg
2022/02/04	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	スロンノンHI注	脳神経内科	4日間持続投与
2022/02/07	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	クロピドグレル錠75mg	脳神経内科	脳梗塞急性期に初日 300mg/day
2022/02/08	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リンデロン注	産婦人科	妊娠34～36週の切迫早産 症例に対する新生児呼吸 窮迫症候群予防
2022/02/15	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リンデロン注	産婦人科	妊娠34～36週の切迫早産 症例に対する新生児呼吸 窮迫症候群予防
2022/01/24	適応外	麻薬	オプソ内服液 モルヒネ塩酸塩注射液	呼吸器内科	呼吸苦
2022/01/21	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/01/21	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/01/24	適応外	その他	クエストラン粉末44.4%	消化器内科	クローン病排便回数調節
2022/01/26	適応外	その他	アンチレクス静注10mg	循環器内科	アブレーション時的心室 性期外収縮の誘発
2022/01/28	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/02/01	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/2/1	適応外	その他	エリル点滴静注液30mg	脳神経外科	SAH 後、血管解離の疑い Spasm に対して使用
2022/2/9	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/2/8	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワ クチン	肝胆膵・移植 外科	感染予防のため
2022/2/8	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/2/8	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワ クチン	小児外科	感染予防のため
2022/2/8	禁忌	その他	乾燥弱毒生水痘ワクチン	小児外科	感染予防のため

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2022/02/16-2022/03/15

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/03/07	適応外	抗がん剤	フェマーラ	産婦人科	転移性平滑筋腫
2022/02/21	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	リンデロン注	産婦人科	妊娠34-36週の切迫早産に対する新生児呼吸窮迫症候群予防
2022/02/24	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デクスメテトミジン	精神科	興奮、不穏に対する夜間鎮静
2022/02/24	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	デクスメテトミジン	呼吸器内科	鎮静
2022/02/25	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	プログライフカプセル 1mg、0.5mg	免疫 膠原病内科	全身性エリテマトーデス (ループス腎炎ではない)
2022/02/28	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	スロンノンHI注	脳神経内科	スロンノンHI注持続投与
2022/03/02	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ミダゾラム	呼吸器内科	鎮静
2022/3/3	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	ミダゾラム注10mg	呼吸器内科	終末期の鎮静
2022/03/01	適応外	麻薬	オキシコドン注	麻酔科	疼痛
2022/02/16	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/02/16	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/02/21	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/02/22	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/02/24	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/02/24	適応外	その他	クリアクター静注用 40万国際単位	眼科	黄斑下出血に対するt-PA 製剤の使用
2022/3/7	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制目的
2022/3/7	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防目的
2022/3/7	適応外	その他	タリムス点眼液0.1	眼科	強膜炎
2022/3/8	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/3/8	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/3/11	適応外	その他	テトラミド錠10mg	肝・胆・膵外科	不眠
2022/3/11	適応外	その他	テトラミド錠10mg	肝・胆・膵外科	不眠
2022/3/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/3/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生麻しんワクチン	小児外科	感染予防のため
2022/3/14	禁忌	その他	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	小児外科	感染予防のため

適応外・禁忌・未承認のデータベース集計

2022/03/16-3/31

情報入手日	分類	薬剤分類	薬剤名	診療科	使用目的
2022/03/16	適応外	抗がん剤	リムパーザ	泌尿器科	前立腺癌
2022/03/17	適応外	抗がん剤	オンコビン注射用1mg (EMA-CO)	産婦人科	なし
2022/03/22	適応外	抗がん剤	シスプラチニ	乳腺外科	乳がん
2022/03/24	適応外	抗がん剤	カルボプラチニ/エトポシド	婦人科	卵巣神経 内分泌悪性腫瘍
2022/03/16	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	妊娠高血圧腎症の 発症抑制
2022/03/17	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	シムレクト静注用20mg	呼吸器外科	肺移植後の拒絶予防
2022/03/22	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	バイアスピリン錠100mg	産婦人科	妊娠高血圧腎症の 発症抑制
2022/03/25	適応外	要注意薬 (抗がん薬以外)	タンボコール注	小児科	不整脈のコントロール
2022/03/16	適応外	その他	プラノバール配合錠	婦人科	下垂体性hCG抑制
2022/03/17	適応外	その他	テトラミド錠10mg	泌尿器科	不眠
2022/03/24	適応外	その他	サリベートエアゾール	呼吸器内科	口腔乾燥
2022/03/28	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/03/28	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防
2022/03/29	適応外	その他	コルヒチン	循環器内科	心膜炎治療
2022/03/30	適応外	その他	ニフェジピンCR錠20mg	産婦人科	子宮収縮抑制
2022/03/30	適応外	その他	ウトロゲスタン腔用 カプセル	産婦人科	子宮頸管短縮予防

令和4年9月1日

京都大学医学部附属病院
医薬品安全管理責任者 寺田智祐

医薬品安全管理補助者指名書

医療法施行規則第九条の二十の二* 第一項第三号イ及びロに掲げる措置を適切に実施するため、担当者として下記の者を指名します。

*平成三十年改正省令

記

所 属	職 名	氏 名	指 名 日
薬剤部	副薬剤部長	中川 貴之	令和3年3月1日
	副薬剤部長	米澤 淳	平成28年9月28日
	副薬剤部長	深津 祥央	平成28年9月28日
	副薬剤部長	池見 泰明	平成28年9月28日
	副薬剤部長	北田 徳昭	平成31年4月18日
	薬剤師	石塚 良子	平成28年9月28日
	講師	今井 哲司	平成31年4月18日
	助教	中川 俊作	平成29年10月2日
	特定助教	平 大樹	令和3年6月1日
	薬剤主任	猪熊 容子	平成28年12月12日
	薬剤主任	岡村みや子	平成30年9月3日
	薬剤主任	尾崎 淳子	平成28年9月28日
	薬剤主任	清水 宏賢	令和3年9月1日
	薬剤主任	杉本 充弘	平成28年9月28日

	薬剤主任	山際 岳朗	平成28年9月28日
	薬剤主任	吉田 優子	平成28年9月28日
	薬剤師	朝倉佳代子	平成31年4月18日
	薬剤師	上杉 美和	平成28年9月28日
	薬剤師	大石佳代子	令和2年4月1日
	薬剤師	梶原 望渡	平成31年4月18日
	薬剤師	片田 佳希	令和4年4月1日
	薬剤師	川田 将義	平成28年12月12日
	薬剤師	北野 治廣	平成30年9月3日
	薬剤師	佐藤 裕紀	平成30年9月3日
	薬剤師	重面 雄紀	平成30年1月4日
	薬剤師	早田 千容	令和4年4月1日
	薬剤師	松田 裕也	平成28年9月28日
	薬剤師	松村 勝之	平成31年4月18日
	薬剤師	丸山志穂子	平成28年12月12日
	薬剤師	森田真樹子	平成28年12月12日
	薬剤師	森田 洋亮	平成28年9月28日
	薬剤師	山本 将太	平成28年12月12日

病院協議会

2022年9月1日現在

	氏名		氏名
1	宮本享 教授 [病院長] (脳神経外科)	26	戸井雅和 教授 (乳腺外科)
2	伊達洋至 教授 [副病院長] (呼吸器外科)	27	波多野悦朗 教授 (肝胆膵・移植外科、小児外科)
3	高折晃史 教授 [副病院長] (血液内科)	28	湊谷謙司 教授 (心臓血管外科)
4	松田秀一 教授 [副病院長] (整形外科)	29	吉田和道 准教授 (脳神経外科)
5	平井豊博 教授 [副病院長] (呼吸器内科)	30	大森孝一 教授 (耳鼻咽喉科・頭頸部外科)
6	万代昌紀 教授 [副病院長] (産科婦人科)	31	別所和久 教授 (歯科口腔外科)
7	妹尾浩 教授 [副病院長] (消化器内科)	32	森本尚樹 教授 (形成外科)
8	黒田知宏 教授 [病院長補佐] (医療情報企画部) ※医師以外	33	小林恭 教授 (泌尿器科)
9	武藤学 教授 [病院長補佐] (腫瘍内科)	34	江木盛時 教授 (麻酔科)
10	辻川明孝 教授 [病院長補佐] (眼科)	35	滝田順子 教授 (小児科)
11	柳田素子 教授 [病院長補佐] (腎臓内科)	36	溝脇尚志 教授 (放射線治療科)
12	長尾美紀 教授 [病院長補佐] (検査部)	37	中本裕士 教授 (放射線診断科)
13	加藤源太 病院教授 [病院長補佐] (病床運営管理部)	38	杣島健治 教授 (皮膚科)
14	足立壯一 教授 [病院長補佐] (人間健康科学系専攻長)	39	村井俊哉 教授 (精神科神経科)
15	寺田智祐 教授 [病院長補佐] (薬剤部) ※医師以外	40	羽賀博典 教授 (病理診断科)
16	井川順子 看護部長 [病院長補佐] (看護部) ※医師以外	41	池田昭夫 特定教授 (てんかん診療支援センター)
17	久保公四郎 事務部長 [病院長補佐] (事務部) ※医師以外	42	濱西潤三 准教授 (総合周産期母子医療センター)
18	稻垣暢也 教授 (糖尿病・内分泌・栄養内科)	43	河井昌彦 病院教授 (総合周産期母子医療センター)
19	尾野亘 准教授 (循環器内科)	44	近藤祥司 准教授 (高齢者医療ユニット)
20	森信暁雄 教授 (免疫・膠原病内科)	45	松村由美 教授 (医療安全管理部)
21	大鶴繁 教授 (初期診療・救急科)	46	小杉眞司 教授 (倫理支援部)
22	高橋良輔 教授 (脳神経内科)	47	永井純正 教授 (医療開発部)
23	恒藤暁 教授 (緩和医療科)	48	森田智視 教授 (クリニック・ラジアルサイエンス部)※医師以外
24	中島貴子 教授 (早期医療開発科)	49	永井洋士 教授 (臨床研究支援部)
25	小瀬和貴 教授 (消化管外科)		

管理者権限の明確化について

厚生労働省令

- 管理者が有する病院の管理運営に係る権限及び病院の管理運営のために必要となる一定の人事・予算執行権限について明確化することを求める。
- 管理者が有する権限を明確化した内部規程を特定機能病院の承認申請時に提出させるとともに、毎年報告させることで確認する。

病院の管理運営に係る権限

1. 京都大学医学部附属病院規程に次のように定めている。

(略)

第2条 病院に、病院長を置く。

2 病院長は、理事又は医学研究科若しくは病院の専任の教授をもつて充てる。

3 病院長は、病院の院務を掌理する。

(略)

第13条 この規程に定めるもののほか、病院の内部組織については、病院長が定める。

(略)

2. 京都大学医学部病院協議会規程に次のように定めている。病院協議会は、病院運営に関する合議体である。

(略)

第2条 協議会は、副病院長、病院長補佐、診療科の科長、診療部門の各部、室、センター及びユニットの長のうち医学研究科及び医学部附属病院の教授又は准教授、中央施設部門の各部、室及びセンターの長、運営部門の各部、室及びセンターの長のうち医学研究科及び医学部附属病院の教授又は准教授、先端医療研究開発機構の各部、センターの長及び副センター長（院内調整担当）、臨床研究・研修部門の各センター、部及び室の長、看護部長、薬剤部長、医療情報企画部長並びに事務部長をもつて組織する。

2 前項に掲げるもののほか、病院教授の称号を付与された者を協議会組織に加えるものとする。

3 前2項に掲げるもののほか、医学研究科附属医学教育・国際化推進センター専任教授及び医学研究科人間健康科学系専攻長を協議会組織に加えるものとする。

4 前3項に掲げるもののほか、病院長が必要と認めるときは、協議会の議を踏まえて、医学研究科、医学部又は病院の教授、准教授又は講師を加えることができる。

第3条 病院協議会は、毎月1回病院長が招集し、議長となる。ただし、必要があるときは臨時に招集することができる。

(略)

3. 京都大学医学部附属病院執行部内規に次のように定めている。病院執行部は、病院の業務に関し迅速な意思決定を行い、病院執行部会議において企画・実施する。
(設置)

第1条 京都大学医学部附属病院規程第13条の規定に基づき、京都大学医学部附属病院（以下「病院」という。）に、病院の業務に関し迅速な意思決定を行うため、京都大学医学部附属病院執行部（以下「病院執行部」という。）を置く。

(組織)

第2条 病院執行部は、次の各号に掲げる者で組織する。

- (1) 病院長
 - (2) 副病院長
 - (3) 病院長補佐
 - (4) その他病院長が必要と認めた者
- (業務)

第3条 病院執行部の業務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 病院の診療、教育、研究に関する企画及び実施に関すること。
 - (2) 病院の経営に関する企画及び実施に関すること。
 - (3) その他重要事項に関すること。
- (病院執行部会議)

第4条 前条の業務を企画・実施するため、病院執行部に病院執行部会議（以下「会議」という。）を置く。

(議長)

第5条 病院長は、会議を招集し、その議長となる。

2 議長に事故あるときは、副病院長のうち議長が指名する者がその職務を代理する。

(略)

人事権限

1. 京都大学医学部附属病院規程に次のように定めている。

第6条 病院に、診療部門として、次の部、室、センター及びユニットを置く。

デイ・ケア診療部

臓器移植医療部

遺伝子診療部

心臓血管疾患集中治療部

女性のこころとからだの相談室

脳卒中診療部

がんセンター

VHL病センター

リウマチセンター

もやもや病支援センター

高度生殖医療センター

頭蓋底腫瘍センター

てんかん診療支援センター
摂食嚥下診療センター
総合周産期母子医療センター
こども医療センター
児童思春期こころの相談センター
黄斑疾患治療センター
高齢者医療ユニット
漢方診療ユニット

2 前項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、各組織の内規において一定の対象者から病院長が指名すると定めているか、本規定条文にて必要な事項を病院長が定めることとされている。

第7条 病院に、中央施設部門として、次の部、室及びセンターを置く。

検査部
感染制御部
手術部
放射線部
救急部
リハビリテーション部
医療器材部
人工腎臓部
病理部
疾患栄養治療部
集中治療部
内視鏡部
臨床心理室
細胞療法センター
高気圧酸素治療センター

2 前項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、各組織の内規において一定の対象者から病院長が指名するあるいは委嘱すると定めている。

第8条 病院に、運営部門として、次の部、センター及び室を置く。

看護部
薬剤部
医療情報企画部
医療安全管理部
病院運営企画室
診療報酬センター
病床運営管理部

地域ネットワーク医療部
新病院整備推進部
病歴管理室
患者総合サポートセンター
品質管理室
事業場安全衛生管理室
(略)

12 第2項から前項までに定めるもののほか、第1項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、各組織の内規において一定の対象者から病院長が指名すると定めているか、本規定条文にて必要な事項を病院長が定めることとされている。

(ただし、新病院整備推進部長は病院長をもって充てると定めており、看護部長は、候補者選考内規において、選考委員長は病院長をもって充てると定めている。)

第9条 病院に、先端医療研究開発機構を置く。

2 先端医療研究開発機構に、次の部、センター及び室を置く。

医療開発部
クリニカルトライアルサイエンス部
臨床研究支援部
次世代医療・iPS細胞治療研究センター
先端医療機器開発・臨床研究センター
先制医療・生活習慣病研究センター
クリニカルバイオリソースセンター
戦略・広報室

3 前項に定めるもののほか、先端医療研究開発機構に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、それぞれの内規において、一定の対象者から病院長が指名すると定めている。

(ただし、先制医療・生活習慣病研究センターは、病院長が指名する副病院長又は病院長補佐をもって充てると定めている。)

第10条 病院に、臨床研究・研修部門として、次のセンター、部及び室を置く。

総合臨床教育・研修センター
iPS細胞臨床開発部
看護職キャリアパス支援センター
EHR利用推進センター
レセプト情報等オンラインリサーチセンター（京都）運用部
倫理支援部
共同機器研究室

2 前項に掲げる各組織に関し必要な事項は、病院長が定める。

各組織の長は、それぞれの内規において、一定の対象者から病院長が指名すると定めている。

(ただし、看護職キャリアパス支援センター長は看護部長、EHR利用推進センター長及びレセプト情報等オンライントリサーチセンター（京都）運用部長は医療情報企画部長をもって充てると定めている。)

予算執行権限

1. 国立大学法人京都大学予算規則において病院の予算責任者は、病院長と定めている。

(略)

(予算単位と予算責任者)

第3条 会計規程第6条に定める予算単位及び予算責任者は、別表に定めるところによる。

(略)

別表（抜粋）

医学部附属病院 病院長

2. 京都大学医学部附属病院予算委員会規程に次のように定めている。

第1条 京都大学医学部附属病院における予算について審議するため、京都大学医学部附属病院予算委員会（以下「委員会」という。）を置く。

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 概算要求事項に関すること。
- (2) 予算配分に関すること。
- (3) 予算の執行に関すること。
- (4) その他予算に関し、委員会が必要と認めること。

第3条 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 病院長
- (2) 内科系教授2名
- (3) 外科系教授2名
- (4) 中央施設部門の部（室）長 3名（但し、前各号の委員を兼ねることはできない。）
- (5) 薬剤部長、看護部長及び事務部長
- (6) その他病院長が必要と認める者。

2 前項第1号及び第5号以外の委員は、病院長が委嘱する。

3 第一項第1号及び第5号以外の委員の任期は、2年とし再任を妨げない。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第4条 委員会に委員長を置き、病院長をもってあてる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代行する。

4 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者に委員会への出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

(略)

※以下の内規等は、上述の規程等を補完するもの

病院の管理運営に係る権限

4. 京都大学医学部附属病院運営企画室内規に次のように定めている。

(設置)

第1条 京都大学医学部附属病院（以下「病院」という。）に、病院運営企画室（以下「運営企画室」という。）を置く。

(業務)

第2条 運営企画室は、病院長の指示により病院運営及び経営に関し、情報の収集及び分析を行うとともに必要事項について企画立案し、病院長に提言する。

(略)

5. 外来医長・看護師長会議規程に次のように定めている。

第1条 病院に、外来医長・看護師長会議（以下「会議」という。）を置く。

第2条 会議は、各診療科外来における管理・運営の円滑化をはかるため、病院長の諮問に応じて、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 各診療科外来における診療及び診療事務に関すること。
- (2) 各診療科外来間の連絡及び調整に関すること。
- (3) その他各診療科外来に関すること。

(略)

6. 病棟医長・看護師長会議規程に次のように定めている。

第1条 病院に、病棟医長・看護師長会議（以下「会議」という。）を置く。

第2条 会議は、病棟における管理・運営の円滑化をはかるため、病院長の諮問に応じて、次の各号に掲げる事項を審議する。

- (1) 病棟における診療及び診療事務に関すること。
- (2) 病棟間の連絡及び調整に関すること。
- (3) その他病棟に関すること。

(略)

7. 京都大学医学部附属病院危機管理会議内規に次のように定めている。構成員は、病院執行部である。

(目的)

第1条 京都大学医学部附属病院（以下「病院」という。）において発生した緊急かつ重大な事案に迅速に対応するため、京都大学医学部附属病院危機管理会議（以下「危機管理会議」という。）を置く。

（業務等）

第2条 危機管理会議は、病院において発生した緊急かつ重大な医療事故、研究活動における不適合事案、院内感染、集団食中毒、天災、人災等に迅速な対応を行う。ただし、医療法に定める特定臨床研究活動及び再生医療等技術を用いる臨床研究活動における不適合事案については、この限りでない。

2 前項における対応のうち、診療行為及び研究活動の継続又は中止の判断については、危機管理会議の議を踏まえて、病院長が行う。

（組織）

第3条 危機管理会議は、次の各号に掲げる者で組織する。

（1）病院長

（2）副病院長

（3）病院長補佐

（4）その他病院長が必要と認める者

（議長）

第4条 病院長は、会議を招集しその議長となる。

（略）

人事権限

5. 外来医長・副医長職務内規に次のように定めている。

第二条 病院各診療科外来に、外来副医長一名を置くことができる。

2 外来副医長は、当該診療科の講師または助教から、当該診療科長の推せんにより病院長が任命する。

6. 病棟医長・副医長職務内規に次のように定めている。

第二条 病院各病棟に、病棟副医長一名を置くことができる。

2 病棟副医長は、当該部局の講師または助教から、当該部局長の推せんにより病院長が任命する。

7. 京都大学医学部附属病院医員等取扱要項に次のように定めている。

1. 医員

第1（略）

第2 医員の採用は、関係診療科の長・診療部の長（以下「診療科長等」という。）の意見を参考に、病院長が選考のうえ、決定する。

第3（略）

2～4（略）

第4（略）

第5（略）

2. 医員（研修医）

第6（略）

第7 医員（研修医）の採用は、別に定める要件を満たした者の中から病院長が決定する。